

Fujiidera High School

30th Anniversary



大阪府立
藤井寺高等学校





目次

挨拶	5
「自他の敬愛と協力」の教育方針を更に高く 校長 谷口政己	5
祝辞	
創立30周年を迎えて 同窓会会長 若林和博	6
祝 創立30周年 藤井寺市長 井関和彦	7
創立30周年を迎えて PTA会長 出口正広	7
創立30周年を迎えて 育友会会長 矢野耕治	8
喜びのことば 生徒会会長 佐藤奈緒	8
校章・校歌・「心の石庭」	9
沿革	10
歴代校長	11
思い出	12
歩み(1~20期)	14
卒業生は今	24
歩み(21~30期)	28
交流ボランティア	44
校務分掌	
教務部	46
生徒指導部	48
生徒会部	50
進路指導部	52
保健部・図書視聴覚部	54
総務部	56
部活動状況	58
統計資料	66
職員写真	74
職員在籍異動	76
講師	82

「自他の敬愛と協力」 の教育方針を更に高く…



校長
谷口 政己

春霞む河内国原 みはるかす御陵の森は…… 校歌の冒頭に詠まれているように、本校は、生駒、信貴、二上、葛城、金剛の山々に抱かれて豊かに広がる河内平野、その中に応神陵、仲哀陵、雄略陵など古墳の森が点在する緑豊かな文化の都市、藤井寺市に府立第87校として産声をあげ、今年創立30周年という記念の年を迎えました。

本校の創立にあたり初代森田敏夫校長先生は、教育方針の第1に「自他の敬愛と協力」を掲げられ、大小16個の丹波石が全体として心の文字を構成する「心の石庭」を作られました。私はこの石庭を次のように解釈しています。16個の石は多様な生徒の個性を表したもので、一つとして同じものはありません。しかし、1個の石が他との関わりを持たなければ、大きいか小さいか程度の「個性」すら気付くことはできません。16個の異なった石がお互いに関わり合う中で、自らの個性にも気付き、磨き合い、輝き合いながら、全体として実に優しい「心」という文字に収斂していく、まさに「自他の敬愛と協力」という教育方針のシンボルだと思うのです。

本校には全府立高校の中でも誇りうる教育活動として、20年に及ぶ藤井寺養護学校との交流、全国的にも数少ない交流・ボランティア活動に対する単位認定、更には7年目を迎えた市民公開講座による地域交流、3年目を迎えたオーストラリア・パースでの異文化交流、今も13,461名すべての卒業生の心に残るフェス体における青龍団・朱雀団・白虎団・玄武団といった学年を超えた生徒同士の交流などがあります。いずれも「交流」が柱となって本校の教育活動を貫いています。我々教職員や生徒たちが意識するしないに関わらず、すべて中庭の「心の石庭」から本校の教育活動が生まれ、展開し、発展してきたのです。そしてその原点となった「自他の敬愛と協力」は、個性の尊重・異なる個性との共生という、優れて今日的課題をも担った不易の教育方針です。残念なことに、森田先生は創立30周年の記念式典を待たず、本年5月23日に永眠されました。謹んで哀悼の意を表したいと存じます。

藤井寺市には伝統ある藤井寺工業高校が存在しますが、遅れて開校した本校は、市内唯一の普通科高校として地域の期待を担うことになりました。0時間目や7時間目、長期休業中の講習は、本校の進路指導の伝統になっています。この30年間、文字通り手弁当で生徒の夢を実現する教育活動に弛まず取り組んでこられた多くの先生方に深い敬意を表すとともに、この志を明日に受け継ぐ決意です。なお、今年度より開始した本校の新教育課程は、学校週5日制に対応して、文Ⅰ、文Ⅱ、理Ⅰ、理Ⅱの4つの類型から構成され、20もの学校設定科目を含む多くの選択科目、さらには7限目の授業や伝統ある講習等によって、生徒一人一人の進路の夢が実現できるよう編まれています。10年後の本校の姿を大いに期待するものです。

この30年間、本校は「優しさ」と「賢さ」を育てる教育を見事に統一して推進してきました。創立30周年を迎えた今日、開校の原点と30年間の教育活動に確信を持ち、激動する教育改革の流れの中で「自他の敬愛と協力」の教育方針を更に高く掲げ、悠久の道を邁進しようではありませんか。

最後になりましたが、本校はやっと「而立」の歳を迎え、独り立ちを始めたばかりの学校です。府当局、地元関係団体を始め、同窓会、PTA、育友会、そして地域の皆様方には、なお一層のご支援、ご鞭撻を賜りますよう心よりお願い申し上げます。

創立30周年を迎えて



創立30周年記念事業実行委員長
同窓会会長 若林 和博

藤井寺高校が創立され、30周年を迎えることとなり、同窓生も各方面で活躍され、現在、そのジュニア達が母校で学び藤高も第2世代に移り変わろうとしています。

私は、同窓会のおかげで卒業後も永く藤高と関わりを持つことができました。思えば、校舎や体育館の工事と校庭整備の中での授業、そして、その不自由な環境を跳ねのけるほどの活気で行われた数々の行事など、試行錯誤の創設期に学舎として3年間を過ごし、その後も、伝統を守りながら創意工夫をこらし発展期として迎えた10周年や、1500人以上の規模で開催された20周年記念式典などの節目にも色々な形で参加させていただきました。また、卒業式には在校生として、卒業生として、そして、同窓生として、ほぼ毎年、参列させていただき、その時々が多感な時期を共に共有した卒業生たちの思いを垣間見ることができ、私にとって時空を越えた懐かしささえ感じられ、喜びを共有できる場であるように思われます。そして、今、21世紀の初頭に第2世代の発展期とも言える30周年を迎えるに至り、変革の時代へ突入しようとしています。

デジタル通信機器やインターネットの急激な進歩と普及によって、誰もがどのような場所でも居ながらにして何時でも世界中の情報を瞬時に手に入れることができるようになり、様々な情報の中からその本質を見極める目が必要になっています。その反面、その情報の膨大さゆえ、それぞれの価値観の違いによって様々な生活感や理念が生まれ、個人の理想や夢なども今までになく多種多様になってきています。それに伴い考えられないほどのスピードで社会構造も変化し、自らも、また、周囲からも必然的に変革することを望まれ、その期待感が大きいほど、その要望がより強くより高くなるばかりではなく、今まで以上に社会との関わりもより強くなって行きます。しかしながら、現代社会の関係は合理性と自己の尊重を追求するがゆえに逆に殺伐となり、人間関係も地域社会との交流も薄れてきています。このような関係の中で、個人：家庭：学校：社会など各々が互いに協力しあい地域社会に根ざされた交流を継続することによって、社会との関わりと個人の役割を果たす重要な機会を手にする第一歩になるのではないのでしょうか。

そして、目まぐるしいほどの世界情勢と経済の変化、情報の氾濫など、益々厳しくなっていく生活環境の中で藤高の変わらぬ中庭：「心の石庭」と共に自己をしっかりと見つめ、相手を理解し尊重しあう心と、人と人との繋がりを大事にして、藤高に携われた先生方や先輩達が築き上げた有形物だけでなく、藤高の中で育て上げられた「藤高気質」がより良く受け継がれ「地域社会の風土に根ざし親しまれるような特色ある校風」として発展できることを願っています。

最後になりましたが、30周年の記念事業にあたり多大なご協力を賜りました校長先生をはじめ諸先生・各委員の皆様にお礼申し上げます。

祝 創立30周年

藤井寺市長
井関 和彦

大阪府立藤井寺高等学校がこのたび創立30周年を迎えられましたことは誠に慶賀にたえません。心からお祝い申し上げます。

この良き時に、藤井寺市長を務めさせていただいていることと併せ、本記念誌に措辞ながら祝辞を述べさせていただきますことを幸せに存じているところであります。

1974年、高校教育に対する府民の関心と期待が極めて大きい中、当時、人口5万7千人、大阪府下33市中最も狭小面積である藤井寺市の中に、工業高校に次いで2校目となる府立高校の開校を見たわけでございます。1期生の3割が藤井寺市在住生だったということを知り、地元の新設開校されたことを改めて喜ぶものであります。新設校ならではの苦労が当時の教職員並びに関係各位に数知れずあったものと存じます。

その後、急速にすばらしい発展を遂げられ、生徒の自主学习制度についてだったと思うのですが、他校に見ることがない特色ということで、マスコミでも紹介されていたことがあったと私の記憶の中に残っております。生徒指導、進路指導に情熱を持たれていた歴代の校長先生をはじめ、教職員の方々、それに応える生徒たちの気質等々が、最高の歯車の噛み合わせとなり、藤高を前進させ、そして、その培われた成果をもって名門校としての地位を確立させてこられました。このことに、深甚よりの敬意を表する次第でございます。

昭和時代15年と平成時代15年の藤高30年の歴史の移り変わりの中で、バブル経済とその崩壊による社会経済の低迷、モノの時代から質の時代へと変遷してまいりました。そして今、国際化時代、高度情報化時代にふさわしい人間性の向上と能力の開発が叫ばれる中、30周年の一つの節目を迎えられ、改めてその伝統を顧みながら将来の発展を期するという意味におきまして大変意義深い年であると存じます。

藤高の更なるご発展と校長先生をはじめ教職員並びに関係各位の並々のご健勝にてのご活躍を祈念いたしまして、お祝いいたします。

創立30周年を迎えて

PTA会長
出口 正広

大阪府立藤井寺高等学校、創立30周年を迎えられ心からお祝い申し上げます。本校開校以来、歴代校長、諸先生方、PTA歴代会長並びに実行委員の皆様方、並々ならぬ努力の賜物だと思います。

21世紀を迎え、バブル崩壊後の10年におよぶ平成不況が続いています。消費需要も設備投資も依然として低迷を続けており、景気回復を実感する状況には、ほど遠いといえます。このような厳しい社会環境の中で、企業の生き残りを賭けたりリストラの嵐が吹き荒れています。こんな時代だからこそ、人と人との繋がりが、人の情けが大切に思えてなりません。

戦国武将、武田信玄の遺した名文に、『人は城、人は石垣、人は堀』があります。かれは、生涯城を築かず、そして他国に侵略されることなく生涯を閉じたのです。なぜならば、武田信玄の人徳により優秀な人材が集まり、人によって不敗の騎馬軍団ができあがったからです。今の現代社会でも「教育は人をつくり、人は社会をつくる」の言葉のように社会を良くするためには人づくりを、その為には教育をしっかりとしなければならぬと思います。どのように良い制度や良い法律があっても運営する人間により良くもなり、悪くもなります。人のことを思いやり尊敬のできる人、礼儀やしつけがしっかりとできて他人に迷惑をかけない人。そして、人生で一番大事なものはどれだけ素晴らしい人との出会いに恵まれるか、そして自分自身どれだけ素晴らしい人とつき合っていけるか。本校の中庭の『心の石庭』にも同じような願いが込められています。この精神を忘れずに、今後の皆様のご活躍と藤井寺高校の今後益々の躍進を祈念いたします。

最後に、30周年にあたりご協力いただきました、関係各位、学校当局、PTA関係各位に厚く御礼申し上げます。

創立30周年を迎えて



育友会会長
矢野 耕治

大阪府立藤井寺高等学校創立30周年、おめでとうございます。心よりお祝い申し上げます。

昭和49年、恵まれた教育環境の中で誕生して以来、時代の変化にもまれながらも30年を迎えたことは、歴代校長をはじめ先生、職員の皆様、PTAの諸先輩の方々の並々ならぬ努力のたまものと思います。ここに、あらためて深く敬意を表します。

ひと口に30年と言っても、様々なことがあったと思います。特にバブル経済とその崩壊、そして、世の中を暗いニュースが飛び交っている昨今ですが、こんな時こそ、教育の重要性を再確認する必要があるのではないのでしょうか。ひとりひとりの個性に応じた教育を通じて、どんな変化にも流されないで、自ら対応できる人間の育成が求められていると痛感しています。自分で考え、悩み、どんなことに対しても真正面から全力で取り組み、そして解決していく。当たり前のことではありますが、もっとも大切なことだと思います。私達親も、子供達に言うだけではなく、日々成長している姿を示していこうではありませんか。また、学校、家庭、地域が、より一層連携を密にして、子供達を見守っていくことが、重要です。それぞれの立場・役割を大切にしつつ、この三者が今まで以上の協力体制を築き上げていく中で、藤井寺高校の教育課題も達成されていくものと信じています。

最後に、藤井寺高校の今後益々の発展を祈念いたしますとともに、30周年行事にご協力いただきました、学校、同窓会、PTAの皆様にご心より感謝申し上げます。育友会を代表してのご祝辞とさせていただきます。

喜びのことば



生徒会会長
佐藤 奈緒

創立30周年、おめでとうございます。全校生徒を代表して喜びのことばを述べさせていただきます。

まず、私にとって高校生活最後の年に、また創立30周年の節目の年に、生徒会会長として藤井寺高校と関わられたことを嬉しく思っています。

前期生徒会の仕事として、フェス体では、当日までの道具の準備、当日の開会式・閉会式の進行等々、生徒全員が楽しむことができるよう、様々な努力をしてきました。そして全校的な協力の中で、30周年を飾る立派なフェス体が実施できたものと思っています。ついでに、これは個人的なことですが、優勝できてよかったです。これで3年連続の総合優勝を手にしたこととなります。

この藤井寺高等学校で過ごした3年間の日々は、とても充実感のあるものでした。クラスやクラブ、行事といった共同生活の中で学んだものもたくさんあります。藤井寺高校では、特に先輩・後輩という垣根を越えた“友情”や“協力”が際立っており、そういった様々な“交流”の積み重ねによって学校全体の結束力が高まってきたように思います。私自身、藤高のおかげで“人を思いやることの大切さ”を改めて養うことができたと自負しています。

最後になりましたが、先生方、いろいろとご迷惑をおかけしますが、どうかこれからも藤井寺高校の良き伝統と校風を守り、発展させてくださいますようお願いいたします。

校章



藤井寺市の市章をもとに、本校の限りない躍進と発展を象徴する金色の
高の字を組み合わせたものである。市章は、玦状耳飾と前方後円墳をデザイ
ンしており、古代の遺跡にめぐまれた藤井寺市を表わしている。玦状耳飾
は縄文時代の人々が用いた装身具で、藤井寺市の国府遺跡からも出土して
いる。玦とは中国の古代玉器の一種で、中央に孔のある円盤の一部に切り
欠きのあるものをいう。藤井寺市から羽曳野市にまたがる古市古墳群は、
我国でも有数の大型前方後円墳を多数含み、藤井寺市が古代において重要
な地域であったことを示している。

校歌

作者のことば 作詞・作曲 森井久夫

この校歌は大和川の堤防で生まれました。近鉄「国分駅」から大和川に沿って約7km西下したと
ころに藤井寺高校があります。私はこの道を、晴雨にかかわらず、自転車のペダルを踏みながら通いま
した。南には応神天皇陵をはじめ、巨大古墳の森が次々に姿を見せ私の心を引きました。東には二上
山、金剛、葛城の山々が悠然とすわり、帰路を楽しませてくれました。また大和川の四季の移り変わ
りもすばらしいものでした。春のつくしん坊、菜の花の群生、夏の緑と野鳥の歌声、秋の月見草、冬
のユリカモメや鴨の飛来、この美しい自然を充分に観賞しながら、私は口笛を吹き、校歌を作りまし
た。万葉集が好きだったので、歌詞は五七調にし、頭に浮かんだ歌詞に勝手なメロディをつけて、あ
れこれと考えているうちに現在の形のものででき上がりました。したがってこの校歌は頭で作ったの
ではなく、大和川と御陵を目の前に見ながら自然に浮かんできたものです。

心の石庭



第三期工事の一環として昭和51年に完成した。初代森田校長の発案によ
るもので、様式は、八方正面の俯瞰庭園である。

中央部分は、16個の丹波石と白川砂敷の石庭となっており、上方より見
ると「心」の字となるように配置されている。石庭部の周囲には高麗芝の
部分、校舎との境界部に灌木帯を配している。

灌木帯の樹種は、ヒラドツツジ、サツキ、ドウダンツツジ、シシガシラ、
ジンチョウゲなどである。技師の方々の除草、剪定、消毒といった維持管
理の努力のおかげで、季節に応じて、「芝生の緑、美しい花々が目を楽し
ませ、やすらぎをもたらし、また夏のきびしい日ざしを大いにやわらげ、
学習環境を高める効果は、極めて大きいものがある。

沿革

- 1973年 3月24日 大阪府議会で本校の建設予算議決
- 1973年 4月 1日 大阪府教育委員会事務局高等学校等
設立準備室において設立準備事務を
開始
- 1973年 6月 1日 第1期工事着工
- 1973年12月13日 大阪府議会で大阪府立高等学校等
設置条例の改正により本校の設置を
決定
- 1974年 1月 1日 大阪府立高等学校等設置条例の一部
改正施行により大阪府立藤井寺高等
学校として発足
- 1974年 3月28日 第1期工事竣工
- 1974年 4月 1日 大阪府高等学校等設置条例により
大阪府立藤井寺高等学校開校
- 1974年 4月 8日 第1回入学式挙行
- 1974年 5月31日 第2期工事着工
- 1974年10月19日 体育館工事着工
- 1975年 2月28日 第2期工事竣工
- 1975年 6月 4日 第3期工事着工
- 1975年 6月30日 体育館・プール工事竣工
- 1976年 2月28日 第3期工事竣工
- 1977年 2月 3日 環境整備・二事竣工
- 1978年 4月 1日 自転車置場竣工
- 1981年 3月31日 自転車置場設置(プール北)
- 1983年 3月31日 グランド倉庫新築
- 1984年12月 7日 渡り廊下(普通教室棟～体育館)
塗装・雨漏り補修工事
- 1987年 3月31日 体育館屋根防水補修工事
- 1987年10月21日 プール塗裝修繕工事
- 1988年 7月30日 図書館冷房機設置
- 1990年 3月31日 体育館東側通路テント工事
保健室冷房機設置
- 1991年 1月11日 漏水(理科棟階段部等)補修工事
- 1991年 3月 2日 校長室冷房機設置
- 1991年11月15日 LL教室設備更新
家庭科調理室設備更新工事
- 1992年 3月31日 ビデオ編集システム設置
- 1992年 8月20日 渡り廊下底部欠落補修工事
- 1993年 3月31日 理科棟他外壁改修工事



S48.9.23



S49.1.9



S48.11.4



S50.6.3



S51.4.10

歴代校長



初代
森田 敏夫
昭和49年1月1日～昭和52年3月31日



2代
土井 善博
昭和52年4月1日～昭和55年2月28日



3代
山田 忠雄
昭和55年3月8日～昭和58年3月31日



4代
市橋平三郎
昭和58年4月1日～昭和63年3月31日



5代
清水 正樹
昭和63年4月1日～平成3年3月31日



6代
油上 良蔵
平成3年4月1日～平成7年3月31日



7代
森井 久夫
平成7年4月1日～平成11年3月31日



8代
中野 尚
平成11年4月1日～平成13年3月31日



9代
清水 洋光
平成13年4月1日～平成15年3月31日



10代
谷口 政己
平成15年4月1日～ 現在

創設期の藤井寺高校 ～とにかく明るく楽しい学校を作ろう～



7代校長
森井 久夫

広々した田圃の真ん中に、ぽつんと寂しげに2棟建っていた校舎、グラウンドと思われる小石だらけの荒れた広場、自転車と工事の車が作った乱れた轍、雑草だらけの周辺道路。それ以外に何も見当たらなかった。これが私と大阪府立藤井寺高等学校との初めての出会いだった。

最初の入学試験は、伝統のない新設校ということで、いきなり定員割れが起こった。藤井寺市民総合会館で行われた記念すべき第1回入学式で、私が担任するクラスの生徒同士が血を流す喧嘩をした。授業が始まると、全クラスで遅刻者対策が大問題となった。授業中は私語が渦巻き、授業の進行が妨げられた。喫煙、喧嘩、暴力は日常茶飯事で、生徒指導部と1年学年団は連日多忙を極めた。第2期工事による鉄杭打ちの轟音で授業が妨げられ、皮肉なことにそのような建設の一方で、窓ガラス、ドア、便器、廊下の側壁など校舎の破壊が生徒の手によって進化した。

毎日何が起こるか分からない状況の中で、何度も何度も会議をもち、マイナスの事象に捉われるのではなく、生徒が魅力とを感じるものを生みだし、どんどん生徒のためのプラス面を作っていこうと確認した。そして、高校ができるあらゆる学校行事を次々と企画し、実行していった。行事と同時にクラブ活動の創設にも力を入れた。創設期の教員集団にはスポーツ・文化の専門家が多く、その後の藤井寺高校のクラブ活動のほとんどがこの時期に生まれた。行事とクラブ活動の推進の中で、煮えたぎる若々しいエネルギーがやっと落ち着く場所を得たように感じた。

校舎、プール、体育館、周辺の緑化整備が年次計画で進み、見違えるような立派な学校に変身していくと同時に、藤井寺高校の評価もウナギ登りとなり、5年目を迎えた頃には、周辺の中学校から「楽しく学べる憧れの高校」と言われるようになり、早朝、放課後の講習も盛んに行われ、大学進学の結果も出てきて、中学生の進学希望調査で藤井寺高校が第7学区のトップに躍り出たこともあった。しかし、私の考えでは、初代校長森田敏夫先生の設計で3年目に完成した「心の石庭」によって、未来に生き続ける藤井寺高校の最大の指針が「心の教育」にあるとアピールできたことが高い評価につながったものと考えている。心の教育の具体的な実践は、開設10年目に大阪府立藤井寺養護学校が創設されて、藤高との交流が始まり、現在まで継続できていることである。単なるうわべだけの行事交歓ではなく、お互いに高校生として、喜びや悲しみ、悩みや将来の夢を合宿体験の中で語り合い、卒業後も交流を続けるといった真剣な交流である。

藤高の歴史の中で、一つ悲しい出来事があったのは、2代校長土井善博先生が、これも伝統行事となった手作りのスキー研修旅行中に、生徒たちの見回りに出られた直後、雪の上で急死されたことである。生徒思いの心優しい校長先生だった。

さて、最後になったが、創立30周年を迎える現在の藤井寺高校は、私が創設期に体験したような事象は何もなく、平和で落ち着いた、教員と生徒がお互いに信じながら勉強やクラブ活動に打ち込む学校になっている。そして、地域社会からの信頼も厚く、学校や藤井寺市の生涯学習センターで公開講座を実施したり、教職員の美術展「藤彩展」を開催したりもしている。今後21世紀に向けて、藤井寺高校が「より明るく楽しい学校」として発展されることを心から祈りながら筆を擱きたい。

思い出



9代校長
清水 洋光

藤井寺高校創立30周年を迎え、学校の発展を心からお祝い申し上げます。私がお世話になった平成13年4月から二年間、校長として教職員の皆様方のお力をお借りし、生徒の「進路実現」と「心の教育」に微力を傾け、学校の発展に少しでも寄与できたことは、私の生涯にとって本当に幸せな時間だったと喜んでいます。

藤井寺高校に着任して先ず目にしたのは、静かな田園地区の中、生徒諸君がのびのびとそして礼儀正しく積極的に学校生活を楽しんでいる様子でした。また、教職員が皆様が生徒の夢の実現に向け、それぞれの分を心得て、自分の仕事に熱心に取り組んでおられる姿でした。「藤井寺高校を育てていくのだ」という気概を皆さんの姿からひしひしと感じとることができました。

創立20周年からの10年間、激動の年月が流れました。特にここ数年の少年犯罪、あるいは学校を取り巻く悲惨な事件が私たちの心を痛めました。本校教育の大きな柱の一つ、「心の教育」が今まで以上に重視される時代になってきました。私も在任中、常に「心の教育」を教育の中心に考えていました。本校生は、藤井寺養護学校との交流をはじめ多くの活動を通じて「人を愛する心」、「他人を大切にする心」を学ぶことができました。特に藤井寺養護学校の生徒の皆さんとの体育祭、文化祭における交流はお互いに多くのことを学ぶすばらしい体験だと胸を熱くしました。

創立30年というひとつの節目を迎えました。これからも生徒の皆さんが持っている一人一人のすばらしい能力を精一杯発揮する努力を、そして教職員の皆さんの生徒たちに対する情熱があれば、藤井寺高校は、ますます発展するものと確信しています。その根底には、今まで培ってきた藤井寺高校生の「人を愛する心」、「他人を大切にする心」を忘れてはならないことは当然です。

藤井寺高校が50年、100年と発展・飛躍されますことを祈念し期待申し上げます。

1期生

1974.4~1976.3

学年規模

12クラス



登校風景



体育大会



修学旅行



眞面へ遠足



担任一覧

学年	第1学年	担任
主任	橋本九二男	
1	平山 良彦	
2	山田 博	
3	辰己 静司	
4	富賀 肇	
5	田中 道雄	
6	山田 慶文	
7	森井 久夫	
8	板倉 圭子	
9	青谷 耕児	
10	植野 敏郎	
11	山内 政治	
12	辻 礼子	

学年	第2学年	担任
主任	石香 亨	
1	富賀 肇	
2	森井 久夫	
3	板倉 圭子	
4	田中 道雄	
5	朝山 浩和	
6	山内 政治	
7	畑部 裕	
8	小川 宏	
9	青谷 耕児	
10	辰己 静司	
11	赤塚 民三	
12	国分 俊夫	

学年	第3学年	担任
主任	石香 亨	
1	朝山 浩和	
2	富賀 肇	
3	西崎 実	
4	赤塚 民三	
5	板倉 圭子	
6	小川 宏	
7	辰己 静司	
8	国分 俊夫	
9	田中 道雄	
10	森井 久夫	
11	南 昭	
12	山内 政治	

2期生

1975.4~1977.3

学年規模

12クラス



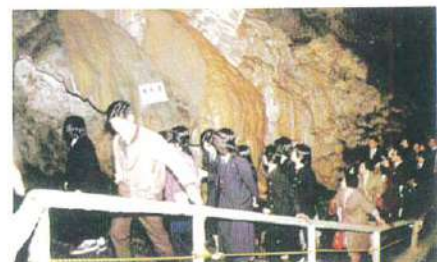
北陸・能登の旅



アマチュア無線部



北九州の旅



山陰の旅



担任一覧

学年	第1学年	担任
主任	橋本九二男	寺本 勉
1	平山 良彦	
2	山田 博	
3	植野 敏郎	
4	黒木 秀臣	
5	井上 真也	
6	荻野 清	
7	船越 省三	
8	香川 義憲	
9	山田 慶文	
10	松浦 友志	
11	八田 康子	
12	藤本知代子	

学年	第2学年	担任
主任	小川 勇	
1	香川 義憲	
2	前田 昭吾	
3	藤本知代子	
4	早川 友三	
5	八田 康子	
6	松尾 好文	
7	仲谷 隆次	
8	山田 慶文	
9	富山 治正	
10	山田 忠男	
11	来住 隆一	
12	黒木 秀臣	

学年	第3学年	担任
主任	小川 勇	
1	山田 忠男	
2	名村 恵史	
3	早川 友三	
4	黒木 秀臣	
5	山田 慶文	
6	渡辺 謙二	
7	高島 弘幸	
8	山田 博	
9	富山 治正	
10	荻野 清	
11	仲谷 隆次	
12	松尾 好文	

担任一覧

学年	主任	担任
第1学年	瀬戸 勝己	
1	玉井 規雄	
2	伊賀崎良太	
3	小松 基二	
4	畑部 裕	
5	松浦 友志	
6	川上 俊次	
7	船勢 省三	
8	長 実	
9	石上 知良	
10	平山 良彦	
11	杉町 直之	
12	青谷 耕児	



研修旅行 長崎～雲仙



研修旅行 平戸～長崎



3期生

1976.4~1978.3

学年規模

12クラス

学年	主任	担任
第2学年	瀬戸 勝己	
1	長尾 良広	
2	杉町 直之	
3	深谷 実	
4	伊賀崎良太	
5	小松 基二	
6	雨堤 敏子	
7	松浦 友志	
8	川上 俊次	
9	村上 広行	
10	玉井 規雄	
11	西岡美恵子	
12	長 実	



研修旅行 熊本

学年	主任	担任
第3学年	瀬戸 勝己	
1	伊賀崎良太	
2	長 実	
3	青谷 耕児	
4	雨堤 敏子	
5	小松 基二	
6	深谷 実	
7	玉井 規雄	
8	村上 広行	
9	松浦 友志	
10	山田 博	
11	川上 俊次	
12	山田 忠男	



女子バレーボール部



体操部

担任一覧

学年	主任	担任
第1学年	石橋 享磨 武夫	
1	国分 樹夫	
2	南 武夫	
3	辻 礼子	
4	山本 泰史	
5	福西 浩	
6	浅野とも子	
7	松井美智子	
8	畑部 裕	
9	田中 道雄	
10	辰巳 静司	
11	橋本 章	
12	西崎 実	



スキー研修旅行



宿泊研修 串本

4期生

1977.4~1979.3

学年規模

12クラス

学年	主任	担任
第2学年	前 武夫 森井久夫	
1	朝山 浩和	
2	渡辺 謙二	
3	山本 泰史	
4	松井美智子	
5	橋本 章	
6	辻 礼子	
7	西崎 実	
8	関本 幸子	
9	筒井 完次	
10	田中 道雄	
11	富貴 肇	
12	早川 友三	



映画研究部



写真部

学年	主任	担任
第3学年	前 武夫 森井久夫	
1	朝山 浩和	
2	松井美智子	
3	早川 友三	
4	山本 泰史	
5	渡辺 謙二	
6	関本 幸子	
7	田中 靖二	
8	国分 樹夫	
9	橋本 章	
10	南 昭	
11	筒井 完次	
12	富貴 隆	



5期生

1978.4~1980.3

学年規模
12クラス



藤高フェスティバル 文化の部



柔道部



宿泊研修 串本



英文タイプ部

担任一覧

学年	第1学年	担任
主任	山内 政治	
1	福西 浩	
2	長谷川 智子	
3	松尾 好文	
4	名村 恵史	
5	中川 一男	
6	藤本知代子	
7	松下 元彦	
8	北村 玲子	
9	富山 治正	
10	長尾 良広	
11	仲谷 隆次	
12	平山 良彦	

学年	第2学年	担任
主任	山内 政治	
1	平山 良彦	
2	高島 弘幸	
3	菊田 秀子	
4	松尾 好文	
5	黒木 秀臣	
6	仲谷 隆次	
7	福西 浩	
8	松浦 友志	
9	長尾 良広	
10	名村 恵史	
11	藤本知代子	
12	中川 一男	

学年	第3学年	担任
主任	香川 義恵	
1	仲谷 隆次	
2	松浦 友志	
3	高島 弘幸	
4	中川 一男	
5	名村 恵史	
6	赤塚 民三	
7	松下 元彦	
8	福西 浩	
9	藤本知代子	
10	菊田 秀子	
11	黒木 秀臣	
12	平山 良彦	

6期生

1979.4~1981.3

学年規模
12クラス



フォークソング部



宿泊研修 串本



藤高フェスティバル 文化の部 盆踊り



藤高フェスティバル 体育の部



担任一覧

学年	第1学年	担任
主任	深谷 実	
1	川上 俊次	
2	垣崎 陽子	
3	青谷 耕児	
4	山田 忠男	
5	杉町 直之	
6	松下 元彦	
7	西崎 実	
8	雨堤 敏子	
9	原園美恵子	
10	矢野 勝彦	
11	瀬戸 勝巳	
12	山田 博	

学年	第2学年	担任
主任	深谷 実	
1	伊賀崎良太	
2	杉町 直之	
3	武田 章	
4	田中 靖二	
5	朝山 浩和	
6	垣崎 陽子	
7	玉井 規雄	
8	矢野 勝彦	
9	青谷 耕児	
10	村上 広行	
11	原園美恵子	
12	長 実	

学年	第3学年	担任
主任	深谷 実	
1	黒木 秀臣	
2	垣崎 陽子	
3	山田 博	
4	原園美恵子	
5	村上 広行	
6	西崎 実	
7	長 実	
8	杉町 直之	
9	富山 治正	
10	川上 俊次	
11	矢野 勝彦	
12	朝山 浩和	

担任一覧

学年	第1学年	担任
主任	森井 久夫	
1	古田由太郎	
2	谷口 房伸	
3	南 昭	
4	浅野とも子	
5	板倉 圭子	
6	来住 隆一	
7	筒井 完次	
8	村上 寛明	
9	辻 礼子	
10	松本 正	
11	国分 俊夫	
12	富賀 肇	

学年	第2学年	担任
主任	森井 久夫	
1	橋本 章	
2	谷口 房伸	
3	山本 泰史	
4	松本 正	
5	来住 隆一	
6	南 昭	
7	板倉 圭子	
8	丸田 和子	
9	浅野とも子	
10	渡辺 謙二	
11	村上 寛明	
12	辻 礼子	

学年	第3学年	担任
主任	森井 久夫	
1	古田由太郎	
2	国分 俊夫	
3	谷口 房伸	
4	山本 泰史	
5	辻 礼子	
6	松本 正	
7	浅野とも子	
8	渡辺 謙二	
9	来住 隆一	
10	早川 友二	
11	村上 寛明	
12	橋本 章	



ワンダーフォーゲル部



卓球部



囲碁・将棋研究会



宿泊研修 鈴鹿サーキット



藤高フェスティバル 体育の部



担任一覧

学年	第1学年	担任
主任	香川 義憲	
1	松下 元彦	
2	名村 恵史	
3	玉井 規雄	
4	長尾 良広	
5	前田美恵子	
6	渡邊 和也	
7	山田 慶文	
8	岡本 貞美	
9	田中 道雄	
10	岸本アヤ子	
11	福西 浩	
12	小川 勇	

学年	第2学年	担任
主任	香川 義憲	
1	中川 一男	
2	青谷 耕児	
3	松浦 友志	
4	仲谷 隆次	
5	前田美恵子	
6	帯刀多余子	
7	長尾 良広	
8	山田 慶文	
9	岸本アヤ子	
10	玉井 規雄	
11	渡邊 和也	
12	岡本 貞美	

学年	第3学年	担任
主任	香川 義憲	
1	青谷 耕児	
2	岡本 貞美	
3	前田美恵子	
4	松下 元彦	
5	岸本アヤ子	
6	竹谷 靖孟	
7	藤本知代子	
8	渡邊 和也	
9	房本 進吾	
10	福西 浩	
11	松浦 友志	
12	仲谷 隆次	



藤高フェスティバル 体育の部



柔道部

7期生

1980.4~1982.3

学年規模

12クラス

8期生

1981.4~1983.3

学年規模

12クラス

9期生

学年規模

11クラス



3の1



藤高フェスティバル 体育の部
応援



藤高フェスティバル 文化の部



遠足



スキー研修旅行 横手山スキー場



藤高フェスティバル 体育の部

担任一覧

学年	第1学年	担任
主任	西崎 実	
1	赤塚 辰三	
2	大野木好江	
3	長 実	
4	山田 博	
5	伊賀崎良太	
6	富山 治正	
7	雨堤 敏子	
8	深谷 実	
9	阿形 恒秀	
10	黒木 秀臣	
11	川上 俊次	

学年	第2学年	担任
主任	西崎 実	
1	杉町 直之	
2	雨堤 敏子	
3	松本 正	
4	川上 俊次	
5	山田 博	
6	阿形 恒秀	
7	伊賀崎良太	
8	大野木好江	
9	富山 治正	
10	長 実	
11	谷口 房伸	

学年	第3学年	担任
主任	西崎 実	
1	阿形 恒秀	
2	大野木好江	
3	雨堤 敏子	
4	長 実	
5	杉町 直之	
6	山本 陽子	
7	黒木 秀臣	
8	谷口 房伸	
9	伊賀崎良太	
10	川上 俊次	
11	山田 忠男	

10期生

学年規模

12クラス



春の遠足



藤高フェスティバル 体育の部

担任一覧

学年	第1学年	担任
主任	辰巳 静司	
1	早川 友三	
2	村上 寛美	
3	筒井 完次	
4	林 誠	
5	南 昭	
6	来住 隆一	
7	渡辺 謙二	
8	山本 泰史	
9	松井美智子	
10	山田 慶文	
11	富賀 肇	
12	朝山 浩和	

学年	第2学年	担任
主任	辰巳 静司	
1	南 昭	
2	別所 俊彦	
3	早川 友三	
4	筒井 完次	
5	朝山 浩和	
6	橋本 章	
7	村上 寛明	
8	村上 寛美	
9	松井美智子	
10	渡辺 謙二	
11	松下 元彦	
12	富賀 肇	

学年	第3学年	担任
主任	辰巳 静司	
1	南 昭	
2	松本 正	
3	渡辺 謙二	
4	山本 泰史	
5	別所 俊彦	
6	村上 寛明	
7	松下 元彦	
8	松井美智子	
9	林 誠	
10	谷口 房伸	
11	筒井 完次	
12	橋本 章	



硬式テニス部 (女子)



かるた大会

担任一覧

学年	第1学年	担任
主任	赤塚	民三
1	帯刀	多余子
2	吉田	正博
3	房本	進吾
4	青谷	耕児
5	藤本	知代子
6	渡邊	和也
7	詫間	尊丸
8	神屋	和夫
9	平山	良彦
10	長尾	良広
11	玉井	規雄
12	古田	由太郎



藤高フェスティバル 文化の部（盆踊り）



体操部

学年	第2学年	担任
主任	赤塚	民三
1	長尾	良広
2	神屋	和夫
3	玉井	規雄
4	吉田	正博
5	詫間	尊丸
6	渡邊	和也
7	岸本	アヤ子
8	房本	進吾
9	岡本	貞美
10	古田	由太郎
11	藤本	知代子
12	帯刀	多余子

学年	第3学年	担任
主任	赤塚	民三
1	帯刀	多余子
2	神屋	和夫
3	房本	進吾
4	岸本	アヤ子
5	古田	由太郎
6	玉井	規雄
7	筒井	完次
8	藤本	知代子
9	吉田	正博
10	別所	俊彦
11	詫間	尊丸
12	村上	寛明



1年 マラソン（長居競技場）



春の遠足

陸上部



サッカー部



野球部

11期生

学年規模

12クラス

担任一覧

学年	第1学年	担任
主任	長	実
1	米田	けさ子
2	野口	俊一
3	香川	義憲
4	菊田	秀子
5	田中	道雄
6	辻	礼子
7	増田	恵理子
8	前田	美恵子
9	西崎	実
10	富山	治正
11	大野	好江
12	光田	藤一



藤高フェスティバル 体育の部

学年	第2学年	担任
主任	長	実
1	野口	俊一
2	香川	義憲
3	米田	けさ子
4	内田	吉彦
5	光田	藤一
6	原園	美恵子
7	田中	道雄
8	黒木	秀臣
9	増田	恵理子
10	前田	美恵子
11	富山	治正
12	渡辺	謙二



ラグビー部

学年	第3学年	担任
主任	長	実
1	黒木	秀臣
2	光田	藤一
3	増田	恵理子
4	大野	好江
5	長	実
6	香川	義憲
7	富山	治正
8	米田	けさ子
9	前田	美恵子
10	野口	俊一
11	田中	道雄
12	内田	吉彦



スキー研修旅行

12期生

学年規模

12クラス



バレーボール部（女子）

13期生

1986.4 ~ 1988.3

学年規模

12クラス



春の遠足



2年遠足



ソフトボール部



藤高フェスティバル
文化の部

担任一覧

学年	第1学年	担任
主任	板倉 圭子	
1	阿形 恒秀	
2	藤井 克弥	
3	鳥越 啓嗣	
4	林 誠	
5	早川 友三	
6	坂本由起子	
7	市口 幸男	
8	橋本 章/木村好孝	
9	三輪 昌孝	
10	吉田 淑子	
11	武市 哲明	
12	来住 隆一	

学年	第2学年	担任
主任	板倉 圭子	
1	田中 健一	
2	早川 友三	
3	来住 隆一	
4	林 誠	
5	三輪 昌孝	
6	市口 幸男	
7	加賀由起子	
8	木村 好孝	
9	鳥越 啓嗣	
10	武市 哲明	
11	橋本 章	
12	阿形 恒秀	

学年	第3学年	担任
主任	板倉 圭子	
1	来住 隆一	
2	雨堤 敏子	
3	早川 友三	
4	市口 幸男	
5	阿形 恒秀	
6	木村 好孝	
7	林 誠	
8	鳥越 啓嗣	
9	服部 真人	
10	橋本 章	
11	武市 哲明	
12	三輪 昌孝	

14期生

1987.4 ~ 1989.3

学年規模

12クラス



藤高フェスティバル 文化の部 (吹奏楽部)



藤高フェスティバル
文化の部 (盆踊り)



藤高フェスティバル 文化の部 優秀賞



陸上部



担任一覧

学年	第1学年	担任
主任	村上 寛明	
1	松井美智子	
2	谷口 房伸	
3	妻谷 光治	
4	中坂 欣司	
5	岸本アヤ子	
6	松本 正	
7	木島 淳子	
8	房本 進吾	
9	松浦 紀彦	
10	福西 浩	
11	中須賀敏子	
12	詫間 尊丸	

学年	第2学年	担任
主任	村上 寛明	
1	松浦 紀彦	
2	谷口 房伸	
3	帯刀多余子	
4	中坂 欣司	
5	松井美智子	
6	中須賀敏子	
7	岸本アヤ子	
8	松本 正	
9	筒井 完次	
10	神屋 和夫	
11	妻谷 光治	
12	木島 淳子	

学年	第3学年	担任
主任	村上 寛明	
1	岸本アヤ子	
2	妻谷 光治	
3	神屋 和夫	
4	阿形 恒秀	
5	松本 正	
6	中坂 欣司	
7	松井美智子	
8	中須賀敏子	
9	野口 俊一	
10	筒井 完次	
11	松浦 紀彦	
12	木島 淳子	

担任一覧

学年	第1学年	担任
主任	吉田 正博	
1	岡田 正雄	
2	大塚 信子	
3	田中有美子	
4	菊田 秀子	
5	高松 史朗	
6	玉井 規雄	
7	別所 俊彦	
8	藤本知代子	
9	杉田 有史	
10	坂上 公一	
11	鈴木 和子	
12	大野木好江	



スキー研修旅行

学年	第2学年	担任
主任	吉田 正博	
1	詫岡 尊丸	
2	杉田 有史	
3	木村 好孝	
4	坂上 公一	
5	鈴木 和子	
6	大塚 信子	
7	大野木好江	
8	岡田 正雄	
9	藤本知代子	
10	高松 史朗	
11	菊田 秀子	
12	別所 俊彦	



1年球技大会

学年	第3学年	担任
主任	吉田 正博	
1	岡田 正雄	
2	吉川 憲司	
3	坂上 公一	
4	木村 好孝	
5	早川 友三	
6	野口 俊一	
7	詫岡 尊丸	
8	杉田 有史	
9	鈴木 和子	
10	大塚 信子	
11	大野木好江/山口 義三	
12	妻谷 光治	



藤高フェスティバル 文化の部



野球部

15期生

1988.4~1990.3

学年規模

12クラス

担任一覧

学年	第1学年	担任
主任	鳥越 啓嗣	
1	吉元紀美子	
2	川村 高明	
3	渡辺 武	
4	光田 藤一	
5	長 実	
6	内田 吉彦	
7	伊藤 眞治	
8	稲田 和子	
9	吉田 淑子	
10	磯野 彰	
11	山本 陽子	
12	岡本 貞美	



藤高フェスティバル 文化の部

学年	第2学年	担任
主任	鳥越 啓嗣	
1	光田 藤一	
2	長 実	
3	吉元紀美子	
4	川村 高明	
5	内田 吉彦	
6	稲田 和子	
7	磯野 彰	
8	吉田 淑子	
9	伊藤 眞治	
10	渡辺 武	
11	山本 陽子	
12	岡本 貞美	



学年	第3学年	担任
主任	鳥越 啓嗣	
1	渡辺 武	
2	長 実	
3	磯野 彰	
4	伊藤 眞治	
5	稲田 和子	
6	内田 吉彦	
7	岡本 貞美	
8	吉田 淑子	
9	吉元紀美子	
10	中坂 欣司	
11	光田 藤一	
12	川村 高明	



タコあげ大会



2年遠足

16期生

1989.4~1991.3

学年規模

12クラス

Fujiedera High School
30th Anniversary

17期生

1990.4~1992.3

学年規模

12クラス



3-6



藤高フェスティバル 文化の部



スキー研修旅行



硬式テニス部（女子）

担任一覧

学年	第1学年	担任
主任	三輪 昌孝	
1	阿形 恒秀	
2	小西 顕治	
3	南 昭	
4	内本 雅之	
5	筒井 完次	
6	服部 真人	
7	増田恵理子	
8	奥田真由美	
9	杉本 光恵	
10	武市 哲明	
11	雨堤 敏子	
12	田原 久徳	

学年	第2学年	担任
主任	三輪 昌孝	
1	増田恵理子	
2	雨堤 敏子	
3	武市 哲明	
4	香川 義憲	
5	田原 久徳	
6	吉川 憲司	
7	小西 顕治	
8	奥田真由美	
9	杉本 光恵	
10	阿形 恒秀	
11	内本 雅之	
12	服部 真人	

学年	第3学年	担任
主任	三輪 昌孝	
1	香川 義憲	
2	内本 雅之	
3	服部 真人	
4	杉本 光恵	
5	増田恵理子	
6	田原 久徳	
7	武市 哲明	
8	奥田真由美	
9	小西 顕治	
10	中須賀敏子	
11	雨堤 敏子	
12	中川 武之	

18期生

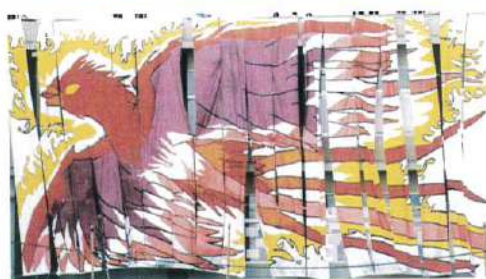
1991.4~1993.3

学年規模

12クラス



藤高フェスティバル 文化の部



1年マラソン



タコあげ大会

担任一覧

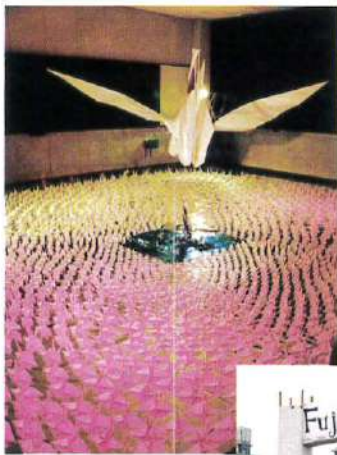
学年	第1学年	担任
主任	山口 湧三	
1	詫間 尊丸	
2	田中有美子	
3	塩田 明彦	
4	林 誠	
5	田中 健一	
6	西野小枝子	
7	北山 祥子	
8	湯浅 博	
9	田島 和久	
10	松本 正	
11	松浦 紀彦	
12	森安 雄生	

学年	第2学年	担任
主任	山口 湧三	
1	北山 祥子	
2	塩田 明彦	
3	菊田 秀子	
4	林 誠	
5	松浦 紀彦	
6	松本 正	
7	寺本 勉	
8	田中 健一	
9	田中有美子	
10	西野小枝子	
11	森安 雄生	
12	田島 和久	

学年	第3学年	担任
主任	山口 湧三	
1	林 誠	
2	塩田 明彦	
3	内田 吉彦	
4	松浦 紀彦	
5	詫間 尊丸	
6	田中 健一	
7	森安 雄生	
8	菊田 秀子	
9	北山 祥子	
10	西野小枝子	
11	田中有美子	
12	松本 正	

担任一覧

学年	第1学年	担任
主任	岡田 正雄	
1	妻谷 光治	
2	橋原 竜二	
3	河上 修	
4	金丸 七郎	
5	吉田 正博	
6	杉田真規子	
7	河内 正行	
8	平岡 宏一	
9	中川 洋一	
10	中島 明人	
11	橋本 保子	
12	松本 貴仁	



藤高フェスティバル
文化の部

学年	第2学年	担任
主任	岡田 正雄	
1	中島 明人	
2	川村 高明	
3	稲田 和子	
4	橋本 保子	
5	平岡 宏一	
6	妻谷 光治	
7	河上 修	
8	金丸 七郎	
9	橋原 竜二	
10	中川 洋一	
11	河内 正行	
12	吉田 正博	



藤高フェスティバル 体育の部

学年	第3学年	担任
主任	岡田 正雄	
1	中川 洋一	
2	河上 修	
3	橋本 保子	
4	橋原 竜二	
5	稲田 和子	
6	河内 正行	
7	中島 明人	
8	米田けさ子	
9	妻谷 光治	
10	平岡 宏一	
11	川村 高明	
12	吉田 正博	



茶道部

19期生

1992.4~1994.3

学年規模

12クラス

担任一覧

学年	第1学年	担任
主任	中川 武之	
1	冠本 宇治	
2	伊藤 眞治	
3	磯野 彰	
4	請田 正幸	
5	田原 伸	
6	堀野 順夫	
7	中川 輝美	
8	中須賀敬子	
9	蘭本 幸子	
10	吉田 淑子	
11	田原 久徳	
12	伏井 信之	



お昼ごはん



学年	第2学年	担任
主任	中川 武之	
1	吉田 淑子	
2	蘭本 幸子	
3	田原 久徳	
4	伊藤 眞治	
5	冠本 宇治	
6	中川 輝美	
7	堀野 順夫	
8	磯野 彰	
9	中須賀敬子	
10	田原 伸	
11	伏井 信之	
12	請田 正幸	



藤高フェスティバル
文化の部

学年	第3学年	担任
主任	中川 武之	
1	田原 伸	
2	伊藤 眞治	
3	伏井 信之	
4	磯野 彰	
5	中川 輝美	
6	田中 健一	
7	請田 正幸	
8	木村 好孝	
9	堀野 順夫	
10	蘭本 幸子	
11	中須賀敬子	
12	冠本 宇治	



フォークソング部

20期生

1993.4~1995.3

学年規模

12クラス

卒業生は今…



社会で活躍している藤高卒業生

7代校長 森井 久夫

私は昭和49年、藤井寺高校開設期から11年間国語科教諭として勤め、平成7年から10年までの4年間は、嬉しいことに再び藤高の校長として勤めさせていただき、無事35年間の教員生活を終えることができた。自分の幸せだった教員生活をふりかえる時、無数の先生方の姿、それに倍する生徒たちの顔が浮かんでくる。その多くは藤井寺高校の先生方であり生徒である。

平成15年、創立30周年にあたり、社会で活躍する藤高卒業生を紹介してほしいという記念誌編集委員の先生からの依頼に応じ、私の記憶によみがえってくる創設期の卒業生達を中心に紹介したい。ただ、私が担当したのは1期生・4期生・7期生・11期生で、それ以外の卒業生については可能な限り情報を集めることにした。

1 プロの山男・津山篤君（1期生）

津山君は藤高創設2年目から始めた白馬山麓夏期野外活動に参加し、山の魅力に取りつかれた。真夏でも10度という白馬大雪渓を踊りながら登っていた津山君は卒業後、南アルプス塩見岳の山小屋で登山者の案内の仕事自分の生涯の仕事として選んだ。その後赤石小屋に変わったが、この時、山好きの皇太子様が登山された時に世話をしている。続いて南アルプス千丈岳の藪沢小屋を自分で所有する立場を確保した。

私は平成6年に3千メートルの千丈岳に登り彼の小屋に泊まったが、特製の野草てんぶらで歓迎してくれた。一夏で百万円を稼ぐが遭難者救助や悪天候の中での登山者案内など大変な仕事もやっていた。後に名古屋テレビのアルプス紹介の番組に彼は出演していた。

2 ミュージシャン3人男!!
ミュージシャンになった樋口宗孝君（1期生）、高崎晃君（3期生）、西田忠彦君（7期生）

現在ニューヨークで活躍中の「ラウドネス」樋口宗孝さん

藤高の文化クラブからプロのミュージシャンになった卒業生も多い。中川一男先生（現在長吉高校教頭）が創設した現代音楽研究部から私の知る限り3名のミュージシャンが出ている。音楽の分野から言えばロックだが、樋口君はドラマーで、高校時代からすばらしいテクニックもっていた。秋の文化祭でグループの演奏の途中、ドラムのソロがあって樋口君は激しいリズムを超高校級の技巧で乗り切った後、新体操のようにスティックを空中に放り上げ、それを見事に受け取り演奏を続けたが、観客から大喝采を浴びた。

卒業後、後輩の高崎晃君とロックバンドの「ラウドネス」を結成し、単独のライブ以外に、当時人気絶頂だったドリフターズの「八時だよ。全員集合」などのテレビ番組にも出演していた。その後アメリカへ渡り、帰国後は新たに「スライ」というバンドを結成し、ハードロックの演奏で人気を得たと聞いている。現在「ラウドネス」は再結成され、テレビのウルトラマンのバックミュージック等を演奏した。



中川一男氏

7期生の西田忠彦君は前述の2人とは別に演奏活動を続けていて、有名な在日のミュージシャン、ホン・ヨン・ウンさんとバンドを組んで活躍している。

なお、現在の現代音楽研究部を指導しているのは創設者中川一男夫人の輝美先生（国語科）である。

3 フリーライターでユニークな活動を続ける林日出夫君（2期生）

林君は藤高時代には、まさに青春時代を謳歌していた。野外活動に参加したり、仲間と「映画研究部」を結成し当時流行していた8ミリカメラを駆使し、ドラマ作りに熱中していた。自分でシナリオを書き、主演のギャグを演じ、カメラワークや仲間の演技指導など、まるでチャップリンのように活動した。藤高祭には8ミリ映画大会を他のグループと共に開催し全体の盛り上がりを助けた。

卒業後も映画制作グループを作り、怪奇映画を作るなどで技術を輝いた。

その後、林君は文筆の力を生かし、独立して事務所を構え、漫画家と組んで、ドラマ部分は自分が担当するという新しいやり方を生み出し、「少年ジャンプ」等の雑誌に継続して作品が掲載された。その他、タウン誌の記事の取材など、フリーライターとして積極的に活動している。

4 プロのアナウンサーとなった近藤栄さん（6期生）

藤井寺高校同窓会設立20周年記念行事は大阪南港から神戸方面を往復するクルーザーの中で開催された。約200名の参加者は快晴の大阪湾に照り輝く夕日を楽しみながら、船中でミーティングを行ったが、その集いを盛り上げてくれたのが、近藤栄さんだった。近藤さんはその日集まった大勢の旧職員や各期の同窓生など、お互いにつながりの薄い参加者同志を一つにまとめる難しい司会者を担当してくれた。ユーモアと歯切れのよいトークによって参加者は心のステージのプログラムに集中し、明るい盛り上がりの中、会は無事終了した。終了後、彼女から貰った名刺でラジオ大阪のアナウンサーだと分かった。少しばかり話したが、彼女は各種イベントの司会や結婚式の進行役も仕事としているのでよろしくということであった。新しい時代の新しい女性の生き方としてここで紹介したい。

5 藤田まことの「必殺仕事人」のシナリオを書いた中西欣也君（1期生）

藤高の文化クラブの一つ写真部に中西君は属してした。大和川のカモメを撮影したり、8ミリ映画で「古市古墳群」の制作に全力投球したことがあった。特に映画制作に彼は興味を示し、ただ単に古墳を撮影するだけではなく、よい作品にするために、シナリオが必要、映像の組合せのノウハウも大切、テーマをどう決めるかは無視できないなど、部長の石川君と手を組んで作品を完成させた。羽曳野丘陵から夕日に照らされた古墳群のラストシーンは感動的だった。

このクラブ活動の体験以外に、たまたま私が国語の授業で取り上げた黒澤明のシナリオ「生きる」に対する強い関心が彼の卒業後の道を決定した。彼は大阪シナリオ学校に入学し、専門的に映画作りのノウハウを勉強した。そして数年後、彼から一枚のはがきが届いた。それによると、3人のシナリオ制作グループ「正中恵」というペンネームで、藤田まことの「必殺仕事人」のシナリオを書き、採用されたのでぜひ見てほしいということであった。正中恵の「中」は中西君を表している。昔はシナリオというひとりで書いたものだが、作品を面白くするために、例えば黒澤明の「七人の侍」が橋本忍、小国英雄と組んで共同でシナリオを書き、古今の傑作に仕上げたように、中西君も3人で書くことによって、お茶の間の時代劇としては、本格的でスリルに満ちたドラマに仕上げている。現在は、シナリオだけでは生活ができないので、サラリーマンとなって、また新しい作品を発表したいと抱負を語っている。

6 オーボエ奏者となった山根久美子（旧姓杉本）さん（6期生）

山根さんのお父さんは、藤高PTA会長を務めておられ、私と親交があり、「娘を音楽の道に進ませたい」といった話もされていたので彼女に関心をもっていた。個人的にオーボエのレッスンを受けているということだったので内心驚いていた。というのも、オーボエという木管楽器は演奏技術が難しく、いつも息を入れる二枚舌のリードを自分の口に合うように、音が出やすいようにナイフで削らなくてはならない。そんな楽器をやる以上よほど音楽の素養があるに違いないと考えていた。私も関西シティフィルハーモニー交響楽団でバイオリンを弾いていたので、オーボエについてもある程度理解があった。

山根さんはお父さんが願ったように、大阪音楽大学に入学し、本格的にオーボエ奏者として成長していった。ある時何気なく大阪音楽大学案内のパンフレットを見ていると、山根さんが大きく写っているのを発見し喜んだことがあった。それから数年間の彼女の消息は分からなかったが、4年ほど経ったある日、私のオーケストラに突然、客演奏者として山根さんがやってきて指揮者から紹介された。何のことはない、私たちの指揮者、橋本徹雄先生は大阪音楽大学の先生であり専門がオーボエであったので、山根さんの指導者でもあったのだ。山根さんも私を見て喜んでくれた。こんな再会があって、しばらく彼女とリサイタルを共に経験した。彼女のオーボエの演奏する姿に初めて接したが、音色やリズムが安定していてまさにプロの技術に達していた。間もなく彼女は橋本先生が仲人となり結婚したが、何回かリサイタルを開き感動的な演奏を聴かせてくれた。

前校長の森井先生によって、1期生から7期生にかけて、社会で活躍している卒業生の紹介がありました。それ以降の卒業生で、それぞれの分野で活躍している方々の寄稿を掲載致します。

13期生代表の田仲さんが近況を寄せて下さいました。16期生の陳心怡さんは、現在、大谷高校で音楽を教えるかたわら、幼年期より続けているピアノの演奏で、毎年、リサイタルを開いて活躍しておられます。

また、同じ16期の上野恵美さんは、在学中は演劇部で活躍し、現在は女性雑誌「SAVVY」の編集記者として、多忙な毎日を送っておられます。

新しい卒業生として、23期の馬場健太郎さんは、在学中はラグビー部に所属し、関西大学に入学後、さらに、慶応大学を受け直すという苦学を重ね、現在、同学の経済学部にて在学中です。

今回、紹介できたのは以上の方々ですが、さらに多くの卒業生の皆さんが各分野で活躍されていることと思われまます。

また、母校同窓会の方へ、近況の御連絡を下されば幸いです。

田仲 勲

13期生



藤井寺高校創立30周年おめでとうございます。

私は現在、地下鉄御堂筋線昭和町駅前で『吟醸居酒屋ほんちゅ亭』と言う地酒中心(一応、利き酒師です)の居酒屋をやっております、第13期生の田仲と申します。

夏前に恩師である木村好孝先生が店にやって来て、いつもの如く酔っぱらいながら、「藤高の30周年誌をだすから、おまはん、なんぞ書いてくれ!」と言われましたが、酔っぱらいの戯言とほっておいたら、他の先生からも「原稿できた?」と催促があり、どうやら本当やったみたいで、急いでペンを取りました。

在学中、柔道部(一応、武段です)に所属してまして、もっぱら勉強よりクラブ中心の生活(でも練習嫌いでいつも、顧問の富山治正先生に怒られてた)だったので、授業中には居眠りやハヤベン、成績も下から数えた方が早かったりと、散々でした。しかしその反面、体育祭のクラブ対抗リレーで剣道部の中條孝宏さんと芝居やったり、文化祭では遅くまで踊りの練習をしたりと、イベントがあるごとに皆で盛り上がったことが思い出さ

れます。が、その後飲み会をやってバテて、クラスみんなで停学になった事も今となってはいい思い出となっています。(市口幸男先生、すみませんでした)

卒業後、近畿日本鉄道(株)に入社。約7年勤めた後、前々から飲食業に興味があったので、先程ののんべえ〜木村先生の紹介もあり阿倍野にある『地酒天国翔家』に入社、5年間店長として勤め(現在は同じ藤高13期生、サッカー部のキーパー、小谷聡くんが店長やっています)独立、平成14年5月9日に『吟醸居酒屋ほんちゅ亭』をオープンさせました。男女を問わず、恩師、同期生、先輩や後輩が楽しいことや会社のグチ、旦那や嫁のグチ、子供の話、昔話などなどを酒の肴にして店に来て呑んでいます。しかしこの不況のご時世、なかなか商売も大変です。私ごとですが、今年の2月に嫁はんを貰い(披露宴の隣の会場で、同じ藤高13期生が偶然、披露宴やってた)12月には子供も産まれます。メチャ頑張らんとあかんな〜と思ってますんで、皆さんも近所にきたら助ける?と思って(笑)呑みに来てください。(在校生はNG! 誰かさん達みたいに停学になるよ!)ちょっとしたサービス券つけておきます。

私の人生の中で、一番影響があったと思う藤高時代。すばらしい恩師やすばらしい仲間たちと出会えたことを本当にうれしく思います。藤高おおきに!

陳 心怡

「音楽」を経験して

16期生

週に2日、中学校で音楽を教え、週4日は自宅でピアノを教えています。“音楽に”毎日触れていますが、私と“音楽”をつないでいるのはピアノです。小学校から習い始めましたが、その時は、「音楽をする」という意識はあまりありませんでした。「音楽の真の奥深さ」を意識し始めたのは、音大時代に、ある先生のレッスンを受けてからなのですが、一つ一つの音には、それぞれの色が見えてきて、フレーズの背景には、物語が目に



浮かぶ、とっても感動的な経験をしました。ここ三年間、毎年、テレマン室内管弦楽団との共演も経験し、多種多様な物を見たり聞いたりして、より豊かな感性を求め、できる限り勉強を続けていきたいと思っています。そして、この頃授業で思うことは生徒達に自己表現ができる感性をどの様に養わせるか、ということです。週一時間という限られた時間の中では、“至難の技”のように思われますが、豊かな感性を育むためにも、授業のあり方について、今後も研究をし続けたいと思っています。

上野恵美

16期生



私は現在、雑誌の編集、ライターをしています。思えば、やりたかったことを現在、実現できているのは、高校時代の担任の先生の影響が大きかったように思います。先生に「あなたたちには可能性があるのだから、“自分”さえちゃんと持っていたら大丈夫」というキンパチ先生のようなことを言われたのを覚えています。当時の私は「そうか？」なんて思っていたのですが、思い返せば、結局人生の選択の場面でこの言葉が励ましとなってきました。やっぱり仕事ですし、思い描いていた理想とは違い、厳しい面もたくさんあります。また、「現在の自分が理想通りか」と聞かれれば、即座に「NO」という答えです。でも、自分を見つめて出してきた答えの積み重ねが現在の自分なので、納得はしています。先生の言われた“可能性”は無限大の財産だと、今は痛感してい

ます。だからその財産をウソでもいいから信じて、自分を見つめ直してください。それが夢への近道のような気がします。

馬場健太郎

23期生



左から2人目が馬場君

高校在学時ほとに角挫折の繰り返しであったように思います。とりわけ勉強の出来が悪く、成績表は醜いものでした。それでも決して高校嫌いにならなかったのは、学校生活が頗る順調で、極めて満足のいくものであったからです。他人の後塵を排しながらも満ち足りた3年間を送ることが出来たのには、幾つかの理由があります。

まず第一に、現在でも親しくしている友人たちの存在です。中でも当時在籍していたラグビー部の部員との間には、4年の時を経てもなお色褪せることのない思い出が満ちています。それもどういふ訳か、試合よりも夕方からの練習の方がハッキリと記憶に残っています。今でもこうした思い出話をし始めると、自然と笑いが起こって絶えることが有りません。彼らとのエピソードはどれをとっても懐かしく、こうした素晴らしい友人たちに出会えたことに感謝しています。

次に旧担任団を始めとして先生方の教えが挙げられます。とは言うものの、授業中は立たされたり、前後左右雑談したりして、何とかして授業という「病魔」の発する苦痛を柔らげようとしていました。だから、先生方との思い出は教室よりも職員室や生指の部屋の方が多いかもしれません。3年間を通じて様々な先生にお世話になりました。その中でも印象に残っているのは、先生方が単にそれぞれの科目内容を教えるに止まらず、より広がりのある「人生の生き方」を説いておられたように感じたことです。換言すると、それは恰も人生に対する姿勢とでも言うべきものであり、それぞれの「人生哲学」と言っても過言ではないと思います。

こうした友人や先生方さらには、両親を含む多くの方から教わった「生き方」の授業が私にとっては最も価値あるものに思えます。

卒業してからも「挫折の環」の中から抜けられず、浪人生活を送りました。加えて一浪後合格した大学（関西大）も中退し、慶応大学に再入学する等決して褒められた人生ではございません。しかし今後の人生で、何か世の為人の為になるような仕事が出来たら望外の幸せであり、その時になってようやく先生方の「授業」の成果が実るものだと思います。

それでは、母校の益々の発展を願って拙文を終えたいと思います。

それでは、母校の益々の発展を願って拙文を終えたいと思います。

平成6年 (1994年度) 21期生

■生徒会行事(3年時)

- 6月7日
藤高フェスティバル体育の部
- 9月21・22日
藤高フェスティバル文化の部
- 10月30日
球技大会

1年担任

(主任) 長 実

- 1組 渡辺 武
- 2組 大川原香子
- 3組 阪本百合子
- 4組 坂上 公一
- 5組 内本 雅之
- 6組 杉野美智子
- 7組 武市 哲明
- 8組 杉本 光恵
- 9組 増田恵理子
- 10組 吉元紀美子
- 11組 奥田真由美

2年担任

(主任) 長 実

- 1組 坂上 公一
- 2組 増田恵理子
- 3組 杉野美智子
- 4組 杉本 光恵
- 5組 奥田真由美
- 6組 阪本百合子
- 7組 大川原香子
- 8組 内本 雅之
- 9組 吉元紀美子
- 10組 渡辺 武
- 11組 武市 哲明

3年担任

(主任) 長 実

- 1組 奥田真由美
- 2組 増田恵理子
- 3組 内本 雅之
- 4組 吉田 正博
- 5組 坂上 公一
- 6組 杉野美智子
- 7組 渡辺 武
- 8組 吉元紀美子
- 9組 杉本 光恵
- 10組 大川原香子
- 11組 阪本百合子



主任 長 実先生

藤高の発展こそぼくの喜び

ぼくが藤高にお世話になったのは定年後の講師も含めて25年。愛着もそれに比例する。

その間12期生と21期生の学年主任。どちらの学年にも女の先生が多くて、果報者だった。12期では前田美恵子先生が、21期では吉元紀美子先生が主任であるぼく以上の働きで学年をまとめてくださった。両学年とも職員室はいつも明るく和気藹藹、先生方がいつも集まっていた下さった。暗黙の中に藤高を前進させようと気持ちが1つになっていたと思う。

12期生1年(1985)夏休み、藤井寺市民会館を借りて自主学習(講習)会が発足できたのも学年の先生方のその気持ちの賜物だった。学年通信週刊Green Flashが3年間1度の欠刊もなく続いて冊子にもなった。

安定期に入った21期生にはそれぞれの先生が生徒の個性の開花に献身され見事に実ったとの印象が深い。藤高の発展を切望する。



5月2日 遠足/奈良県立野外活動センター

夜のコーラス大会では、先生も一緒に盛り上がったネ。



2月28日~3月3日 スキー研修旅行
横手山スキー場(志賀高原)





6月7日 フェス体育の部
文武あっばれーど最優秀賞



総合グランプリ 青龍団



〈アトラクション最優秀賞〉
「生徒にラブ・ソング」



劇「番町皿屋敷」〈準グランプリ〉



(プロ吉川先生を迎えて) バスケット部充実!

平成7年
(1995年度)

22期生

■生徒会行事(3年時)■

- 6月13日
藤高フェスティバル体育の部
- 9月19・20日
藤高フェスティバル文化の部
- 10月31日
球技大会

1年担任

- (主任) 山口湧三
- | | | |
|-----|----|----|
| 1組 | 妻谷 | 光治 |
| 2組 | 服部 | 真人 |
| 3組 | 船井 | 嘉彦 |
| 4組 | 塩田 | 明彦 |
| 5組 | 松本 | 貴仁 |
| 6組 | 井上 | 知子 |
| 7組 | 松浦 | 紀彦 |
| 8組 | 吉田 | 良男 |
| 9組 | 森安 | 雄生 |
| 10組 | 川村 | 高明 |

2年担任

- (主任) 山口湧三
- | | | |
|-----|----|----|
| 1組 | 吉田 | 良男 |
| 2組 | 中島 | 明人 |
| 3組 | 河内 | 正行 |
| 4組 | 森安 | 雄生 |
| 5組 | 妻谷 | 光治 |
| 6組 | 井上 | 知子 |
| 7組 | 船井 | 嘉彦 |
| 8組 | 松本 | 貴仁 |
| 9組 | 松浦 | 紀彦 |
| 10組 | 岡田 | 正雄 |

3年担任

- (主任) 山口湧三
- | | | |
|-----|----|----|
| 1組 | 内本 | 雅之 |
| 2組 | 船井 | 嘉彦 |
| 3組 | 吉田 | 良男 |
| 4組 | 森安 | 雄生 |
| 5組 | 中島 | 明人 |
| 6組 | 岡田 | 正雄 |
| 7組 | 伊藤 | 真治 |
| 8組 | 河内 | 正行 |
| 9組 | 松本 | 貴仁 |
| 10組 | 井上 | 知子 |

22期生の思い出



主任 山口湧三先生

個人情報保護法に守られた現在では出来ないが、22期では入学試験の結果から「下位30傑」と「上位30傑」を調べ、1年の1学期中間考査の成績を始めとして連続して定期考査の結果を追跡調査した。その結果として入学試験の「下位30傑」にいた者の中で、1学期中間考査の「下位30傑」に入った者は1人もいない。また数回の定期考査後、入試の「上位30傑」に入っていた者で「ワースト30傑」に入った者がいる。実力差の少ない藤井寺高校では「危機感をもった下位者」と「だらけきった上位者」の逆転現象は当然のごとく起こる。先入観をもって上位者・下位者を区別し、期待をしたり同情をするのはよくない。また、3年間で21期からの留年生を除く退学者が5名出たが、純粹に能力不足による成績不振で退学した者は1人もいなかった。「アルバイトが面白くなった」などそれまでの学年では考え難かった問題がでてきた。3年間通して担任をもたれた先生は10人中5人、異動の激しくなった学年であった。



応援の部一位 青龍団



麒麟団 総合グランプリ1位



人権啓発読書感想文コンクール表彰式
2年 林えり子さん最優秀賞



模擬店／たがしやに来てや。



はり絵グランプリ／生きる



展示グランプリ／トトロ



アジアンカルチャー（歌と踊り）



男性も尺八や琴の音を楽しんでいます。（箏曲部）



榎原先生を迎えてバレー部が充実!

平成8年
(1996年度)

23期生

■生徒会行事(3年時)■

- 6月12日
藤高フェスティバル体育の部
- 9月19・20日
藤高フェスティバル文化の部
- 10月3日
球技大会

1年担任

- (主任) 木村好孝
- 1組 平岡 宏一
 - 2組 十河 静男
 - 3組 木田 誠
 - 4組 稲田 和子
 - 5組 田中有美子
 - 6組 西村 隆男
 - 7組 吉川 憲司
 - 8組 坂口 周子
 - 9組 西野小枝子
 - 10組 榎原 竜二

2年担任

- (主任) 木村好孝
- 1組 吉川 憲司
 - 2組 十河 静男
 - 3組 平岡 宏一
 - 4組 坂口 周子
 - 5組 稲田 和子
 - 6組 田中有美子
 - 7組 榎原 竜二
 - 8組 西村 隆男
 - 9組 木田 誠
 - 10組 西野小枝子

3年担任

- (主任) 木村好孝
- 1組 西野小枝子
 - 2組 十河 静男
 - 3組 田中有美子
 - 4組 榎原 竜二
 - 5組 木田 誠
 - 6組 坂口 周子
 - 7組 西村 隆男
 - 8組 平岡 宏一
 - 9組 稲田 和子
 - 10組 吉川 憲司



田中有美子先生

23期のおもいで

23期は、私が藤井寺高校で過ごした最後の学年でした。素直で人に優しく、それぞれ個性的だった皆さんのことを、懐かしく思い出します。

授業では、一年時のオールコミュニケーションで、マーシー先生といろいろな取り組みをしたこと。楽しかったです。みなさんは覚えていますか？英語でのCMづくり。原稿を書いてセリフを覚えて、最初はぎこちなかったけれど、ビデオに撮る頃にはすっかり欧米人になりきった(?)名演技。CMビデオの鑑賞会は、大爆笑で盛り上がりましたね。

熟演といえば、文化祭での演劇も印象的な学年でした。見事な演技と舞台美術がひとときわ光ったクラスもあれば、脚本からすべて自分達だけの力で作り上げたクラス。どのクラスも「藤高フェス」にかける情熱を熱く感じさせてくれました。

スキー研修旅行での合唱大会。行事の中のイベントだったけど、クラス対抗でほんとうにみんな真剣でした。本番前なのに今一つうまくいかず、「先生は出とってや。」と自分達だけで練習し、私が部屋に入ったとたん、「せーの」で見事歌い上げてくれた君達。結果は見事優勝。胸が熱くなりました。

たくさんの楽しい思い出をくれた23期の皆さん、どうもありがとう。いろんな場面で君達が見せてくれた「底力」を、これからの人生でも大いに発揮してくれることを願っています。



主任 木村好孝先生



思いを込めた10名の担任
入学式(4月8日)

合唱大会優勝!



合唱コンクール森井先生(プロ)
からおほめの言葉をいただきました。



現代音楽研究部 グランプリ大会特別賞受賞



フェス文化の部(9月19・20日)
23期のおかげでクラス演劇が盛ん
になりました。



樽原先生
女子バレー部顧問

藤高23期生の思い出

藤井寺高校創立30周年おめでとうございます。「藤高を思い切り楽しんでやろう。」そういう意気込みで満ちた23期生との3年間は、授業、行事、部活動とどれをとっても充実したものでした。特に印象深いのは、2年生の冬に行われた、当時の藤高の名物でもあった志賀高原・横手山へのスキー修学旅行でありました。上質の雪の中でめきめき上達する生徒たちは、先を読んで行動し、協力しながら練習を重ねて臨んだ合唱大会も感動的でした。私はこの数年、藤高が利用していた視川ホテルで正月を迎えておりますが、ホテルやスキースクールのスタッフの方々が今でも「藤高生は素晴らしい。」と誉めてくださる度に誇らしく感じております。

冗談の飛び交う職員室、しかしいざ生徒のこととなれば真剣な議論ができ、支えあうことが出来た職員間の雰囲気、藤高生の人なつこさや優しさを引き出していたように思います。私自身も、個性的で指導力のある周囲の同僚から多くのことを、おそらく生徒以上に学ぶことが出来たと感じております。

私は23期生の卒業と時を同じくして藤高から転出いたしました。現任校でも世界史の授業展開や生徒との面談の時など、藤高時代を思い起こしながら試行錯誤を繰り返しております。最後になりましたが、当時の学年主任・木村先生をはじめ、諸先生と職員の方々に感謝の気持ちを述べさせていただきます。そして、これからも藤高が包容力のある学校として発展されることをお祈り申し上げます。



どんどん技術を身につける君達!!
2月27日～3月3日 横手山スキー場



球技大会 10月30日



稲田和子先生

忘れられない思い出

23期生の思い出はその入試の日が始まります。その日教室に入室する時刻になっても藤高にたどり着かない受験生が1人いるとのこと、急きょ教頭の杉岡先生の配慮で探しに行くことになりました。カーピーランドまで行くとずっと先の路地の奥に藤高から遠ざかってゆく学生服の男子生徒の後姿がありました。あわてて車を降り走って追いかけてみると探していた生徒でした。

なぜ藤高から遠ざかる方向に歩いていたのか理由を聞いてはいる暇などありません。急いで車に乗せ、上履きに履きかえさせ「大丈夫、まだ間に合うから。落ち着いて…」と声をかけましたが内心は間に合うのか私の方が不安でした。

あとから考えてみると焦っていたのは私だけでその生徒はその間無言、落ち着き払っていたようにも思いました。そして4月、自分が担任する新1年生のクラスの中に彼の顔をみつけたときは本当にびっくりしました。入試の日のことを思い出してドキドキしている私とは正反対に、彼はあの日のことなどまるでわすれたかのようにやはり無言でした。これが23期生の思い出深い生徒の1人であるF君との出会いでした。

そしてもう1つの大きな思い出は卒業式の夜、「ニュー鳥ふじ」での教員ごくろうさん会での出来事です。学年主任の木村先生の提案で担任が順番に一言ずつ発言することになりました。日頃から何かにつけ涙もろい私や小さな子どもをかかえ子育て真最中で3年間がんばった田中有美子さんはもちろんのこと平岡先生、木田先生、榎原先生、吉川先生までが1年間を振りかえり、23期の3年間を思い返して泣いたのです。今となっては話の内容を正確に思い出せるわけではありませんが、そこに出席した担任すべてが思いを語りながら泣き、人の話を聞いてはまた胸がいっぱいになり泣いたのでした。

23期生の担任は途中病気がけがで休まれた西野先生の応援に冠木先生と森安先生に入ってもらいましたが、結局10人の担任は全く入れ替わることなく持ち上がりました。その分私たち教師と生徒のかかわりは深く思い入れは強かったのだと思います。学年主任を含め23期を持ち上がった仲間と卒業式を終えた日に、その思いをあらためて共有できたことが私の藤高での財産の1つとなっています。



奇跡の人
感動的な熱演でした。



どの団もすごいアピ看が
競演していました。
(アピ看の大型化、立体化実現!)

平成9年

(1997年度)

24期生

■生徒会行事(3年時)

- 6月11日
藤高フェスティバル体育の部
- 9月18・19日
藤高フェスティバル文化の部
- 10月29日
球技大会

1年担任

(主任) 伏井信之

- 1組 大村 健三
- 2組 中川 洋一
- 3組 橋本 保子
- 4組 関本 幸子
- 5組 角谷 修治
- 6組 藤原 安博
- 7組 鈴木 正見
- 8組 川村 高明
- 9組 湯浅 博

2年担任

(主任) 伏井信之

- 1組 橋本 保子
- 2組 藤原 安博
- 3組 中川 洋一
- 4組 鈴木 正見
- 5組 大村 健三
- 6組 関本 幸子
- 7組 角谷 修治
- 8組 冠木 宇治
- 9組 岡田 正雄

3年担任

(主任) 伏井信之

- 1組 吉田 正博
- 2組 角谷 修治
- 3組 鈴木 正見
- 4組 関本 幸子
- 5組 岡田 正雄
- 6組 中川 洋一
- 7組 北山 祥子
- 8組 橋本 保子
- 9組 大村 健三

24期生の思い出

主任 伏井信之先生

特に印象に残るのは卒業式でしょうか。卒業式の企画の過程での生徒の様々な提案。保護者アンケート。卒業式後半「卒業を祝う会」の生徒による司会進行。生徒や教職員の演奏や歌。卒業生と在校生の交流。生徒と保護者の参加によって卒業式は私にとって極めて印象的なものになり、私の想像を越えてその式は充実したものとなりました。3年を終えるそのセレモニーとしての卒業式は、私には旧来の形式で国家と向き合わなければならない場でもありました。しかし、それを生徒と保護者と教職員の参加と交流の場に形を変えることができたことが私にとって最も大切な印象深い思い出となったのだと思います。時代を生きるものにとってその時々課題がいつも存在するでしょう。国家を形成することが緊要の課題であった時期には、卒業式もそれに見合う形式になると思われます。しかし今は別の課題があります。それは、国民一人一人の社会へ主体的な参加で地域を形成し、国家を形成することだと思のです。私は対面式の卒業式のなかにそのような形を求め、生徒、保護者、校長をはじめとする教職員の協力で予想外の大きな感動を得ることができました。24期生の思い出としても、残ってほしいと願っております。



第1回藤井寺高校主催市民講座
“新春セミナー”(しゅらホール)で講演なさっている伏井先生



思い出の合格発表



応援団長 団旗集合

青龍団 3年2組 上田亜維

今年は、先生方から「団のカラーや、イメージにあまりこだわらず、自由に造りなさい。」と言われたのですが、私たち青龍団はあえて、「青龍」にこだわりました。

私たちが造ろうとしたものは、ペにや板を2枚、縦に並べた両手開きの龍の絵を書いた扉と、動かせることのできる巨大な龍でした。最初の方は、簡単にできると思っていました。しかし作業は予想よりも遥かに難しく、途中で妥協して、別のものに替えようかとも思ったのですが、アビ着以外の人たちの助けもあって、体育祭の当日の朝、やっと完成することができました。

優勝という最高の賞を頂いたことは大変うれしかったです。それに加え、1年生から3年生までの3学年が集まり、何かを造り上げたという達成感、高校生活でしか味わうことのできない、貴重な経験だったと思います。



藤高フェスティバル 文化の部
庭のライブ



模擬店
O157のため、縮小されていた手作りの食品部門が再開された。



フェロもち(3-1)
グランプリに輝くもちつき。



関本学級 コーラス



ソフトテニス部



卓球部

平成10年 (1998年度) 25期生

■生徒会行事(3年時)

- 6月9日
藤高フェスティバル体育の部
- 9月16・17日
藤高フェスティバル文化の部
- 10月27日
球技大会

1年担任

- (主任) 中谷利春
- 1組 秦 秀和
 - 2組 中川 輝美
 - 3組 永田 禎一
 - 4組 大川原香子
 - 5組 杉本 光恵
 - 6組 阪本百合子
 - 7組 齋部 幸則
 - 8組 杉野美智子
 - 9組 廣田 恭久
 - 10組 村田 和隆

2年担任

- (主任) 中谷利春
- 1組 廣田 恭久
 - 2組 齋部 幸則
 - 3組 大川原香子
 - 4組 秦 秀和
 - 5組 中川 輝美
 - 6組 村田 和隆
 - 7組 永田 禎一
 - 8組 阪本百合子
 - 9組 杉野美智子
 - 10組 杉本 光恵

3年担任

- (主任) 中谷利春
- 1組 齋部 幸則
 - 2組 阪本百合子
 - 3組 秦 秀和
 - 4組 杉野美智子
 - 5組 村田 和隆
 - 6組 永田 禎一
 - 7組 杉本 光恵
 - 8組 大川原香子
 - 9組 中川 輝美
 - 10組 廣田 恭久



主任 中谷利春先生

25期生の思い出

クラス数減の流れの中で、10クラスという大規模学年であった25期は、明るく無邪気で活発な生徒が多かった。休み時間には屈託のない笑い声が教室中に満ち溢れ、昼休みはグラウンドで汗だくになり、授業中も、何か楽しいことはないかと待ち受けるような表情でおしゃべりのチャンスがうかがう。3年間の様々な事象を通して、生徒個人との関わりが増す毎に、彼らが人間としての成長に見せてくれた事に教師としてのやりがいを、強く感じた学年であった。

最終学年である3年生という重責を背負いながらのフェス体は、“あっぱれーど” “アピール看板”とも壮大な作品が多かった。

フェス文-クラス全員で踊ったソーラン節。体育館の舞台だけでなく、フロア中には着たクラスメイトが溢れ、青春の輝きを放っていた。受験の時期を迎えて、放課後遅くまでたくさんの友人達と教え合っている姿は藤高生らしい優しさと連帯感を表していた。

3年間の締め括りとして“対面式”を選択した卒業式は、生徒達が何度も学年主任の中谷先生と話し合い、素晴らしいアイデアを出し合った成果であった。社会情勢の変化に伴う生徒、保護者の意識の変化を強く感じる時期にまで来ていた藤井寺高校であったが、25期生と過ごす中で、人間と人間が共に信頼し合う喜びをもう一度生徒達から教えられた。卒業式で見た中谷先生の涙は、高校時代という人生の良き時期に教師として生徒に関わって、その純粋な成長を見届けることのできる喜びであったと私は思っている。



中川輝美先生



3年球技大会(体育館にて)
10月27日



6月9日晴天! 団旗集合
我々は正々堂々と…!



杉本光恵先生

25期生を担当して

25期生は十クラスでその前年度より一クラス増えたこともあり、多様な生徒のいる学年だった。強風を伴った雨の入学式当日は、担任団の中から「今後を暗示するような天気やなあ。」という声も聞かれた。事実、一年時では藤高で今までなかったようなでき事が続いた。ただ、大半の生徒は人なっつく、影日向のない良い生徒が多く、私の担任した一年五組などは皆んな仲が良く和気藹藹とした雰囲気であった。しかし二学期も終わりに近づいたある日、クラスで「進級の心配な生徒はクリスマス・イヴに親と一緒に来てもらうから予定しておくこと。」と言うと返ってきた言葉は「えー、先生クリスマス会するの？」であった。二、三年と学年が進んでも、教員の常識とは、ずれを生じているような意識をもった生徒が増えつつあるのも事実だった。しかし、最後の最後にいろんなでき事を起こした生徒達が私達の予想を大きく上回る準備や役割を果たしてくれて、本当にすばらしい卒業式第二部を演出してくれた。三年間、様々な場面で生徒達を厳しく指導された学年主任の中谷先生が、思わず涙される場面があり、担任の一人として感慨もひとしおであった。



アビ看朱雀団



3-9(全員参加の見事な舞踏)
ソーラン節2000 — 2000年への旅立ち



力強い和太鼓のバチさばき



青龍団応援合戦フィナーレ

平成11年

(1999年度)

26期生

■生徒会行事(3年時)

- 6月8日
藤高フェスティバル体育の部
- 9月21・22日
藤高フェスティバル文化の部
- 10月26日
球技大会



主任 森安雄生先生

26期生の思い出

私は26期生を送り出すと同時に転勤になりました。最後の学年という思いだったので、いろいろな思い出が心に焼きついています。

26期生は、今までにない問題が噴出したり大変な状況もありました。しかし、全体的には活発な個性的な生徒が多く、授業面でも自分から積極的に発言していく雰囲気を作り出していました。行事も燃える学年で、体育祭・文化祭ではさまざまな趣向を凝らしました。生徒達が輝いていたのは、修学旅行でした。特に全体レクリエーションでは、はち切れそうな笑いと喜びが広がっていました。“みんなで盛り上がりよう”という熱気が感じられ、さわやかな感動がありました。また、クラスごとに集まり、クラスに対する思いを語り合ったお互いのあり方を批判しあったりと自然発生的な話し合いも行われていました。このような所も、ざっくばらんに気持ちを出し合い心を一にする26期生の良さでした。

1年担任

(主任) 森安雄生

- 1組 松本 貴仁
- 2組 森山 義博
- 3組 米澤 興治
- 4組 青山 輝代
- 5組 植田 亮介
- 6組 小関 嗣郎
- 7組 山口 湧三
- 8組 内海 始
- 9組 石川 要三

2年担任

(主任) 森安雄生

- 1組 石川 要三
- 2組 松本 貴仁
- 3組 小関 嗣郎
- 4組 森山 義博
- 5組 青山 輝代
- 6組 植田 亮介
- 7組 内海 始
- 8組 山口 湧三
- 9組 米澤 興治

3年担任

(主任) 森安雄生

- 1組 小関 嗣郎
- 2組 植田 亮介
- 3組 米澤 興治
- 4組 松本 貴仁
- 5組 石川 要三
- 6組 山口 湧三
- 7組 内海 始
- 8組 森山 義博
- 9組 木村 好孝



発表の日は雨! 覚えていますか。



情報コンピュータ教室ができました。



体育大会 応援団 総合の部一位(麒麟組)



3-3(白雪姫)
総合グランプリ



退職なさる青山先生への感謝状をを贈る。
(スキー研修旅行にて)



おいしいナりんごです。

平成12年

(2000年度)

27期生

■生徒会行事(3年時)

- 6月7日
藤高フェスティバル体育の部
- 9月20・21日
藤高フェスティバル文化の部
- 10月26日
球技大会

1年担任

(主任) 大村健三

- 1組 金丸 七郎
- 2組 坂口 周子
- 3組 伏井 信之
- 4組 木田 誠
- 5組 筒井 真澄
- 6組 西矢 幸司
- 7組 十河 静男
- 8組 古川 友子
- 9組 篠本 明

2年担任

(主任) 大村健三

- 1組 篠本 明
- 2組 古川 友子
- 3組 橋本 保子
- 4組 西矢 幸司
- 5組 坂口 周子
- 6組 金丸 七郎
- 7組 平岡 宏一
- 8組 十河 静男
- 9組 木田 誠

3年担任

(主任) 大村健三

- 1組 中川 輝美
- 2組 十河 静男
- 3組 西矢 幸司
- 4組 杉本 光恵
- 5組 木田 誠
- 6組 古川 友子
- 7組 篠本 明
- 8組 金丸 七郎
- 9組 平岡 宏一



27期生を誇りに思う

27期生と共に過ごした3年間はあっという間の短い3年間でした。それはどちらかというと嫌なことよりは、楽しい感動に満ちた思い出が多く、今はただ懐しい、いろんな生徒の顔が思い出されます。

主任 大村健三先生

高校生活が充実していて輝いたものであるかどうかは、授業・行事・部活動等にどう取り組んで努力したのかにかかっています。その努力の積み重ねや仲間との関わりの中から心の底から感動する経験が生まれてきます。27期生は、先生と生徒の努力の中で多くの感動体験を共有することができました。最も印象に残っていることは、研修旅行での合唱コンクールです。プリンスホテルの大ホールの素晴らしい舞台の中で、それに負けないレベルの合唱をどのクラスも披露してくれました。その歌声は今も忘れることができません。27期生の3年間に関わったことは、私にとって大切な思い出であり27期生を誇りに思っています。



「あった!!」合格発表の日。



雪もとける歌合戦 スキー研修の夜



藤高フェスティバル 体育の部



応援の部 麒麟組



ザ・ライオンキング グランプリ(3-7)



藤高フェスティバル 文化の部



優勝 たべチャイナ 模擬店



新撰組(3-9)

平成13年
(2001年度)

28期生

3年 8クラス

男 159名
女 164名
計 323名

■生徒会行事■

- 6月6日
藤高フェスティバル体育の部
- 9月19日・20日
藤高フェスティバル文化の部



3年主任 齋部幸則先生

藤高の心にふれる

28期生は、この3年間で着実に「敬愛と協力」の校風を育んできました。

1年の冬には、寒い体育館でのカルタ大会の後、全員で食べた「ぜんざい」にホッとしたのは、その暖かさだけではありませんでした。2年秋の研修旅行は、藤高初の企画で沖縄・久米島に行きました。9・11テロ事件の翌年でしたが、エイサー踊りで沖縄の心に触れ、より平和学習の大切さを、また、揺れた船旅では生の自然をも体験しました。そして学園生活に喝を入れようと始めたSHR英単語テストで、手にしたのはうどん券でした。

3年のフェス体では、藤高初の女団長が登場し、真っ先に涙ぐんだのは男団長でした。パワー全快で、楽しさに輝いている一人一人の顔に、改めて学年の成長を実感しました。そして、その心は多くの後輩たちの中に残ったことでしょう。

今日も食堂前にのんびりと横たわる猫たちの視線を感じ、校長室前の小さな池の鯉にバクバクコールを送られつつ・・・残りの学園生活を大切にすれば、28期生も藤高30周年の節目を飾るに相応しい一員になれると確信しています。



シムクガマで体験学習

遠足

- 1年 奈良青少年野外活動センター
- 2年 滋賀信楽陶芸村
- 3年 神戸・万博・光滝寺・金剛山・石川・笠置



エイサー踊りによる交流

1年担任

- (主任) 齋部 幸則
- 1組 石村 友秀
 - 2組 吉田 正弘
 - 3組 井上 知子
 - 4組 岩本貴久子
 - 5組 中村 忠雄
 - 6組 川口 千代
 - 7組 中島 明人
 - 8組 小林 洋子

2年担任

- (主任) 齋部 幸則
- 1組 中村 忠雄
 - 2組 吉田 正弘
 - 3組 川口 千代
 - 4組 岩本貴久子
 - 5組 石村 友秀
 - 6組 中島 明人
 - 7組 井上 知子
 - 8組 小林 洋子

3年担任

- (主任) 齋部 幸則
- 1組 岩本貴久子
 - 2組 中村 忠雄
 - 3組 山口 湧三
 - 4組 河内 正行
 - 5組 小林 洋子
 - 6組 石村 友秀
 - 7組 内本 雅之
 - 8組 藤原 安博

平成14年
(2002年度)

29期生

2年 8クラス

男 156名
女 166名
計 322名

■生徒会行事■

- 6月6日
藤高フェスティバル体育の部
- 9月19日・20日
藤高フェスティバル文化の部



2年主任
吉元紀美子先生

29期生に思う

2003年6月藤高生が熱く燃える日が来ていた。全学年8クラスとなり縦割り4回に分割編成され、3年生各回の指導が見事に充実していた年でもあった。2年になった29期生も運動部に所属しない生徒の多くが応援団やアビ製作りに動員されてゆき、短期間の内に燃えていった。あの日、たった一枚の手作りの賞状を競い合い、手渡される金色のトロフィに彼らが一様に涙するのは、なぜか。— 発表時間、使える費用、人

数などあれだけ多くの制約の中で彼らは自分達の総力を挙げて一つの形あるものを、その日までに完成させたのだ。一見、莫大なエネルギーの浪費に見えるその作業の日々に今は失われかけている教育の原点を私は見る。原案を作る能力、先輩達の残した遺産から学ぶ力、他者(自分以外の人間)を動かすことのむづかしさ、指導する者としての責任のとり方— 世界を読み解き生きてゆく一人一人の市民を育てる教育にこれ程ふさわしい場はないのではないのか。この立体構造を日々の学習にとり入れる術を今また私は模索している。

1年担任

(主任) 杉野美智子
1組 岡田 悦子
2組 八木沼 隆
3組 岸田 弘文
4組 秦 秀和
5組 阪本百合子
6組 吉元紀美子
7組 永田 禎一
8組 浅野 和美

2年担任

(主任) 吉元紀美子
1組 八木沼 隆
2組 浅野 和美
3組 岡田 悦子
4組 永田 禎一
5組 鈴木 正見
6組 阪本百合子
7組 岸田 弘文
8組 秦 秀和

平成15年
(2003年度)

30期生

1年 8クラス

男 151名
女 169名
計 320名

■生徒会行事■

- 6月6日
藤高フェスティバル体育の部
- 9月19日・20日
藤高フェスティバル文化の部



1年主任 十河静男先生

学歴は必要

30期生も、1学期が過ぎ藤井寺高校の生活に慣れてきた頃です。入学当初の勉強に対する意欲も少し落ちてきています。このままでは、自分の目標の進路には進めません。

京都のある府立高校では国公立大学への進学が本校並の十名程度であったのが翌年には100名以上の合格者を出したそうです。要因はいろいろあると思いますが最も大切なのは、本人のやる気です。受験勉強は非常にしんどい事ですし、他の楽しい誘惑が多いので、なかなか最後まで

やり遂げられません。

最近、学歴など関係ない。実力があれば良い。とよく言われていますが、実力とは何でしょうか。

一般の仕事では、仕事をする事によって、その仕事に精通し熟練するものです。その仕事にかなければ、その仕事の実力はつきません。入社試験で必要なものは色々あります。その中で、自分で身につける事ができるものは学歴だけです。京都の府立高校の生徒のように、本校の生徒もやればできると思います。

学校のルールを守りながら、目標の大学に入学できるように、保護者の皆様のご協力をお願いします。

1年担任

(主任) 十河 静男
1組 中谷 利春
2組 仲村 公志
3組 川上 伸吉
4組 吉田 良男
5組 筒井 真澄
6組 内海 始
7組 大橋 哲嗣
8組 西澤 宏一



ボランティア部との関わりの中で

大阪府立大手前高等学校教諭

中須賀 敬子

藤高の一教員として10年間、藤井寺養護学校との交流とボランティア部に関われたことは私にとって本当に大きなことであったと思う。その活動を通して、生徒とともに、様々な人と出会い、様々なことを思いも様々なことを学ばせていただいた。思い出は数限りなくあるが、その中であえて印象深いものを取り上げるとすると、一つは藤養の宿泊研修である。教師と生徒が一緒にお風呂に入り、髪を洗い、身体をふき、まさに家族のような裸の付き合いをしている姿に、言葉では表せないほど感動した。こんな学校生活もあるのだと、教育の原点を見た思いだった。もう一つは阪神・淡路大震災である。一避難所であった西灘小学校で、安全な「遊び場」のなくなった子どもたちのために「西灘子ども広場」を企画、夏には大きな竹を割って流しそうめん大会などもした。その「広場」は現在も続いている。最後に特筆すべきことは、ボランティア部の生徒たちの多くが卒業後、実際に自分の一生の仕事として、医療や福祉、教育関係の道を選んでいるということである。時には、高校生の時の「楽しいボランティア」では考えもつかなかったような厳しい現実にもぶち当たり悩みながらも、日々頑張っている卒業生たちの姿には頭が下がる思いがする。

- 昭和58年 ボランティアサークル発足、
藤井寺養護学校との交流開始
- 平成3年 青少年賞受賞
- 平成4年 青少年善行表彰
- 平成7年 第4回テンドーハート賞受賞



付記 この項は、「**Ⓢ**の詩」
(ボランティアの部活動記録誌)によるところが大きい。

伊藤先生のいたころ(今も同じ風景があります)



東住吉区福祉作業所やすらぎの家生活指導員(14期生ボランティア同好会)

畑 田 友 香(旧地本)

何気なく入部したボランティアサークルでしたが、月日を重ねるうちに、楽しいかも?!と思うようになりました。卒業後はボランティアとは無縁の短大、就職でしたが、仕事に行き詰まった時、ふと昔の活動を思い出し、知的障害者の施設に再就職しました。結婚、出産のため一たん退職しましたが、今年4月から近くの無認可作業所で指導員をしています。



神奈川県足柄上郡松田町立松田小学校教諭(20期生ボランティア部部长)

野 村 隆 博

活動の中で忘れられないのが障害のある人と握手をしたときのことで、握手をした瞬間、体中にその人の温もりが伝わってきました。あの温もりは今でも忘れられません。

現在、障害児学級の担任をしています。子どもたちが多くの友だちと接することを通して、互いにあの温もりを感じてほしいと思い環境作りをしています。



社会福祉法人ふれあい共生会 特別養護老人ホーム花嵐介護福祉士(21期生ボランティア部長)

堀 川 美由紀

私のボランティア部での思い出は、たくさんの人に出会い、いろんな事を体験、吸収し、勉強できたことです。お年寄りが大好きだったので、現在介護福祉士になり、今年で5年になります。痴呆棟で、お年寄りと楽しく過ごしています。日々お年寄りの新しい一面を発掘しようと頑張っています。

交流この10年

藤養の高等部生徒と藤高生の交流

交流ボランティア活動推進委員会委員長

木田 誠



2000年度、生徒交流委員を各クラス選出の委員とした委員会が成立した。あわせてボランティア活動の単位認定制度もスタートしている。

それまでは各交流参加者をクラスごとに割当てたり、関心のありそうな生徒に「声かけ」をして募集していた。もっと藤養生と藤高生が仲良くなれたらいいな。こう言っていた当時の担当者の声は今も耳に残っている。

当初は、ボランティア部の活動とだけ見られていた交流活動であった。96年度ぐらいからだろうか、「声かけ」応募者の中に「専門家」が現れはじめた。「カラオケ交流にだけは絶対参加する」とか、「気が付けば授業交流の粘土造形に毎年参加してた」という生徒たち。

2000年度からはボランティア部活動と共通部分を残しつつ、新たに各クラスで募られた交流委員を中心とする形態となった。交流委員長は藤高交流行事の代表という高い地位でもある。

ボランティア活動の単位認定者は今年3月で7人にのぼる。とくに交流参加者に対して成績書類の上でもねぎらいたい、又、明確に「単位認定」の語でその行動を賞賛してゆきたいという思いからスタートした。毎年交流委員会の審査によって単位認定を行っている。

〈参考〉

現在の藤高と藤養の交流行事(一般募集分のみ掲載)

1学期＝生徒会執行部・交流役員交流、宿泊交流、フェス体交流、授業交流・音楽交流

2学期＝フェス文交流、藤養体育大会交流、カラオケ交流

3学期＝藤養文化祭交流

歴代の参加生徒に感謝！である。

海外交流体験研修
in Perth

広大なオーストラリアを舞台に、異文化交流と外国語表現へのチャレンジを目的として、平成13(2001)年度から始まったこの行事は、同窓会・PTAのご援助を得て過去2回実施してきた。世界で最も美しい街パースで、ホームステイ先のホストファミリーの心暖かいもてなしに支えられて、大変有意義な交流

行事を体験した、延べ54名の参加生徒のアンケート回答や感想文を分析すると、この行事に対する満足度が非常に高く、その後の自分の生き方に、より自信と積極性を持てるようになったと答えるものが多い。実際に、京都外大をはじめ外国語系への進学者が多数出たり(第1回参加者32名中10名)、この就職難の時代に見事就職試験に合格したり(第1回から2名)、生徒会の会長に就任した生徒が出た。このように、チャレンジ精神を発揮してチャンスを活かす生徒が多く出たことに力を得て、平成15年度も3月に第3回目の研修を計画之中である。



教育課程

平成15年度の30期生より新学習指導要領にもとづく新しい教育課程(次ページの表)が導入された。平成14年度から実施された学校完全週5日制に移行するために数年間毎年少しずつ修正を重ねてきた。その間藤井寺高校生の将来のあり方・教育方針を教師間で議論し、来るべき教育課程への下準備を進めた。平成13年から新カリキュラム検討委員会で新教育課程の検討が行われ、平成14年度に入り職員会議に原案が提出された。十分な検討時間を持ち、若干の修正を加えた上でこの表の形に確定した。

これまで長く親しんできた教育課程表と比べてずいぶん複雑に見える。今までは2年で文型と理型に別れていた。新教育課程では2年次の文型と理型それぞれが3年次ではさらに文Ⅰ型と文Ⅱ型へ、理Ⅰ型と理Ⅱ型へと選択が別れ、最終的には4つの選択コースが用意されている。しかも各コースの中には、多くの選択科目が用意され生徒の個々のニーズに答えやすくしている。一方、厳しい進学への状況へ対応するため一部の教科では思い切って履修科目を限定している。このような生徒の選択科目を可能にするため、1年次でほとんどの科目が必修科目の単位数をクリアするように工夫されている。

このように形としては大きく変化したように見える教育課程であるが、20周年記念誌を読み返し、このような形に落ち着くまでの職員間の議論の流れをふり返ると、17期生(平成2年度、1990年度)の教育課程で本校の方針の原型ができあがったようである。即ち、1・2年次では基礎・基本を重視し、かつ2年次に理科選択を入れることで文理選択を考えさせる。3年次に数多くの選択科目を用意して個性の多様化をはかる。しかも充分大学進学に対応したものにするとということである。しかし当時から本校生徒の選択能力については激論が続いている。1年の2学期において果たして文理の選択が可能かという点である。実際毎年若干名が3年次で文理の変更希望を出している。従って、これまでの教育課程では3年次で文型から理型への変更が一応可能になっていた。しかし、今回の教育課程ではこのような3年次での変更は不可能である。完全週5日制や総合的な学習の実施などに伴い授業時数の確保に各学校は非常な苦勞をしている。一方、入学する生徒のほとんどが進学を希望する本校では、厳しい進学状況をのりこえるためには今まで以上に1年次での選択決定がますます重要になっている。

教務内規

現在の内規は1977(昭和52)年にほぼ完成している。その後少しずつ改善されており、平成14年度も履修単位数の減少に伴い、また、多少解釈に曖昧さを残していた次試の扱いなど進級規定に修正を加えた。しかし、新教育課程への移行に伴い、今後の生徒の状況を把握しながら修正が必要になると思われる。

教務事務

成績処理については今まで多くの諸先輩方の努力によりパソコンが導入されてきた。平成2年からは成績一覧表の原票がプリンターで打ち出すようになっている。しかし、この間コンピュータはDOSの手作りプログラムの時代から、WINDOWS上で動く一般ソフトに移り変わった。職員定数も減少し、コンピュータに精通する職員を教務にはり付けるといってもできない状況である。新しい成績処理ソフトの開発と教務・進路・総務などすべての分掌業務を一括してコンピュータ管理が可能なシステムを学校全体で構築する時期にきている。

新教育課程表

(入学年度別、類型別、教科・科目単位数)

教科	入学年度	類型	15															備考										
			文型1					文型2					理型1						理型2									
			①	Ⅱ	Ⅱ選	Ⅲ	Ⅲ選	計	①	Ⅱ	Ⅱ選	Ⅲ	Ⅲ選	計	①	Ⅱ	Ⅲ		計	①	Ⅱ	Ⅲ	計					
科目	8	5~6	3~5				8	5~6	1~2				8	2~3	1~2			8	2~3	1~2								
国語	国語総合	4					4						4					4							(技)国語総合の増単位 2単位			
	現代文		3		3		14		3		3		14		3		3		10		3		3			10		
	古典		2		2		17				2		17				※1									12		
	(学)国語基礎演習 (学)国語発展演習			※1																							12	
歴史	世界史A	2					2						2					2							3年*選択は、世界史演習 日本史演習 地理演習 から1科目			
	世界史B		2		△2		10		2				8													6		
	日本史B		2		2		10		2		2		8													6		
	地理A																		2								4	
	地理B				△2															2				2			8	
	(学)世界史演習 (学)日本史演習 (学)地理演習																											10
																												10
公民	現代社会	2					2						2					2							3年*選択は、現代社会演習 倫理演習 政治経済演習 から1科目			
	倫理				□2		4				□2		4													2		
	政治・経済				□2						□2															4		
	(学)現代社会演習 (学)倫理演習 (学)政治経済演習																										4	
数学	数学I	3					3						3					3							15			
	数学II		3					3		3				4					4							15		
	数学III																			4						15		
	数学A	1+1					7	1+1					10	1+1				15	1+1				4			15		
	数学B													1+1						1+1						15		
	数学C						11						14					19	1+1				2			19		
(学)数学基礎演習 (学)文系数学演習 (学)理系数学演習																									19			
理科	理科基礎	2					2						2					2							文系:○選択は継続 理系:☆選択は継続			
	理科総合A	2					2						2					2								15		
	物理I													☆3					☆3							15		
	物理II																			☆3			☆3			15		
	化学I		○2					○2		○3			9	3		☆3		15	3			2				15		
	化学II																					2		☆3		15		
	生物I		○2					○2		○3			11	☆3		☆3		17	☆3			☆3				17		
	生物II																						☆3			17		
	地学I		○2					○2		○3				☆3		☆3		17	☆3			☆3				17		
	地学II																						☆3			17		
(学)一般理科 (学)物質科学演習 (学)環境科学演習																									17			
保健	体育	3	3		2		10	3	3		2		10	3	3		2		3	3		2			10			
	保健	1	1				10	1	1				10	1	1				1	1					10			
芸術	音楽I	▽2		+1			▽2		+1				▽2		+1			▽2		+1					3年*選択は、同一科目履修不可 (技)書道Iの増単位 1~3単位			
	音楽II																									2		
	美術I	▽2		+1			2	▽2		+1			2	▽2		+1			▽2		+1					2		
	美術II																									2		
外国語	書道I	▽2		+1			5	▽2		+1			3	▽2		+1			▽2		+1				2			
	(学)実用書道 (学)楽しい書道																								2			
	オーラルI	2					2						2						2						15			
	英語I	3					16	3					16	3				15	3						15			
家庭情報	英語II		3		4				3		4				3		3			3		3			15			
	ライティング		2		2		19		2		2		19		2		2			2		2			17			
	(学)英語基礎演習 (学)英語発展演習																								17			
																										17		
家庭情報	家庭総合	1	2				3	1	2				3	1	2			3	1	2					3			
	情報A		1		1		2		1		1		2		1		1		2		1		1		2			
家庭情報	情報B						4																		2			
	(学)体験学習	(0~2)	(0~2)	(0~2)	(0~6)	(0~6)	(0~2)	(0~2)	(0~2)	(0~6)	(0~6)	(0~2)	(0~2)	(0~2)	(0~6)	(0~2)	(0~2)	(0~2)	(0~6)	(0~2)	(0~2)	(0~2)	(0~6)	(0~6)	(ボ)ボランティア活動増加単位			
家庭情報	教科・科目の計	28-29	26	2-3	20	8	84-86	28-29	26	2-3	24	4	84-86	28-29	28-29	0	22	6	84-86	28-29	28-29	0	24	4	84-86			
	ホームルーム活動	1	1		1		3	1	1		1		3	1	1		1		3	1	1		1		3			
家庭情報	総合的な学習の時間	1	1		1		3	1	1		1		3	1	1		1		3	1	1		1		3			
	総計	30-31	30-31		30		90-92	30-31	30-31		30		90-92	30-31	30-31		30		90-92	30-31	30-31		30		90-92			
家庭情報	選択の方法	1年:▽から1科目選択 +1は自由選択 2年:○から1科目選択 ※から2科目選択 +1は自由選択、ただし継続履修 3年:○、△、□から各1科目選択 *から2か4科目選択 (1教科からの選択は1科目まで)															1年:▽から1科目選択 +1は自由選択 2年:☆から1科目選択 +1は自由選択 3年:☆から1科目選択 *から2か3科目選択 (1教科からの選択は1科目まで)											

生徒指導部

「十年一日の如し」。分掌の10年を振り返ってみても日々の諸事に追われて、如何なる道を歩んでいるのか見通せないことも多い。とりわけ日々生起する諸事件に対応せざるを得ない生徒指導の仕事ではその感が強い。

その中で創立30周年を期してここに紹介できる大きな変化があるとすれば、それは新制服の制定であろう。長年なじんできた制服ではある。教職員の間にも、生徒の間にも根強いファンがいる。卒業生はおろか卒業生の保護者、はては地域の人たちにまで愛されてきた制服である。女子の制服はオーソドックスながらシックで清爽な高校生らしさを十分表現していた。男子の制服は近隣では珍しく藍色でこれまた藤高生の制服として定着してきた。記録を調べて、男子の制服制定が創立時ではなく15年を経ただけであるのを見て、逆に意外の感を受けた。それほど藤高のイメージを表していた。

30年を契機にこの長年親しまれてきた制服を一新することになった。何よりも30周年を藤高の新しいスタート、次の10年に向けたエネルギーな活動の出発点にしたい心を込めたいと思う。制服という器が変わっても、そのことで人や学校が変わるわけではない。しかし、藤井寺高校の学校や生徒、そして教職員が変わっていく、皆が新しい試みや意気込みの中で見事に変容する、その様を新制服に表現させたいと思う。

それに時代も変わってきた。近隣の高校でも新制服の制定が続いている。何よりも夏の暑い盛りの時期に女子はネクタイ着用で襟元を締め、暑さに苦しむ姿が気の毒になってきた。昨年とうとう夏場のネクタイ着用を自由化した。女生徒たちの多くはホッとしたかのように、そっとネクタイをはずした。そうなると、ネクタイの着用をデザインの基本とする女子の夏服が、何となく中途半端になった。新しいデザインはできないか……いっそ制服そのものを見直してはどうか。これを契機に制服検討委員会が校内に設置され、制服問題の本格的検討が始まった。

調べてみると、制服を巡る状況は大きく変わっていた。何よりも費用面でのメリットが大きい。衣料品の価格破壊の効果が、デザインを一新した方が安くできる。しかも素材面での進歩で、吸湿性などさまざまな面で体への負担を楽にできる。これは新制服制定に進むほかあるまい。

この原稿を執筆している段階で新制服はいくつかのプランの中から選定の途上にある。4月に行われたデザインコンペには7社20作品がノミネートした。その中から、生徒会執行部の諸君の意見も聞きながら8作品を残し、試作品審査の段階に移った。6月中旬にはできあがった作品を見てもらい保護者に参考投票をしてもらった。試作品はそれぞれの好みを反映するとはいえ、おおむねよい出来であり、新制服候補としては好評であった。在校生からは「私たちは着る事はできないのか」と残念の声しきりである。このあと生徒、教職員の参考投票を経て、1学期末に決定した。9月の中学生の体験入学、10月の30周年記念式典で公表し、生徒、保護者、卒業生、地域の人たちに広く知ってもらおう機会としたい。

生徒指導について

本論の生徒指導について特記すべきことがあるとすれば、それは今年度、校内での懲戒がまだ（6月末段階で）ないということである。これは偶然のなせる技ではないかと思う。まあ、ゼロだゼロだと言っておれば、そのうちどっと出てくるかもしれない。しかし、ここ何年間かの実績から言うと希有な出来事ではある。

いつまでも続くまいと思いつつ、しかし、今年度の生徒の状況は懲戒ゼロに照応して落ち着いた状態にある。なかなかうれしい状態だと報告できるのも確かだ。3年生はいつになく気のいい生徒たちが多いうだ。もちろん遅刻がどうしても直らない「遅刻の帝王」もいれば授業中に寝てばかりの「睡

夏服



冬服



これが藤井寺高校の新制服です。

男女とも冬服はモスグリーンの3つボタンのスーツです。女子のスカートはチエック、男子のズボンはグレー色です。来年、4月から導入です。

眠大魔王」も「おしゃべり大魔女」もいるが、何となく憎めない生徒たちである。ちょっと勉強は苦手かもしれないけれども、最高学年としてフェス体育でも、クラブでも、さまざまな場面でリーダーシップを発揮してくれる。これからの成長が楽しみである。夏休みを迎えてきっと勉強でも頑張ってくれると期待はしている。

彼らのリードの下、2年生、1年生がこの雰囲気を引き継いでがんばってくれば、30周年を迎える藤高の未来もなかなか明るいではないかと思ったりもする。実際、元気が前にでる2年生も、入学したばかりで素直な1年生も、それぞれに期待を持たせてくれるし、それぞれの学年団、担任団の先生方は自分の学年に入れ込んで一生懸命いろいろな指導に忙しい。ありがたい事である。

一步一步進んでいく

生徒指導部の仕事は生徒たちが基本的な生活習慣をきちんと確立できるように支援することにある。過日と比べると高校生を取り巻く状況は大きく変化しつつある。深夜に外出したり、友人と過ごす事がまるで異常とは思われないようになってきた。バイトに多大の時間を費し何が本業かわからぬ生徒も増えてきた。高校生に対する誘惑は増すばかりであり、ともすれば自分のすべきことを見失いがちになる。ひとたびこのような道に迷い込めば、堅実な高校生活の基盤は崩されずにはおかない。本来正面から取り組むべき勉学に向かないで、遅刻をしないというような(あるいは授業中に化粧をしないなどという)社会生活のもっとも基本ともいえるべきことがこなせなくなる。また、犯罪や事件に巻き込まれる危険も増えてきた。

幸い、高校生活に支障を来し、生徒指導部の指導を必要とする生徒は少数である。その意味では大部分の生徒は健全な高校生活を送っているといえる。しかし、社会から切り離されているのではない以上、多かれ少なかれこれらの影響を免れないこともまた事実である。それぞれの生徒の状況に合わせて、保護者の協力を得ながら、担任と連携をとって基本的な生活習慣の確立を支援していくという生徒指導部の地道な活動が必要とされる所以である。「十年一日の如し」。されどこの日々の営みが来るべき未来を拓くものと信じて、今日もまた一步一步進んでいきたいと思っている。

校務分掌

生徒会部

過去10年分の生徒会誌「蒼穹」を紐解くと、先輩から後輩へ脈々と受け継がれてきた伝統の偉大さをひしひしと感じる。どの号からも、その年の生徒会行事に賭ける若人の情熱・団結・歓喜がほとばしり出ている。たとえどんなに卒業年度が離れていても、藤高の卒業生ならばともに語り合えるかけがえのない思い出の1ページであろう。

しかし、この10年間に生徒数の減少や週休2日制等の影響により、行事数や行事内容に少なからず変化が現れている。たとえば、1995年度の年間行事表では

4月11日(火)	新入生歓迎会
6月9日(金)	フェスティバル体育の部
7月15日(土)・16日(日)	文化祭リーダー合宿
9月22日(金)・24日(日)	フェスティバル文化の部
10月31日(火)	球技大会
1月18日(木)～24日(水)	文化部合同発表会
4月25日(火)	前期生徒会役選
10月5日(木)	後期生徒会役選

1995年 フェスティバル —体育の部—

〈プログラム〉

1. あっぱれーど藤高	8:45	12. 応援合戦	12:50
2. 開会式	9:10	13. クラブ対抗リレー	13:40
3. 合同体操	9:30	14. 大縄跳び(1年生)	14:00
4. 80M走・走り高跳び	9:40	15. クラス対抗リレー	14:15
5. 障害物競走	10:10	16. ブロック対抗風船割	14:35
6. エール交換	10:20	17. 大将争奪騎馬戦(3年生)	14:45
7. 綱引き	10:30	18. ブロック対抗スウェーデンリレー	15:05
8. あなたは友を信じますか?	10:50	19. 開会式	15:25
9. 男女混合リレー	11:05		
10. 大将争奪騎馬(2年生)	11:20		
11. 駅伝(応援審査)	11:40		



(1997年) 朱雀団

(1995年) 〈開会式〉



▲海軍宣誓



(1995年) あっぱれーど藤高 青龍団

1995年テーマ

「熱血宣言!
～勝利の道を行く者は…?」



(1996年) 交流太鼓

(1995年) 〈応援合戦〉



最優秀賞 驃驥団



(2001年) ミレニアムバトル

となっている。

この中で、文化祭リーダー合宿と文化部合同発表会は、1996年度以後の記録からは消えている。

次に、1学期最大のイベントといえば、フェス体をおいて他にはあり得ない。競技の他に、応援・あっぱれ一ど・アピール看板・藤井寺養護学校との交流行事等、多彩なメニューで初夏の一日を思う存分楽しんでいる。しかしクラス数の減少により、6団対抗（朱雀・青龍・玄武・白虎・麒麟・騾驥）は1996年度までで、97～2002年度は騾驥の抜けた5団、そして全学年8クラスずつになった2003年度は麒麟がなくなり、4団対抗になった。

9月はフェス文一色。各クラスは、アトラクション・舞台・展示造形・映像・模擬店等の部門賞と総合グランプリめざして、7月から準備してきたアイデアやリハーサルの成果を競い合う。また、はり絵やポスター・垂れ幕等の製作にも力が入る。生徒会執行部が中心となる本部企画も毎年の楽しみである。もちろん、フェス文は文化部やPTA・教職員の発表の場でもある。さて、模擬店の飲食店関係にとって残念だったことは、96年・98年のO-157事件による中止であろう。また、94・95年頃は午後7時前まで後夜祭を実施していた。

2001年 フェスティバル -文化の部-

- 1-1 (映 像) 藤井寺ウェストゲートパーク
- 1-2 (演 劇) オキナワガール
- 1-3 (模 擬 店) BIGアメリカン
- 1-4 (展示造形) 動物園
- 1-5 (合 唱) トトロがいっぱい
- 1-6 (展示造形) 大仏
- 1-7 (アトラクション) マッスル十河—青春ストーリー
- 1-8 (ミュージカル) ダンス
- 1-9 (模 擬 店) マーボもち



(2-3 恐怖の藤高)

- 3-1 (模 擬 店) 大志
- 3-2 (アトラクション) BATTLE DE STRUCK OUT
- 3-3 (演 劇) 天使にラブソングを
- 3-4 (模 擬 店) バランバウッキー
- 3-5 (映 画) ロッキー9
- 3-6 (展示造形) 名もなき絵画
- 3-7 (模 擬 店) 愛に恋
- 3-8 (ミュージカル) Dance & Song
- 3-9 (舞 踏) ソーラン節2000—2000年への旅立ち
- 3-10 (模 擬 店) だぜまかせ



(1995年) はり絵 3年10組 (Roman Holiday)

- 2-1 (模 擬 店) 全部さすぞ
- 2-2 (演 劇) スーパー宇宙の惑星キ
ンニクの恐怖
- 2-3 (アトラクション) 恐怖の藤高
- 2-4 (アトラクション) 名探偵ゲーム
- 2-5 (模 擬 店) たこてら
- 2-6 (アトラクション) 盆で踊ろう
- 2-7 (アトラクション) 海体験
- 2-8 (模 擬 店) マルセド
- 2-9 (展示造形) 天王寺動物園



(3-9 ソーラン節200-2000年への旅立ち)



(2001年) バザー

校務分掌

進路指導部

[1] はじめに

情報化と言われ、社会の大きな変化のうねりは、本校にも影響を与えている。

本校の最近10年間の進路の状況は別図の通りである。生徒数が減少するとともに、大学が易化して入りやすくなった。21期生より浪人生が減り始め、現役で進学する生徒が増えた。

また、女子の大学指向も強まり、短大の希望者は激減した。

[2] 本校の進路指導

生徒たちの進路意識は多様化しており、教師は益々生徒一人一人との深い関わりを求められてきている。進路についての意識付けを早めるために、HR以外に全学年での分野別進路説明会を実施している。

総合学習の時間が1年間の試行を経て実施された。1年生ではキャリアガイダンスを中心とする進路指導的な内容が多く、進路指導部と担任団との協力体制の確立が望まれる。

また、図書室に5台、進路資料室に1台、常時インターネットに接続できるコンピュータが配置され、情報の収集に役立っている。

[3] 進学指導

日々の授業に加え、講習も全学年取り組まれている。3年生では、放課後以外に早朝や土曜日にも講習があり、生徒は熱心に取り組んでいる。夏休みの市民会館講習は本校独自の取り組みであるが、空調設備が次年度から整うため、本年が最後の年になる。本年も152名の参加があった。

週休2日制が実施された2002年度から、年に2回PTA主催で、外部模試を土曜日に校内実施している。近い場所で、費用も安くなることもあって、生徒の参加が大幅に増加した。

[4] 就職指導

ここ数年就職希望者は1桁である。生徒の希望を聞き、毎週面接や適性検査等の指導をこまめに実施している。求人数は大幅に減っているが、内定率は2003年度は100%など健闘している。

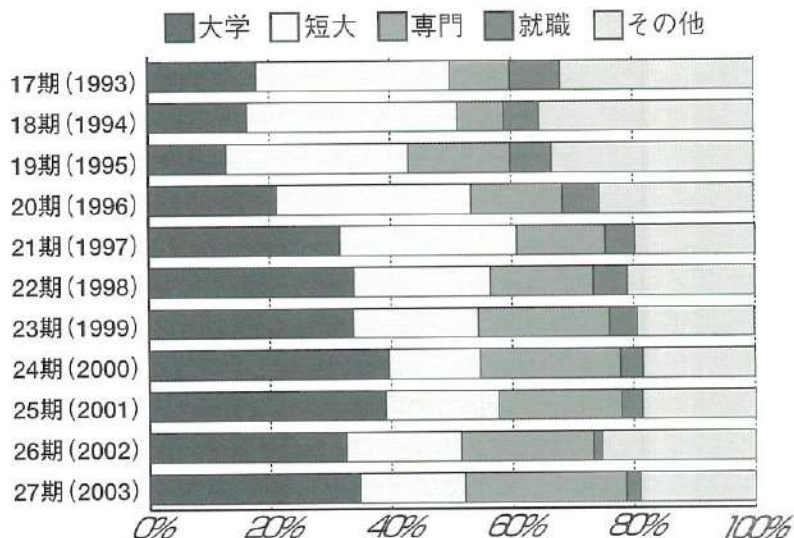
進路指導年間計画(抜粋)

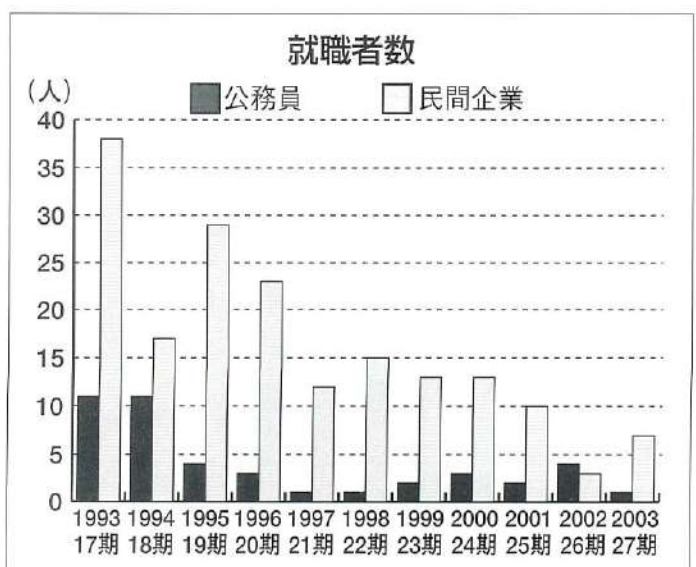
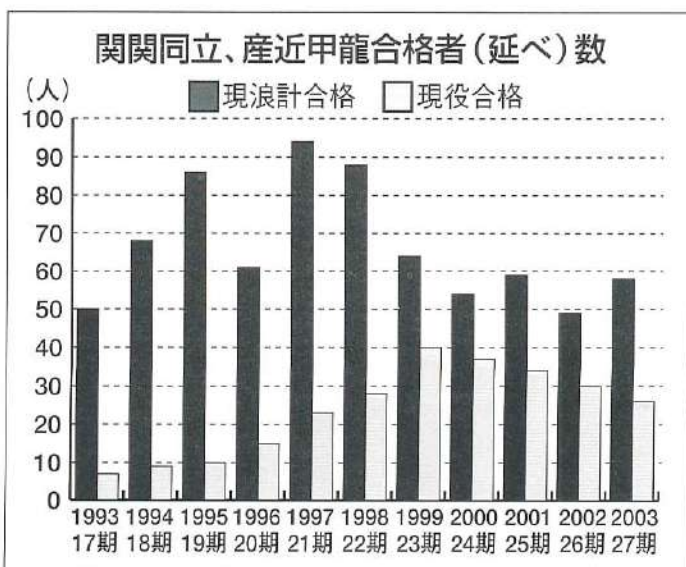
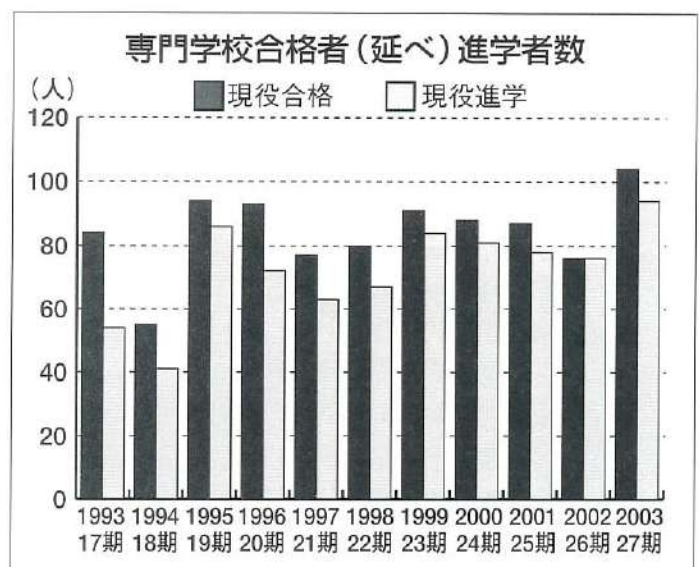
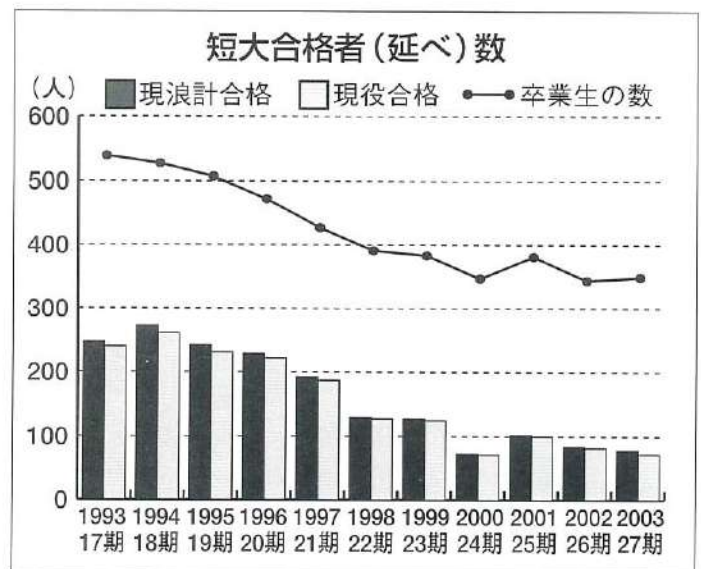
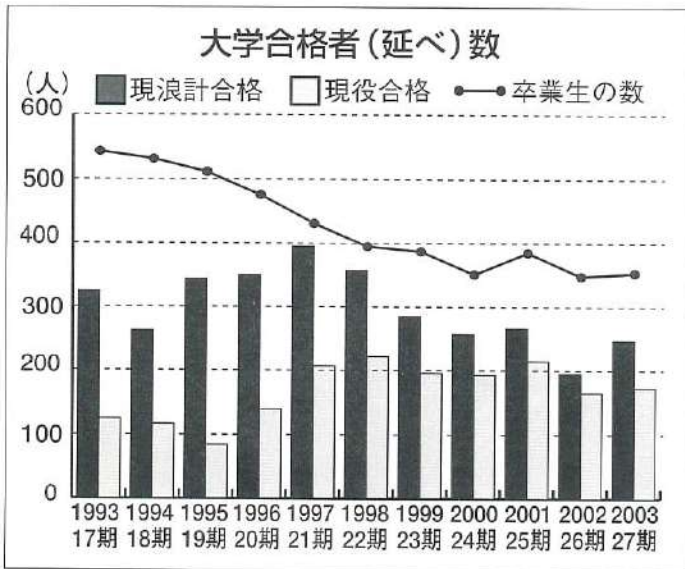
4月	3年生進路希望調査、進路説明会
5月	12大学説明会 3年生進路資料集説明HR
6月	全学年進路HR 国公立大学推薦入試説明会
7月	1年生大学見学会(総合学習) 夏期講習、就職求人一覧配布
8月	就職集中指導 3年生センター試験出願説明会
9月	就職応募書類発送 指定校、国公立大推薦入試校内推薦会議
10月	1,2年生進路HR 1年生職業別ガイダンス(総合学習)
11月	2年生コース別説明会 3年生センター試験説明会
1月	国公立大出願説明会 1年生コース別進路説明会
2月	3年生進路アンケート

■外部模試校内実施

- 3年生(5月、8月)
- 2年生(11月、1月)
- 1年生(1月)

現役生の進路状況





校務分掌

保健部

木々の成長は、30年の日々を経て、緑深く、たくましく、静かに生徒と教職員をはぐくみ、そして学校に趣を添えている。その恵まれた環境のなかで、学校保健を振り返ってみる。

保健健康面においては、生徒の心身の健康が質、量共に大きく変化している。それに伴い健康診断の項目も変わってきた。ここ数年は、どことなく「活力に欠ける生徒」が目立ち、それが増加している。身長や体重と言った体位の向上に反して、体力の低下や骨格が脆い傾向となり、大きな事故でないのに骨折をした例が発生している。また、「何となくしんどい」「おなかが痛い」と言う不定愁訴での保健室の来室が増えている。原因は、生活環境、食生活の変化、情報化社会等の多岐に渡っており、処方箋は難しい。そのような困難の中でも生徒一人一人が、自分を見失うことなく心身の健康管理や病気の予防が出来るよう、個別相談の充実、学級担任、保護者との連携を密にし、各々の生徒の状況に応じた援助、助言を行い保健教育、健康管理、安全教育に努めたい。

また生徒保健委員会活動については、学年別活動を主体として行っている。

1年生は保健衛生、美化に関する「ポスター」を作成し、保健、美化意識の向上に努めている。

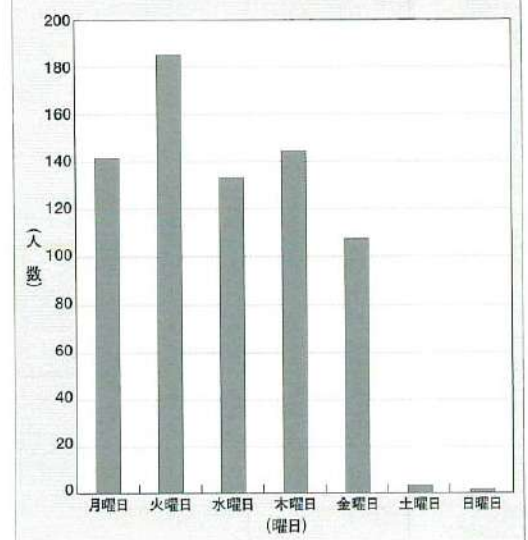
2年生は不定期ではあるが、「保健だより」を発行し、健康に対する意識の啓蒙に努めている。

3年生は日々の清掃点検を行い、各クラスに清掃状況を報告し、美化に対する全員の意識の向上を目指している。

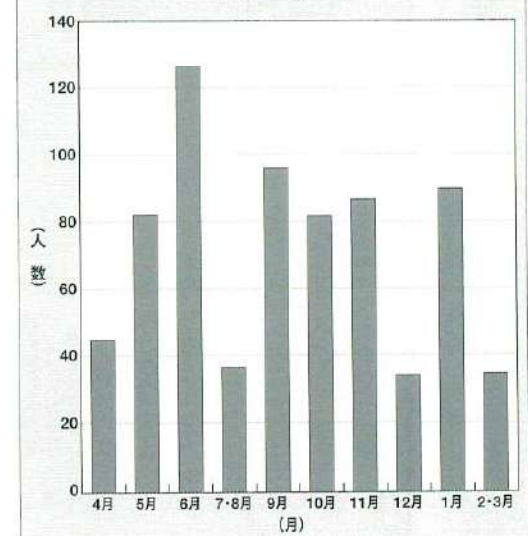
その他の活動として文化祭の2日間全員で校内のゴミ箱の点検清掃を1時間毎に行う。また秋から多く出る落ち葉の回収作業も保健委員の重要な作業である。このように生徒保健委員会は、生徒、教職員が気持ちよく過ごせるよう努めている。



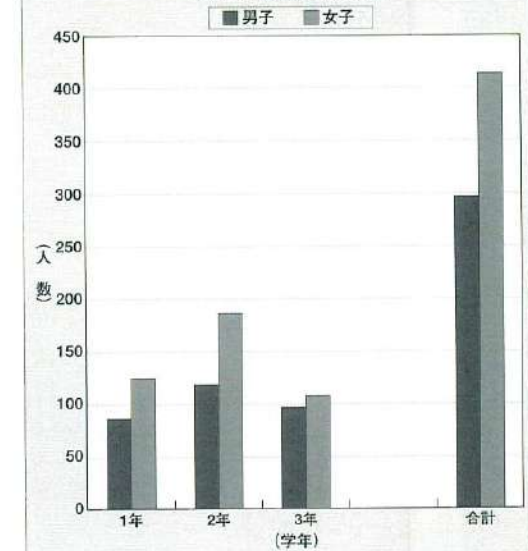
曜日別利用状況



月別利用状況



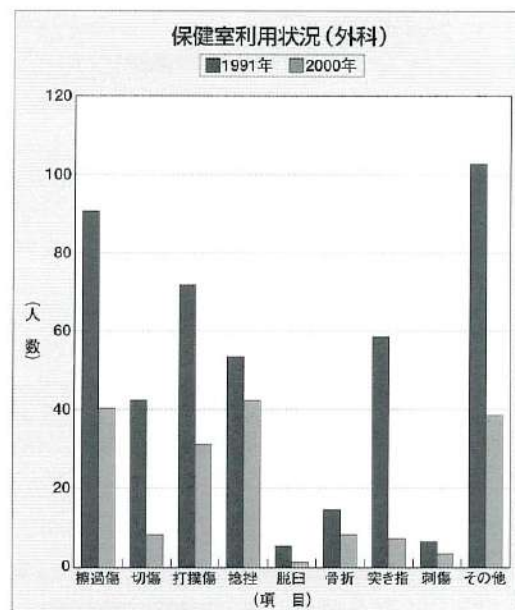
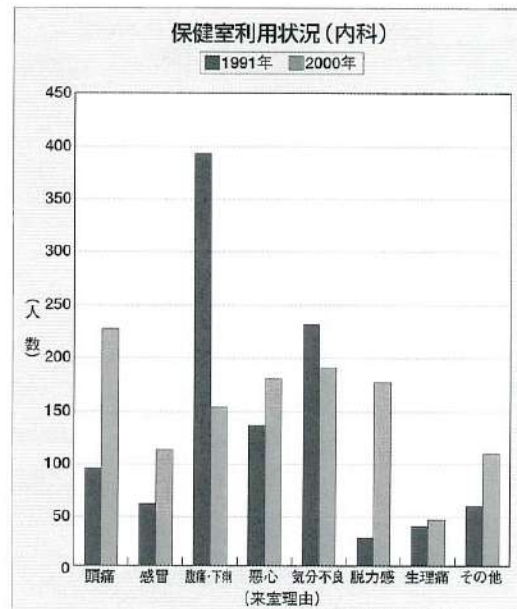
学年男女別利用状況



保健室の利用状況は左記のグラフを見ていただきたい。11年前に比べると、外科的症狀で来室する生徒は半分以下である。これを、自己管理ができ怪我が少なくなったと見るよりは、生徒たちの活動内容が変わってきたためと見るのが妥当と思われる。動きが制限されたり、休憩時間に外で運動するというようなことが、少なくなっているのかもしれない。それに比べ、内科的症狀で来室する生徒の数はあまり変化がない。ただ、訴えの内容は、大きく変わってきている。腹痛・下痢が極端に減少し、頭痛や脱力感といった不定愁訴を訴える生徒が明らかに増加している。現在の子どもたちを取り巻く環境の中で、精神的ストレスが高まってきているのだろうか。気になるところである。

月別で見ると、6月が一番利用者が多い。これは、フェス体という行事との関連性は否めない。また、梅雨の影響も多大に考えられる。うっとうしい梅雨の季節は、少なからず身体に影響していると思われる。また、曜日別では火曜日が多いが、これは、あながち曜日差があるとは思えない。なぜなら、最近の祝日の傾向で、月曜日が休日になる日が多いため、そのことを考慮に入れると、火曜日との差異がそれほどなくなるのではないと思われる。それでも、あえて考えられるとすれば、休み明けの月曜日より火曜日のほうが、少し、緊張感がなくなるのかもしれない。

学年男女別のグラフを見てみよう。どの学年も来室者の数では、男子より女子のほうが、上回っている。女性特有の症状もあるので、ある程度女子の方が多くなるとは考えられるが、2年生の女子が他学年に比べて差異が大きいのは、その学年女子の特質によるものと思われる。また、他学年に比べて2年生が多いのは、1年生は入学時の緊張感で入学当初の利用が少なく、3年生は入試や卒業で授業日が減るためだと考えられるが、学年の間で一番緊張感のない時期なのかもしれない。



校務分掌

図書視聴覚部

（図書室）

創立当初は現在の図書室が、職員室として利用されていた。その一角に教職員の寄贈本という形で、数百冊の本をもって開設された。

蔵書数の推移については、下のグラフに示す通りで、10年目で約9千冊、20年目で約1万5千冊、30年目で約1万9千冊となっている。学校図書予算の減少で、年々増加率は減っているが、教職員の方々からの寄贈本もあり、全体として約2万冊近くになっている。年間の貸出枚数は平均、約1200冊ほどで、ここ2、3年、生徒の興味を引く実用書、雑誌、漫画などを導入したり、また図書室の一部に『新しくいった本』のコーナー〔写真1〕を設けたりして、利用を増やす努力をしている。

設備面では、1988年に冷房設備が付けられ、暑い時も涼しく利用できるようになった。さらに2001年9月には、学校情報ネットの一環として、5台のパソコンと3台のプリンターが設置され〔写真2〕、インターネットによる情報収集の場としての機能が加えられた。これにより、年間、約1000人ほどのパソコン利用者があり、図書室の利用も増加した。



写真1



写真2

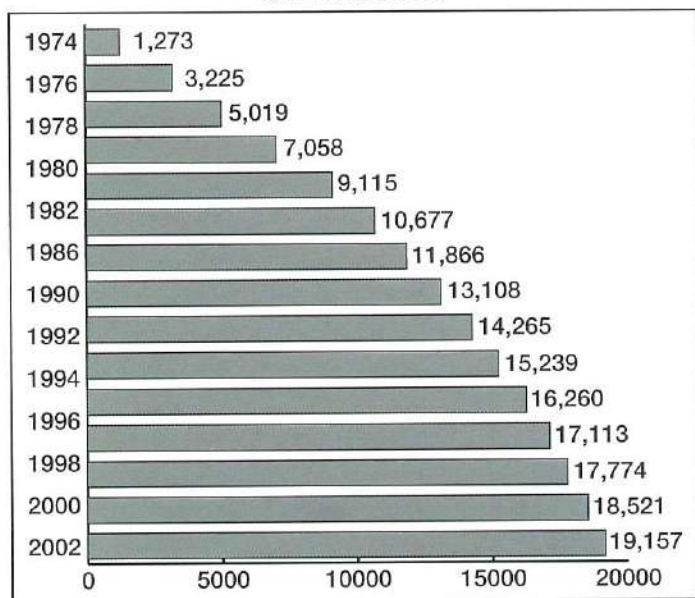
（視聴覚）

創立1年目は、現視聴覚教室は音楽として使用されており、視聴覚教室としての整備は3年目（1976）以降から始まった。

視聴覚機器は、音及び映像関連の製品の進歩に伴い、新しい機器に順次、入れ換えられていったようで、特にここ最近ではCD、MD、DVDプレーヤー、デジタルビデオカメラなどのデジタル機器の導入が計られた。

また、卒業記念品（21期、25期、26期）として、ビデオプロジェクターや体育館のスピーカーステムなどが新たに補充され、より充実したものになっている。

蔵書冊数の推移



分類別蔵書冊数の全体に占める割合

0. 総記	6%
1. 哲学・宗教	2%
2. 歴史・地理	10%
3. 社会科学	7%
4. 自然科学	9%
5. 工学	4%
6. 産業	1%
7. 芸術	9%
8. 語学	3%
9. 文学	27%
その他（文庫）	10%
（新書）	12%
合計	100%

主なPTA活動の歩み

PTAは1974年に結成され、発足した。
1992年度までの活動については、20周年記念誌
をご覧ください。

1993年度以後のPTA活動**1. 文化活動**

◇広報活動

- ・1974年～ 「PTA名簿」発行
- ・1975年～ PTA新聞「育友」
年2回発行
PTA通信「PTAだより」
年1回発行
- ・テレフォンサービス
1989年～2003年実施
2003年 廃止
- ・メールマガジン
2003年 「藤高メルマガ」発行
月2回程度

◇講演会

- 1994年 中川武之氏・請田正幸氏・伏井信之氏
(本校教諭)

◇研修会

- 1993年 神戸フルーツフラワーパーク
・鉄斎美術館
- 1994年 近江「水郷めぐり」と「五個荘」自由散策
- 1995年 京都「嵯峨野めぐり」トロッコとランアート
- 1996年 和歌山方面「道成寺」「角長醤油」「中野酒造」
- 1997年 アクア琵琶、寿長生の郷
- 1998年 明石海峡大橋、北淡町震災記念公園、パルシェ香りの館
- 1999年 大石神社、あこう展示館、歴史博物館、銀波荘
- 2000年 「亀岡から嵯峨野」トロッコ列車
- 2001年 ランチタイムコンサート(金九七郎先生 北浜「スカララ」)
- 2002年 ランチタイムコンサート(西浦達雄氏 藤井寺市民会館)

◇PTA作品展

- 85～94年 会員作品展、実演コーナー
- 95～02年 会員作品展、バザー、実演コーナー

◇PTA懇親会

- 1997年 グランドゴルフ

2. 進路関係

◇模擬試験

- 2002年実施

◇進路講演会

- 91～93年 本校進路部長：野口俊一氏
- 94～96年 本校進路部長：中谷利春氏
- 97～99年 本校進路部長：請田正幸氏
- 00～02年 本校進路部長：内本雅之氏
ECC予備校講師：山道博司氏

◇大学見学会

- 1996年 立命館大学、嵯峨美術大学
- 1997年 摂南大学、関西外語大学・短大
- 1998年 大阪工業大学・短大、大阪学院大学
- 1999年 四天王寺国際仏教大、近畿大学
- 2000年 摂南大学、関西外語大学・短大

3. 本校創立20周年記念事業

- 1993年 創立20周年記念式典、記念誌発行に協力
- 1996年 同窓会20周年記念式典、記念新聞発行

年間の主なPTA事業(2002年度)

2002年

- 4月 (入学式)実行委員会
「PTAだより」発行
新役員会、会計監査、新実行委員会、新旧
実行委員会学級委員選出
 - 5月 定例PTA総会
3年PTA集会(進路講演会)
 - 6月 学級委員総会(学年委員会・実行委員会)
第7ブロック PTA協議会総会
 - 7月 PTA新聞「育友」発行
 - 8月 3年学習合宿
 - 9月 藤高フェスティバル「文化の部」
PTA作品展&バザー
 - 10月 PTA進路講演会
1年・2年PTA集会
 - 11月 PTA研修会(ランチタイムコンサート)
役員会・実行委員会
- 2003年
- 2月 PTA新聞「育友」発行
 - 3月 海外交流研修(生徒)
テレフォンサービス停止

同窓会

- ◇名 称 大阪府立藤井寺高校同窓会
- ◇発 足 1977年(昭和52年)4月1日
- ◇会員数 13,461名(1期～27期卒業生)
1993年度以後の主な行事・事業経過

○「全同窓会員名簿」

第3号1996年(平成8年)発行

○各期「同窓会員名簿」(卒業年度)

1期(1977年 昭和52年)～26期(2003年 平成15年)
の各卒業年度の8月に発行

○母校創立20周年記念事業(1993年 平成5年)

○母校創立30周年記念事業(2003年 平成15年)

記念事業資金贈呈(記念式典、記念品、文化事業、
祝賀会等)**体験入学**

- 1998年度～2003年度毎年9月に実施
- 2003年度の参加中学生数は803名

卒業式

- 1999年度(24期生)～2002年度(27期生)
対面式で実施

Club Activities

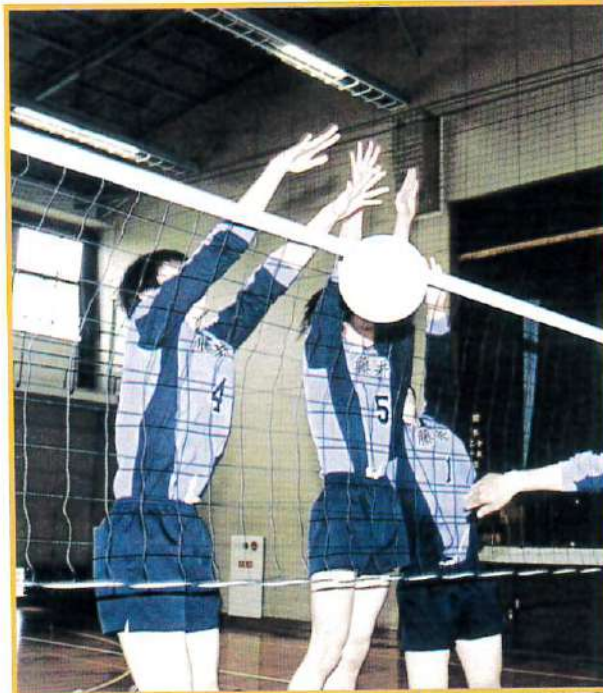
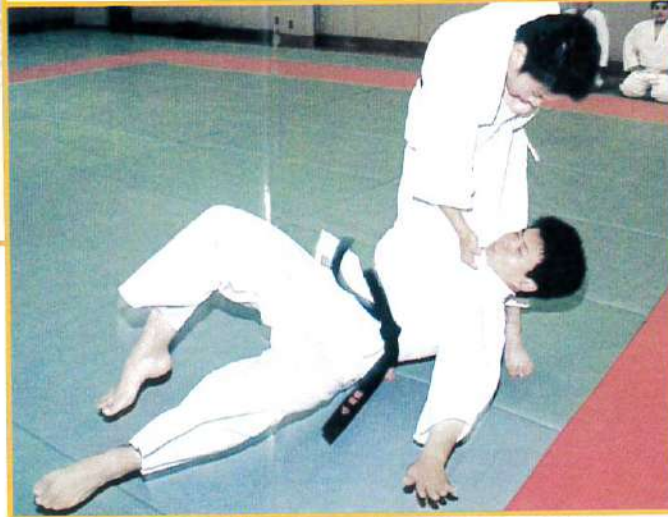
部活動

運動部



●バトミントン部

●柔道部



●男子バレーボール部



●剣道部



●女子バレーボール部

●硬式野球部



●硬式テニス部



●ソフトテニス部



1999年度	大阪春季大会 団体戦	ブロック予選	優勝	
	大阪総体 団体戦	ブロック予選	優勝	
	大阪春季大会 個人戦	ブロック予選	優勝	田中・玉利組
			準優勝	山田・帰山組
			3位	吉田・山岡組
	大阪総体 個人戦	ブロック予選	優勝	山田・山本組
			準優勝	森川・大星組
	大阪公立大会 個人戦	ブロック予選	優勝	森川・大星組
			3位	山田・山本組
			3位	慎・石橋組
	大阪公立大会 新人戦	ブロック予選	準優勝	山田・山本組
			3位	森川・大星組
2000年度	近畿大会出場			
	大阪公立大会		5位	
	大阪公立大会個人戦	ブロック予選	優勝	慎・土生田組
			2位	福田・山本組
			3位	宮内・石橋組
			5位	
2001年度	大阪総体 団体戦		大阪	
	近畿大会出場			
	大阪公立大会予選			
	新人戦	ブロック予選	3位	大西・迫組
			準優勝	大西・迫組
			3位	上野・宇野組
			3位	小田・吉田組
	大阪総合体育大会 団体戦			
		ブロック予選	準優勝	
2002年度	大阪総合体育大会	ブロック予選	準優勝	
	大阪公立大会	ブロック予選	2位	新田・河本組
	大阪新人戦	ブロック予選	優勝	小田・吉田組
			準優勝	新田・河本組
			5位	
	近畿公立インドア大会		優勝	大崎・森田組
	大阪ウィンターカップ			
	大阪公立大会団体戦	大阪	準優勝	
2003年度	大阪春季大会個人戦	ブロック予選	優勝	小田・吉田組
			準優勝	新田・河本組
			3位	大崎・森田組

1996年度	大阪春季大会	ブロック予選	5位	上田・森脇組
	大阪総体	ブロック予選	5位	三浦・吉岡組
1997年度	大阪総体	ブロック予選	3位	小谷・細川組
			7位	神宮・数中組
	大阪公立大会	ブロック予選	優勝	岩崎・帰山組
			3位	小谷・細川組
				神宮・数中組
	大阪総体 団体戦	ブロック予選	3位	小谷・細川組
	新人大会	ブロック予選	準優勝	神宮・数中組
			5位	吉田・玉利組
			6位	岩崎・帰山組
			7位	岩崎・帰山組
1998年度	大阪春季大会 団体戦		大阪	10位
	近畿大会			2回戦
	大阪総体 団体戦	ブロック予選	優勝	
	大阪公立大会 個人戦		2位	田中・玉利組
			5位	岩崎・帰山組
	大阪公立大会 新人戦	ブロック予選	優勝	田中・玉利組
			準優勝	吉田・吉村組
			3位	岩崎・帰山組

Club Activities

部活動

運動部



●女子バスケットボール部

●男子バスケットボール部



●陸上部

【主な戦歴】

平成7年度	柴坂 狭依	近畿総体	400m (7位)
	田井 智之	近畿総体	砲丸投 (4位)
平成8年度	柴坂 狭依	全国インターハイ混成大会	400mH (65'74)
		大阪インターハイ	400m (4位)
	田井 智之	近畿インターハイ	砲丸投 (4位)
平成9年度	田井 智之	近畿インターハイ	砲丸投 (7位)
平成10年度	津田 朝子	かながわゆめ国体	400mH出場
		全国インターハイ	400mH出場
		大阪選手権	400m (1位)



●水泳部

●男子ハンドボール部



SPORTS



●ソフトボール部

●サッカー部



●ラグビー部

2001年6月 10人制7学区大会 優勝
 11月 10人制大阪府大会 準優勝
 2002年6月 10人制7学区大会 優勝



●女子ハンドボール部

Club Activities

部活動

文化部



●国際サークル



●ESS



●書道部

国際高校生選抜書展入選など



●ボランティア部



●フォークソング部



●コンピューター同好会



●現代音楽研究部

- 1995年 We are Sneaker Ages' 95
優秀校賞受賞 ーベスト16に選ばれる
グランプリ大会出場
- 1996年 We are Sneaker Ages' 96
優秀校賞受賞 ーベスト16に選ばれる
グランプリ大会出場
- 1997年 We are Sneaker Ages' 97
優秀校賞受賞 ーベスト18に選ばれる
グランプリ大会にて特別賞受賞
藤井寺市社会福祉協議会主催"ふくしまつり"
に手話ロックバンド"シャンテ"と共にポラン
ティア出演
- 1999年 We are Sneaker Ages' 99
優秀校賞受賞 ーベスト16に選ばれる
グランプリ大会出場
- 2001年 We are Sneaker Ages' 01
優秀校賞受賞 ーベスト17に選ばれる
グランプリ大会出場
大阪市主催 ライヴ出演
- 2002年 We are Sneaker Ages' 02
優秀校賞 受賞 ーベスト18に選ばれる
グランプリ大会出場
松原市主催 クリスマスライヴ出場

Club Activities

部活動

文化部



●吹奏楽部

●漫画アニメ部



●茶道部

●放送部



CULTURE



● 箏曲部



● 美術部

- 1996年 全大阪高等学校美術工芸展
奨励賞 森井 恵子
- 1997年 第7学区高等学校美術工芸展
研究会賞 成松 駿介
- 1998年 全大阪高等学校美術工芸展
クラブ活動奨励賞 松宮 美喜
- 1999年 全大阪高等学校美術工芸展
優秀賞 松村 真子
第7学区高等学校美術工芸展
クラブ奨励賞 新井 優希
- 2001年 第7学区高等学校美術工芸展
優秀賞 松村 真子
美術工芸研究会賞 古本加奈子
クラブ奨励賞 中 啓子

部活動加入率変遷のグラフ

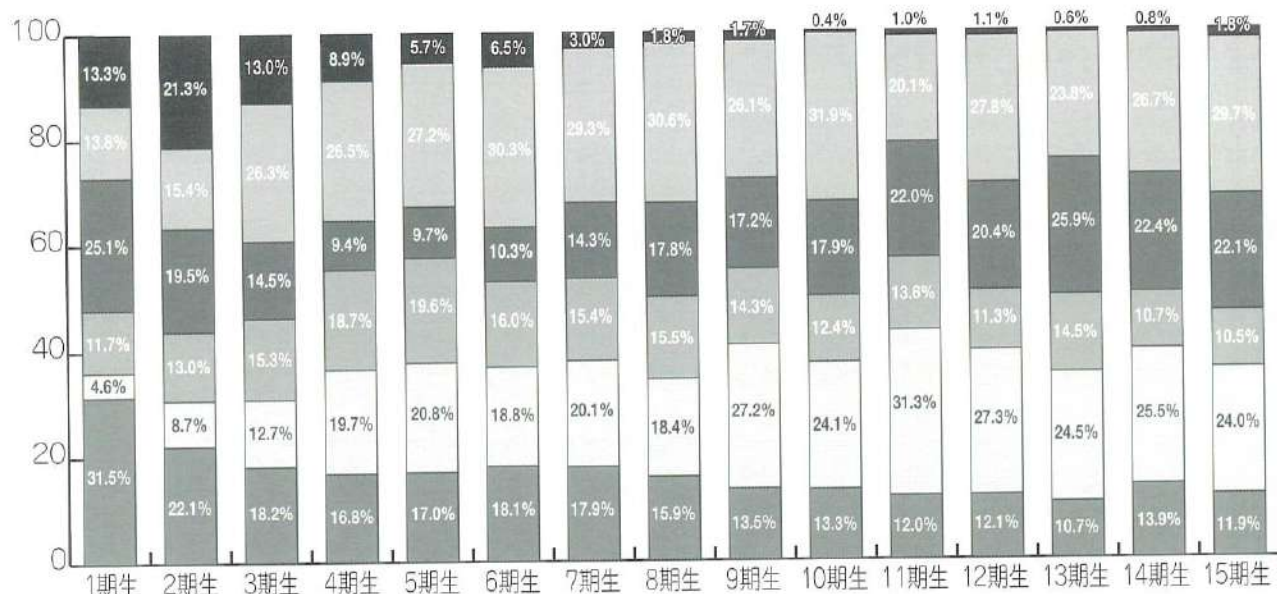


	文化部	運動部	同好会	全体
昭和62年度	11.7%	35.8%	3.1%	50.6%
昭和63年度	15.2%	47.7%	6.0%	68.9%
平成1年度	10.9%	37.3%	4.2%	52.4%
平成2年度	10.6%	42.4%	2.9%	55.9%
平成3年度	9.9%	36.9%	1.4%	48.2%
平成4年度	11.4%	37.3%	1.1%	49.8%
平成5年度	11.8%	41.9%	1.0%	54.7%
平成6年度	15.1%	43.8%	1.3%	60.2%
平成7年度	13.6%	43.4%	0.6%	57.6%
平成8年度	17.4%	46.1%	0.6%	64.1%
平成9年度	17.2%	50.0%	2.0%	69.2%
平成10年度	17.3%	50.1%	3.4%	70.8%
平成11年度	12.7%	37.7%	3.5%	53.9%
平成12年度	14.8%	37.4%	0.5%	52.7%
平成13年度	12.7%	40.0%	0.2%	52.9%
平成14年度	14.8%	40.4%	0.6%	55.8%
平成15年度	12.4%	37.5%	2.3%	54.2%

入学状況

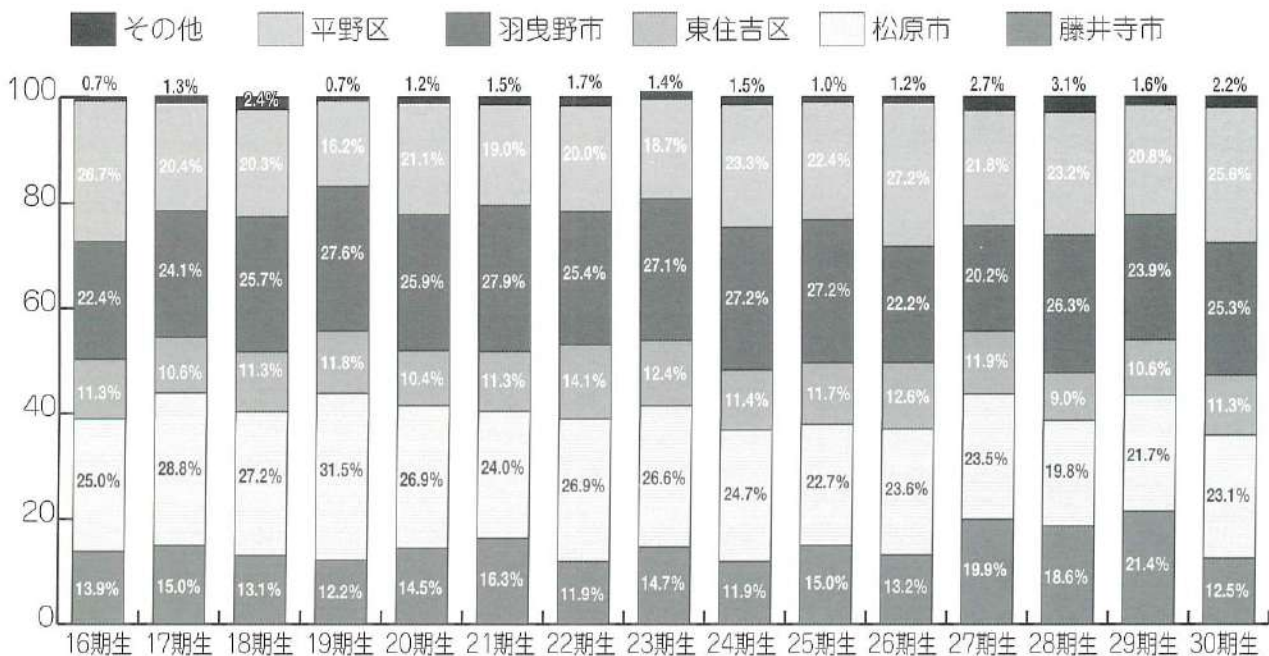
	定員	クラス 定員	クラス数	志願者			合格者			合格率		
				男	女	計	男	女	計	男	女	計
1974年度(S49)	540名	45人	12クラス	301名	251名	552名	295名	245名	540名	98.0%	97.5%	97.8%
1975年度(S50)	540名	45人	12クラス	358名	311名	669名	292名	248名	540名	81.6%	79.7%	80.7%
1976年度(S51)	540名	45人	12クラス	359名	329名	688名	275名	265名	540名	76.6%	80.5%	78.5%
1977年度(S52)	552名	46人	12クラス	297名	315名	616名	276名	276名	552名	92.9%	86.5%	89.6%
1978年度(S53)	564名	47人	12クラス	267名	309名	576名	267名	297名	564名	100%	96.1%	97.9%
1979年度(S54)	564名	47人	12クラス	327名	346名	673名	276名	288名	564名	84.4%	83.2%	83.8%
1980年度(S55)	564名	47人	12クラス	320名	328名	648名	276名	288名	564名	86.8%	87.8%	87.0%
1981年度(S56)	564名	47人	12クラス	335名	348名	683名	276名	288名	564名	82.4%	82.8%	82.6%
1982年度(S57)	517名	47人	11クラス	266名	302名	568名	248名	269名	517名	93.2%	89.1%	91.0%
1983年度(S58)	564名	47人	12クラス	310名	355名	665名	276名	288名	564名	89.0%	81.1%	84.8%
1984年度(S59)	564名	47人	12クラス	343名	343名	686名	282名	282名	564名	82.2%	82.2%	82.2%
1985年度(S60)	564名	47人	12クラス	323名	322名	645名	288名	276名	564名	89.2%	85.7%	87.4%
1986年度(S61)	576名	48人	12クラス	327名	304名	631名	288名	288名	576名	88.1%	94.7%	91.3%
1987年度(S62)	576名	48人	12クラス	304名	283名	587名	294名	282名	576名	96.7%	99.6%	98.1%
1988年度(S63)	576名	48人	12クラス	354名	310名	664名	294名	282名	576名	83.1%	91.0%	86.7%
1989年度(H元)	576名	48人	12クラス	323名	342名	665名	282名	294名	576名	87.3%	86.0%	86.6%
1990年度(H2)	552名	46人	12クラス	328名	288名	616名	273名	279名	552名	83.2%	96.7%	89.6%
1991年度(H3)	540名	45人	12クラス	266名	299名	565名	250名	290名	540名	94.0%	97.0%	95.6%
1992年度(H4)	516名	43人	12クラス	246名	295名	541名	231名	285名	516名	93.9%	96.6%	95.4%
1993年度(H5)	480名	40人	12クラス	279名	295名	574名	233名	247名	480名	83.5%	83.7%	83.6%
1994年度(H6)	440名	40人	11クラス	243名	254名	497名	212名	228名	440名	87.2%	89.8%	88.5%
1995年度(H7)	400名	40人	10クラス	237名	229名	466名	202名	198名	400名	85.2%	86.5%	85.8%
1996年度(H8)	400名	40人	10クラス	211名	217名	428名	195名	205名	400名	92.4%	94.5%	93.5%
1997年度(H9)	360名	40人	9クラス	249名	203名	452名	193名	167名	360名	77.5%	82.3%	79.6%
1998年度(H10)	400名	40人	10クラス	233名	200名	433名	209名	191名	400名	89.7%	95.5%	92.4%
1999年度(H11)	360名	40人	9クラス	193名	211名	404名	165名	195名	360名	85.5%	92.4%	89.1%
2000年度(H12)	360名	40人	8クラス	176名	201名	377名	165名	195名	360名	93.8%	97.0%	95.5%
2001年度(H13)	320名	40人	8クラス	181名	199名	380名	157名	163名	320名	86.7%	81.9%	84.2%
2002年度(H14)	320名	40人	8クラス	175名	200名	375名	155名	165名	320名	88.6%	82.5%	85.3%
2003年度(H15)	320名	40人	8クラス	172名	192名	364名	151名	169名	320名	87.8%	88.0%	87.9%

生徒居住地の推移



卒業生記念品一覽

期	卒業年月	記念品名
1期生	1977年(S52)2月	大王松(1本)、桜(1本)、ベンチ(10脚)、絵画(1点)
2期生	1978年(S53)2月	楠(1本)、椎(4本)、花瓶(1点)、図書
3期生	1979年(S54)2月	唐しゅろ、ビデオテープ録音装置、図書
4期生	1980年(S55)2月	蘇鉄一式、8mm映写機、スライドプロジェクター、図書
5期生	1981年(S56)2月	フェニックス式、パーソナルコンピューター及びディスク、ベンチ(10脚)、図書
6期生	1982年(S57)2月	フェニックス式、パーソナルコンピューター、図書
7期生	1983年(S58)2月	フェニックス式、食堂前テント一式、図書
8期生	1984年(S59)2月	藤棚(運動場)、黒板消クリーナー
9期生	1985年(S60)2月	スチールベンチ
10期生	1986年(S61)2月	楠、図書
11期生	1987年(S62)2月	パーソナルコンピューター(PC9801一式)
12期生	1988年(S63)2月	パーソナルコンピューター(PC9801一式)、櫻(1本)
13期生	1989年(H元)2月	陳列戸棚、校内案内掲示板
14期生	1990年(H2)2月	カラーテント(3張)
15期生	1991年(H3)2月	和太鼓(2台)
16期生	1992年(H4)2月	花水木(3本)、ベンチ(3脚)、ウォータークーラー(3台)
17期生	1993年(H5)2月	黒板消クリーナー、ウォータークーラー(4台)
18期生	1994年(H6)2月	パーソナルコンピューター、ディスプレイ、プリンタ、パソコンラック各1台
19期生	1995年(H7)2月	体育館舞台幕(後幕2、横幕4、かすみ幕1、中幕2)
20期生	1996年(H8)2月	体育館舞台幕(一文字幕1、袖幕2、前幕2、 Horizont幕1)
21期生	1997年(H9)2月	ビデオプロジェクター1台、鉄骨組立天幕1張
22期生	1998年(H10)2月	ピンスポットライト2台(舞台照明用)
23期生	1999年(H11)2月	鉄骨組立天幕5張
24期生	2000年(H12)2月	パーソナルコンピューターPerformance600 1台
25期生	2001年(H13)2月	データプロジェクター一式、スクリーン
26期生	2002年(H14)2月	体育館放送音響装置一式
27期生	2003年(H15)2月	テント3張、物置1基



歴代生徒会役員

年度		会長	副会長	書記		会計	
1975年(S50)		今田義和	伊藤恵子	橋本幸一	梅田邦彦	京屋みゆき	今村明恵
1976年(S51)	前	南雲鋭一	浦田隆弘	平谷 緑		山崎真琴	
	後	森田和也	田中光司	佐古哲也	吉岡由美	浜田敬信	山崎真琴
1977年(S52)	前	上原なぎさ	柏崎好美	菅美智子	吉岡由美	大村敏夫	千葉由美
	後	松島新一	山崎博一	田中幹男	川津未津子	森田幸一	
1978年(S53)	前	林 一久	渡辺俊一	森 仁美	吉岡貴子	平野利恵	中村賀津雄
	後	中村賀津雄	浅田厚美	北村 敦	杉山 京	原園みゆき	神前富美
1979年(S54)	前	林 一久	渡辺俊一	浜田牟登志	播磨弘一郎	北村 敦	門 良直
	後	京井安雄	坂口照幸	村上秀炫	天野悦郎	今村恵一	白尾玲子
1980年(S55)	前	村上秀炫	藤森律子	河崎真理	城崎千恵美	鈴木恵子	溝渕由香
	後	安倍達也	村上秀炫	野口史雄	北野徳子	桐村光明	中川千恵美
1981年(S56)	前	田中基一	野口史雄	加高勝也	中川千恵美	伊藤友紀子	加藤文佳
	後	加藤文佳	野元輝彦	水田美穂	帆足英子	松浦悦己	岡林麻里子
1982年(S57)	前	松山晃一郎	水田美穂	西井春幸	吉田覧一	大原隆司	松原秀樹
	後	堀口知伸	寺西淳子	安倍靖之	上坂和宏	林田宏三	藤本佳孝
1983年(S58)	前	西本義文	貴田広美	吉川昌也	鴻池洋子	家元美幸	浜口孝司
	後	西本義文	新熊一央	土谷直美	白樫政樹	長谷川裕明	西谷仁江
1984年(S59)	前	松宮茂則	安田伸子	山岡裕武	土谷直美	近江光男	西谷仁江
	後	谷 数則	脇田智明	桜木武志		藤井 毅	
1985年(S60)	前	河合良広	山口裕司	物部哲也	佐々木亜紀子	影山康子	三浦佐代子
	後	河合明幸	中川善貴	滝本敦子	柳瀬真美	成木悦子	今井理加
1986年(S61)	前	小林聖典	小西勝則	藤川悦子	山岸真紀子	大橋真美	山田佳奈子
	後	近藤弘幸	森田吉彦	吉本奈美子	神野千代美	仲川直美	笛吹恵子
1987年(S62)	前	勝城久美子	伊藤友理	酒井妃路美		西橋真由実	稲垣重矢子
	後	巽 和彦	梶 正和	庄司和可	明石勝希	西橋真由実	小西敦子
1988年(S63)	前	平澤 亮	水流美香子	辻井成美	狭間絹代	吉見 牧	和西信行
	後	山本秀徳	増井直樹	吉本里美	上田裕子	浅田孝秋	山岸由起子
1989年(H元)	前	吉本里美	山岸由起子	奥之藪三千寿		田村恵美	金中和代
	後	中田憲之	安達深幸	奥之藪三千寿	高田敬子	西田佳子	手島康照
1990年(H2)	前	永島竜貴	西田佳子	上平寿子	松山友子	高木一徳	園部美歩
	後	上平寿子	西田佳子	鳥津優子	岡田やす子	橋本扶美	松山友子
1991年(H3)	前	鳥津優子	橋本扶美	前田 巧	小山妙子	井上太郎	藪田健太郎
	後	大川和美	井上太郎	小山妙子	山田高広	瀧井裕子	竹内奈津子
1992年(H4)	前	山本竜夫	山田恵美子	久保田博子	中嶋緩子	篠本 学	花田匡由貴
	後	細木真弥子	保田剛志	松岡利恵	渡邊正樹	水本佳孝	細木真智子
1993年(H5)	前	坂本善信	島 恵梨	吉永直樹	篠本 学	中村奈央子	鬼束寿子
	後	花田匡由貴	後藤雄一郎	濱西礼子	澤田寿賀子	花田 猛	野村隆博
1994年(H6)	前	吉光良太	永尾英和	野村隆博	殿元由美	花田 猛	芝野善次郎
	後	野村隆博	殿元由美	前田千里	花岡重矢	新家和佳	野村知香
1995年(H7)	前	福井宏希	吉見泰久	堀川美由紀	山田郁恵	上田重維	遠本 豊
	後	村上雄樹	宮田英子	北山俊介	河野太亮	和田智絵	安澤 剛
1996年(H8)	前	阿部直毅	久富芽美	松下幸史	宮坂梨夏	田中裕史	谷口清子
	後	久富芽美	横田英理子	寺西真宣	土方麻衣子	広瀬智洋	西村秀昭
1997年(H9)	前	高橋 剛	北野友佳子	木下一美	宮崎アヤコ	篠田 健	三品加奈子
	後	篠田 健	丸岡弘美	木下一美	宮崎アヤコ	山口貴嗣	三品加奈子
1998年(H10)	前	小倉智子	森田知也	吉川 薫	中田和美	生駒奈津	横江梨紗
	後	堀井正敏	松井 愛	田島麻美	中田和美	中尾倫子	藤原つかさ
1999年(H11)	前	谷口照美	中島康浩	木林麻衣子	中田和美	石戸健太郎	長野佳浩
	後	仲本達郎	中島康浩	大山貴弘	片岡泰児	中田和美	大西康善
2000年(H12)	前	長野佳浩	中谷信治	片田拓美	片岡泰児	泉 秀幸	長濱淳也
	後	片田拓美	芦田昭信	北浦真展	木津紗世子	日野上好則	
2001年(H13)	前	川本成吾	川谷拓路	枇杷田周道	山本香菜	堀川美穂	淡路寛司
	後	北村友華梨	森田貴徳	古賀祐揮	楚南智子	大田充彦	坪山真衣
2002年(H14)	前	永江 翔	朝田真紀	荒井友未	渡辺 綾	美濃貴行	河野翔太
	後	美濃貴行	陶山英樹	竹内志織	石田典子	舟原桃子	広野友希
2003年(H15)	前	佐藤奈緒	川西雅恵	山本愛子	城川一貴	天川谷 望	仲野裕哉

歴代同窓会役員

(名誉会長) は各期の学校長が兼ねる ○内の数字は書く期を表す

年度	会長	副会長	書記	会計	会計監査	名誉顧問
1977 (52)	森 博史①	大西 寛征①	吉川 博之①	大柳 正章①	中野 智子①	森田 敏夫(初代校長)
山本 義一(初代PTA会長)						
森田 敏夫 山本 義一 辻本 義一(2代PTA会長) 広嶋昭三郎(3代PTA会長)						
1980 (55)	若林 和博②	北口 佳弘①	森川 雅夫①	大柳 正章①	中野 智子① 若林 和博②	森田 敏夫 山本 義一 辻本 義一 広嶋昭三郎
1981 (56)						森田 敏夫 辻本 肇(4代PTA会長)
1982 (57)	若林 和博②	大西 寛征① 池田 勝彦②	吉川 博之① 竹沢 照美②	大柳 正章① 北浦智代子③	竹沢 照美② 中野 智子① 橋本 勝司④	森田 敏夫 森 博史 高田 昌亮(5代PTA会長)
1983 (58)						森田 敏夫 森 博史 山田 忠雄(3代校長) 杉本 邦男(6代PTA会長)
1984 (59)	〈会長〉 若林 和博② 〈書記〉 北浦智代子③ 〈会計〉 竹沢 照美② 〈会計監査〉 橋本 勝司④ 〈庶務〉 大杉茂之⑦ 谷口彰紀⑦ 林田辰巳⑦ 内本京子⑦ 坂下由紀⑦	〈副会長〉 吉川 博之① 池田 勝彦②	田中 浩③ 鬼追 忍④ 稲垣 勝② 曾我 友香⑥ 辻 浩一⑥	森田 敏夫 森 博史 山田 忠雄 笠原 純英(7代PTA会長)	森田 敏夫 森 博史 山田 忠雄 喜多 啓介(8代PTA会長)	
1985 (60)	〈会長〉 若林 和博②	〈副会長〉 池田 勝彦②	稲垣 勝②	田中 浩③	森田 敏夫 森 博史 山田 忠雄	
1986 (61)	〈書記〉 北浦智代子③	谷口 彰紀⑦	坂下 由紀⑦	森田 敏夫 森 博史 山田 忠雄 谷口 久雄(9代PTA会長)		
1987 (62)	〈会計〉 的場世志子②	大杉 茂之⑦	内本 京子⑦	森田 敏夫 森 博史 山田 忠雄 榎本 武(10代PTA会長)		
1988 (63)	〈理事〉 吉川 博之①	松本(大柳)正章①	松浦 昭彦①	森田 敏夫 森 博史 山田 忠雄 市橋平三郎 大石 雅庸(11代PTA会長)		
1989 (元)	〈監事〉 林田 辰巳⑦ 池田 由美⑧	松山見一郎⑧ 樋口 文子⑨	杉本久美子⑧	森田 敏夫 森 博史 山田 忠雄 市橋平三郎 原尾毅一郎(12代PTA会長)		
1990 (2)	〈運営委員〉 光岡 勉⑧ 〈常任幹事長〉 村治 強② 〈会計監査〉 橋本 勝司④	河村 憲⑨	森田 敏夫 森 博史 山田 忠雄 市橋幸三郎 原尾毅一郎(13代PTA会長)			
1991 (3)	〈会長〉 若林 和博② 〈副会長〉 池田 勝彦②	稲垣 勝②	田中 浩③	森田 敏夫 森 博史 山田 忠雄 市橋平三郎 清水 正樹 宮村喜志男(14代PTA会長)		
1992 (4)	〈書記〉 山下 真弘④	渡辺 俊一⑤	金丸 佳子⑨	森田 敏夫 森 博史 山田 忠雄 市橋平三郎 清水 正樹 田中 勝(15代PTA会長)		
1993 (5)	〈会計〉 西本 善之⑨	貴田 広美⑨	松浦 昭彦①	森田 敏夫 森 博史 山田 忠雄 市橋平三郎 清水 正樹 松村 正勝(16代PTA会長)		
1994 (6)	〈理事〉 吉川 博之①	松本 正章①	森田 敏夫 森 博史 山田 忠雄 市橋平三郎 清水 正樹 中島 茂夫(17代PTA会長)			
1995 (7)	〈監事〉 福島 治⑧	斎藤 勝明⑬	森田 敏夫 森 博史 山田 忠雄 市橋平三郎 清水 正樹 油上 良蔵 小池 実晴(19代PTA会長)			
1996 (8)	〈運営委員〉 広嶋 禎数⑤	田仲 基一⑦	山崎美和子⑧	森田 敏夫 森 博史 山田 忠雄 市橋平三郎 清水 正樹 油上 良蔵 小池 実晴(19代PTA会長)		
1997 (9)	〈会計監査〉 橋本 勝司④	森田 敏夫 森 博史 山田 忠雄 市橋平三郎 清水 正樹 油上 良蔵 内藤 広治(21代PTA会長)				
1998 (10)	〈会長〉 若林 和博②	〈副会長〉 池田 勝彦②	稲垣 勝②	田中 浩③	森田 敏夫 森 博史 山田 忠雄 市橋平三郎 清水 正樹 油上 良蔵 内藤 広治(21代PTA会長)	
1999 (11)	〈書記〉 山下 真弘④	渡辺 俊一⑤	金丸 佳子⑨	森田 敏夫 森 博史 山田 忠雄 市橋平三郎 清水 正樹 油上 良蔵 内藤 広治(21代PTA会長)		
2000 (12)	〈会計〉 西本 善之⑨	貴田 広美⑨	奥野 利明(学校側)	森田 敏夫 森 博史 山田 忠雄 市橋平三郎 清水 正樹 油上 良蔵 森井 久夫 中川 義英(22代PTA会長)		
2001 (13)	〈理事〉 吉川 博之①	松本 正章①	松浦 昭彦①	森田 敏夫 森 博史 山田 忠雄 市橋平三郎 清水 正樹 油上 良蔵 森井 久夫 中野 尚 杉田 良(23代PTA会長)		
2002 (14)	〈監事〉 福島 治⑧	斎藤 勝明⑬	森田 敏夫 森 博史 山田 忠雄 市橋平三郎 清水 正樹 油上 良蔵 森井 久夫 中野 尚 杉田 良(23代PTA会長)			
2003 (15)	〈運営委員〉 広嶋 禎数⑤	田仲 基一⑦	山崎美和子⑧	〈会計監査〉 橋本勝司④	森田 敏夫 森 博史 山田 忠雄 市橋平三郎 清水 正樹 油上 良蔵 森井 久夫 中野 尚 杉田 良(23代PTA会長)	

(顧問(職員))

寺本 勉(1976(準備)・81~94) 渡辺謙二(1976(準備)・77 斎藤 博(1977~9) 小川 勇(1977~82) 石香 亨(1977) 杉町直之(1978)
 瀬戸勝巳(1978・9・81~3・6) 武田 章(1978) 田中靖二(1979) 南 武夫(1979) 高島弘章(1979・80) 井上悦男(1980~3) 富賀 肇(1980~4)
 浅野とも子(1980) 森井久夫(1980) 阿形恒秀(1983) 山田忠雄(1984) 山田慶次(1984) 松井 潔(1984~8)長尾良弘(1985・89・90)
 御堂孝和(1985) 杉田有史(1986) 吉田正博(1987) 川村高明(1988・93) 福田貴穂(1989) 緒方 正(1990~2) 木村好孝(1991~5・2001~2)
 光田藤一(1991) 内田吉彦(1992) 谷口 光夫(1993~6) 香川義憲(1994~96)米田けさ子(1996) 松浦紀彦(1996~2000) 角谷修治(1997)
 船井嘉彦(1997) 藤原安博(1997) 吉田正博(1998~99) 関本幸子(2000) 永田禎一(2001) 阪本百合子(2003) 古川友子(2003)

歴代PTA役員

	会 長	副 会 長	書 記	会 計	会計監査	企 画	生活指導	1 年	
						文 化	環 境	2 年	
						進 路	保 健	3 年	
1974 (S49)	山本 義一	寺田 一之 竹網 逸子	本多 弘子 橋本九二男	木村 一雄 齊藤 博	赤松 政雄 北口 茂良 北野 満蔵	坂東 貞雄	吉岡 清 永井 克己 川出 敬一		
1975 (S50)	山本 義一	寺田 一之 竹網 逸子 木村 一雄	本多 弘子 前田 昭吾	赤松 政雄 齊藤 博	永井 克己 坂東 貞夫 岡田 茂	北口 茂良 吉岡 隆子 花川 忠彦	山本 満茂 辻本 義一 川出 充子	土井スエ子 赤部アヤ子	
1976 (S51)	山本 義一	寺田 一之 木村 一雄 土井スエ子	竹網 逸子 寺本 勉	坂東 貞雄 齊藤 博	赤松 政雄 大松 隆蔵 永井 克己	北口 茂良 入江 久子 花川 忠彦	山本 満茂 辻本 義一 金森多恵子	内本八重子 辻 伸一 赤部アヤ子	
1977 (S52)	辻本 義一	大松 隆蔵 北口 茂良 土井スエ子	広嶋昭三郎 山内 政治	富永 和子 齊藤 博	西野 文子 内本八重子 藤林 禎造	西 忠治 三宅 弘子 辻 伸一	武林 健一 明瀬 歳治 西田 厚子	榎本寿美子 真銅 貞代 金森多恵子	
1978 (S53)	広嶋昭三郎	北口 茂良 明瀬 歳治 内本八重子	三宅 弘子 小川 勇	森氏 清博 齊藤 博	藤林 禎造 船谷 悦子 安田 義徳	西 忠治 谷川 美穂 磯野 尚三	多田 満 西野 忠次 竹田津鎮江	原田千代子 榎本寿美子 真銅 貞代	
1979 (S54)	広嶋昭三郎	北口 茂良 明瀬 歳治 吉野 富子	辻本 肇 小川 勇	森氏 清博 齊藤 博	藤林 禎造 安田 義徳 大松 隆蔵	西 忠治 小池 勝次 磯野 尚三	多田 満 西野 忠次 居嶋 知子	谷本 彦一 原田千代子 榎本寿美子	
1980 (S55)	広嶋昭三郎	辻本 肇 山口 弘 吉野 富子	居嶋 知子 小川 勇	高田 昌亮 井上 悦男	岡田 雄作 天見 晴一 高光 行子	谷口 彦一 山本恵美子 小池 勝次	多田 満 山本 忠彦 大江嘉代子	大橋 光子 阪本 葉子 原田千代子	
1981 (S56)	辻本 肇	高田 昌亮 吉野 富子 安井 将浩	居嶋 知子 瀬戸 勝巳	杉本 邦男 井上 悦男	山口 弘 高光 行子 河崎 道子	安方 文治 山本恵美子 小池 勝次	吉岡 増夫 山本 忠彦 矢富 和子	三好 節子 大橋 光子 阪本 葉子	
1982 (S57)	高田 昌亮	安井 将浩 杉本 邦男 大橋 光子	三好 節子 瀬戸 勝巳	笠原 純英 井上 悦男	山口 弘 田中 弘子 上野 弘美	喜多 啓介 樋口 弘子 元山 勝	中西 武夫 中村佐智子 西 純子	家元 清子 加世堂キミ子 大杉 静子	
1983 (S58)	杉本 邦男	笠原 純英 喜多 啓介 田中 弘子	中西千代子 瀬戸 勝巳	上野 弘美 井上 悦男	西 純子 福岡 咲子 林 式子	山本 隆治 福中 栄子 元山 隆雄	馬々脇敏子 阿波島政子 山本よし子	小谷八重子 家元 清子 加世堂キミ子	
1984 (S59)	笠原 純英	喜多 啓介 上野 引美 田中 弘子	中西千代子 寺本 勉	三宅 越司 松井 茂	北川 嗣雄 小谷八重子 荻野加代子	山本 明 安井 イト 北村 東子	池内 和夫 福岡 咲子 福中 栄子	田倉 洋子 綾城加代子 小松 末子	
1985 (S60)	喜多 啓介	北川 嗣雄 三宅 越司 中西千代子	綾城加代子 寺本 勉	谷口 久雄 松井 茂	榎本 武 脇村 幸子 藤澤茂登美	山本 博子 住川 エミ 日比野 静	永井 亮 大山 豊子 荻野加代子	桜井千鶴子 加納 永子 福岡 咲子	
	会 長	副 会 長	書 記	会 計	会計監査	企画委員長	企画副委員長	1年委員長	1年副委員長
						文化委員長	文化副委員長	2年委員長	2年副委員長
						進路委員長	進路副委員長	3年委員長	3年副委員長
1986 (S61)	谷口 久雄	北川 嗣雄 榎本 武 荻野加代子	山本 博子 寺本 勉	衣笠 一美 松井 茂	藤澤茂登美 正木 正義 榊山忠次郎	大山 豊子 日比野 静 大石 雅庸	山田 貢 福田 弘子 長尾 芳子	中山 治雄 桜井千鶴子 加納 永子	田中恵美子 高倉 旭彦 三宅美代子
1987 (S62)	榎本 武	衣笠 一美 大石 雅庸 山本 博子	大山 豊子 吉田 正博	桜井千鶴子 松井 茂	正木 正義 榊山忠次郎 田中恵美子	山田 貢 福田 弘子 森清 悦侑	清家 照子 炭本 幸子 長尾 芳子	増田 瑞枝 中山 治雄 高倉 旭彦	鈴木フサ子 安藤リフ子 廣 彩子
1988 (S63)	大石 雅庸	中山 治雄 榊山忠次郎 長尾 芳子	鈴木フサ子 寺本 勉	辻本 勇 松井 茂	森清 悦侑 炭本 幸子 白樫 保雄	原尾毅一郎 北川 玉枝 笠井 勝巳	井本 雅代 長瀬 幸子 今西 洋子	廣 彩子 増田 瑞枝 内山須美子	湯町 澄子 寺内 寿子 岡 靖子

	会 長	副 会 長	書 記	会 計	会計監査	企画委員長	企画副委員長	1年委員長	1年副委員長
						文化委員長	文化副委員長	2年委員長	2年副委員長
						進路委員長	進路副委員長	3年委員長	3年副委員長
1989 (H元)	原尾毅一郎	森清悦 辻本勇 鈴木フサ子	西本嘉次 寺本勉	増田瑞穂 福田貴穂	笠井勝巳 炭本幸子 国本勝三	長瀬幸子 湯町澄子 神田豊澄	中林よし子 榊本延子 矢戸平子	宮村喜志男 佐々木環 寺内寿子	竹元喜代美 根岸征子 井本雅代
1990 (H2)	原尾毅一郎	西本嘉次 宮村喜志男 湯町澄子	佐々木環 寺本勉	中川浩哉 福田貴徳	神田豊澄 津野輝夫 根岸征子	中林よし子 竹元喜代美 長谷川一郎	富永武子 林美佐子 神尾芳美	田中勝 田積明子 矢戸平子	福森美代子 山下暁美 白樫喜美子
1991 (H3)	宮村喜志男	神田豊澄 田中勝 福森美代子	津野久江 木村好孝	田積明子 福田貴穂	松村正勝 竹元喜代美 富永武子	長谷川一郎 三宅郁子 塚本照子	飯田文子 房谷紀美子 山下幸美	荻野秀雄 神尾秀美 山下暁美	中元和子 野中留美子 土本初恵
1992 (H4)	田中勝	長谷川一郎 福森美代子 池本義雄	荻野秀雄 木村好孝	津野久江 福田貴穂	神尾茂美 飯田文子 松村正勝	中元和子 佃富枝 山下幸美	大竹由美子 安木素子 細木紀美子	大崎武史 塚本照子 野中留美子	荒木実千代 蔵元芳子 辻井須美子
1993 (H5)	松村正勝	中元和子 大崎武史 中島武夫	塚本照子 木村好孝	安木素子 福田貴穂	池本義雄 大竹由美子 上善嶺治	山谷庄導 南野紀子 細木紀美子	山下友紀子 上山京子 西矢正子	林恵一 荒木実千代 蔵元芳子	新熊みどり 佐藤寿美子 山下幸美
1994 (H6)	中島茂夫	荒木実千代 山谷庄導 前田良一	細木紀美子 香川義憲	佐藤寿美子 福田貴穂	池本義男 南野紀子 西矢正子	新熊みどり 上善佳子 古谷充康	林知子 斉藤映子 小池よし子	奥須賀豊 石田定裕 山下友紀子	酒井ひとみ 入江英子 小山美知子
1995 (H7)	前田良一	上善佳子 石田定裕 奥須賀豊	入江英子 香川義憲	小池よし子 近藤利弘	中島茂夫 新熊みどり 西矢正子	林知子 酒井ひとみ 田中美津子	森口正子 西村三枝子 湯浅佳代	小池貴子 本浄和子 田中真由美	土肥佐代子 皆村洋子 黒磯裕美子
1996 (H8)	小池実晴	皆村洋子 田中好秀 内藤広治	林知子 香川義憲	西村三枝子 近藤利弘	酒井ひとみ 本浄和子 仲川正明	森口正子 嶋田弥寿代 植野光郎	千葉明美 加藤典子 田井恵子	坂本千鶴子 宮腰繁子 湯浅佳代	中島さがみ 土肥佳代子 大栗扶美子
1997 (H9)	田中好秀	宮腰繁子 内藤広治 植野光郎	森口正子 松浦紀彦	土肥佐代子 近藤利弘	小池実晴 坂本千鶴子 中川義英	千葉明美 加藤典子 仲川正明	竹本頼子 甲村栄子 石原節子	宮崎俊一 中島さがみ 田井恵子	山崎美代子 谷本照子 太田弘子
1998 (H10)	内藤広治	植野光郎 宮崎俊一 坂本千鶴子	中島さがみ 松浦紀彦	谷本照子 近藤利弘	石原節子 久本隆治 杉田良	竹本頼子 甲村栄子 中川義英	東千恵子 福田理栄子 菊田敏子	松本純明 山崎美代子 平山美恵子	村上雅子 井上千鶴子 小谷佳子
1999 (H11)	中川義英	杉田良 松本純明 東千恵子	福田理栄子 松浦紀彦	山崎美代子 近藤利弘	竹本頼子 浅島直美 白樫眞智子	井上千鶴子 森明美 矢野耕治	大島梅代 松生悦子 池田貴代美	北浦愛子 村上雅子 村上真知子	松内千加子 高尾文子 菊田敏子
2000 (H12)	杉田良	松本純明 矢野耕治 白樫眞智子	高尾文子 三村信二	村上雅子 近藤利弘	阿部豊 稲垣秀司 松田加代子	池田貴代美 松生悦子 浅島央司	尾崎照美 古本照美 横谷博子	米倉久美子 北浦愛子 大島梅代	和田美智子 松内千加子 森明美
	会 長	副 会 長	書 記	会 計	会計監査	企画委員長	企画副委員長	1年委員長	1年副委員長
						文化委員長	文化副委員長	2年委員長	2年副委員長
						進路委員長	進路副委員長	3年委員長	3年副委員長
						広報委員長	広報副委員長		
2001 (H13)	矢野耕治	浅島央司 阿部豊 稲垣秀司 松内千加子	古本照美 三村信二	和田美智子 小山昭子	出口正広 更屋美房 堀中鈴江	塩津奈美 横谷博子 土師五月 北浦愛子		小松崎咲子 川谷さつき 木原勝子	
2002 (H14)	阿部豊	稲垣秀司 和田美智子 出口正広	尾崎照美 三村信二	米倉久美子 小山昭子	宮下博敏 松田加代子 高濱康子	松岡純 伊賀川さとみ 田頭有里 西川京美	塩津奈美 中川維久子 大山悦子	徳岡由美子 更屋美房 川谷さつき	高木公子 藤田君子 枇杷千代子
2003 (H15)	出口正広	宮下博敏 北尾護 和田美智子	尾崎照美 米澤興治	松田加代子 植本宇一	伊東宏 粟津香月 藤田博史	濃野みつる 北川朝美 更屋美房 大山悦子	石井真理子 中川維久子 野田三重子	大島初子 徳岡由美子 西川京美	大塚初穂 高濱康子 藤田君子

部活動・同好会・サークル活動顧問・監督

《運動系部活動 2003 (H15) 年現在》 () は通算顧問期間、(1) は省略

- 柔道 [1974~] 武田(16) 川上俊(3) 富山(12) 服部(3) 長(3) 塩田(11) 湯浅(3) 中島(12) 内本(4) 内海(2) 古川
廣田 大橋 米澤(2) 織田 永田 川口恭
- 剣道 [1974~] 辰巳(2) 山田慶(3) 井上 小川勇(10) 矢野 田中靖 村上広(2) 渡辺和 小田 光田(4) 藤本(4) 服部
玉井 吉田正博(12) 奥田(4) 吉田淑(5) 高繁 佐藤 吉田良(10) 坂口(7) 筒井真(3) 尾方 河内(2)
- 卓球 [1974~] 植野(3) 中沢(2) 村上広(2) 辰巳 山田忠(2) 古田(8) 筒井完(9) 神屋 平山 妻谷(12) 松浦紀
鈴木和(2) 伊藤(10) 杉田有 坂上 田原伸 塩野(5) 浅井 村田(5) 米澤(4) 森山(2) 吉田正弘 岸田
- 陸上競技 [1974~] 青谷(3) 黒木(13) 赤塚(5) 内田(10) 小澤(2) 渡辺武 川村(10) 林(4) 大川原(4) 杉野(9)
藤原(8) 塩田 西矢(5) 澤田 村田
- 硬式野球 [1974~] 田中道(16) 武田(2) 山内(2) 山田忠(5) 西岡(8) 岡本耕 深谷(2) 野口(10) 藤井(12) 鳥越(9)
田中有(3) 中谷(11) 湯浅(4) 岡田正(4) 鈴木(5) 齋部(3) 石村(4) 木村(2) 西澤
- ワンダーフォーゲル [1974~] 平山(9) 来住(6) 早川(11) 房本(9) 鳥越(2) 香川 平岡(11) 松本正(6) 田中健(8) 阪本
小関(3) 鈴木(2) 森山 青山 岩本(3) 岸田(2)
- 硬式テニス [1974~91] 南武(3) 清(2) 末広(2) 川中 西崎(9) 山本泰(8) 岡本(8) 林(9) 三輪(7) 木村(5) 服部(4)
高松 杉本 詫間 松浦紀 森安
- 男子硬式テニス [1992~] 三輪(3) 服部(3) 森安(10) 松本貴(10) 松浦紀(7) 河内(3) 鈴木 八木沼(2) 仲村(2) 大橋
- 女子硬式テニス [1992~] 林(3) 木村(8) 杉本(3) 山口(12) 松浦紀(2) 三輪(2) 服部 関本 大川原(4) 石川(3)
- 軟式テニス [1974~91] 南武(6) 清(2) 長谷川 福西(9) 板倉(6) 別所(3) 中須賀(6) 服部 中坂 帯刀 渡辺武(4)
小西(3) 松浦紀(2) 増田(2) 吉元 詫間 平岡
- 女子ソフト(軟式)テニス [1992~] 渡辺武(8) 吉元(10) 長(6) 孝橋(2) 詫間 奥田(2) 平岡 中川洋 河内 吉田正弘
中村(4) 柏木 角谷 川上(2) 内本(2) 阪本
- 男子バレーボール [1974~] 山田博(3) 小松 前田昭 福西(3) 谷口(12) 長(8) 田原久(6) 中川武(10) 雨堤(2) 植原(3)
藤井 坂上(2) 木田(9) 角谷(2) 加藤(2) 内本(3) 齋部 柏木(2) 吉田正弘(2) 三村
- 女子バレーボール [1974~] 杉本照 菊田(石川)(19) 前田美 吉野 伊賀崎(4) 黒木(3) 田中道 内本(2) 谷口
植原(8) 河上(3) 井上 小澤(2) 田原久(3) 船井(4) 杉本光(9) 岡本(4) 角谷(3) 内海(3) 岸田 小林(2) 吉村
- 男子バスケットボール [1974~] 青谷(9) 西崎 矢野 谷口(3) 房本 木村 光田 御堂 中坂(6) 杉田有(3) 赤塚 磯野(10)
坂上(2) 中川洋(6) 請田(9) 秦(7) 吉川 筒井真(4) 平松 浅野和(3) 阪本 小林
- 女子バスケットボール [1974~] 川上俊 青谷(10) 長谷川 谷口 仲谷(2) 赤塚(2) 別所(5) 中坂 杉田有(3) 吉川(10)
辻本 田中由 中川輝(9) 冠木(5) 田原伸(2) 坂上 井上(9) 西矢(5) 秦(5) 杉野 浅野和(3)
- バドミントン [1974~] 松浦友(9) 板倉(2) 山本泰 伊賀崎(2) 村上寛(11) 川上俊(2) 金銅 藤本 西崎 渡辺謙 筒井完(7)
高松 松本正(9) 関本(5) 北山(7) 山田 十河(3) 香川(2) 小関(6) 三村(4) 古川(4) 篠本(5)
- サッカー [1974~] 山内(3) 南昭(15) 神屋(2) 光田 加賀(2) 来住 尾大 森安 河上(5) 田島(2) 西野(5) 稲田(6)
中谷(2) 杉野(5) 角谷 鈴木(6) 西村(4) 冠木(2) 村田 齋部 内海 岩本(2) 八木沼 岡田悦(3) 吉元(2)
- ラグビー [1974~] 山内 朝山 小川宏(4) 松下(9) 筒井完 松本正(5) 吉田正博(4) 田中健(12) 木村(15)
板倉(2) 湯浅(2) 松井治 岡本 内本(2) 米田(4) 黒田(4) 廣田(5) 杉野 植田(6) 阪上
- 男子ハンドボール [1974~] 井上真 釜ヶ谷 渡辺謙 山内 長谷川 橋本章(2) 仲谷 岡本耕 阿形(2) 山田慶(2) 岸本
田中健 坂上(5) 鈴木 大塚唯 田中由(2) 伏井(9) 山口(3) 西村(2) 田原 稲田 大村(7) 青山(2) 石川 大川原
森山(3) 永田 橋本早
- 女子ハンドボール [1974~] 釜ヶ谷(2) 松井 垣崎 山内 長谷川 上笹 岸本(11) 岡本貴 香川 黒木(3) 阿形(3)
田中有(8) 来住 内本 鈴木 大塚唯 杉田真(3) 増田(5) 田中由(2) 伏井(3) 十河 田中有(4) 橋本保(6) 石川
川口千(4) 小川 中川輝 橋本早 内海
- 女子ソフトボール [1974~95・2000~] 小川宏(2) 山本泰 早川 鈴木玲(2) 八田 関本 中川一(6) 中谷エ(7) 松本正(3)
森井(2) 渡邊和(4) 香川(5) 加賀 光田(6) 岡田正(9) 藤井(2) 野口 湯浅 河内(5) 伏井(2) 寺本(3) 齋部(4)
十河(4) 牧野
- 水泳 [1974~] 富賀 国分(8) 石香(2) 山田博 山本泰(3) 市口(5) 林(5) 武市(3) 稲田(2) 中川輝 高繁 山口(2)
田中由 松本貴(6) 田島 金丸(11) 中島(10) 阪本(9) 中須賀 西野(3) 十河 澤田 大村 乾 安本

《同好会・サークル活動・2003 (H15) 年現在》

日本拳法 [2003~] 岸田 女子フットサル [2003~] 牧野

《2003 (H15) 年現在、活動していない部・同好会・サークル》

- 【バトン [1974]】板倉 【軟式野球 [1977]】筒井完 【自転車競技 [1977]】石上 【男子ソフトボール [1975-6]】船勢(2) 松浦友
【男子軟式テニス [1992~2001]】小西(7) 中須賀(4) 詫間(2) 平岡 中川洋(7) 永田(5) 河内(3) 渡辺武 鈴木
【体操 [1974~79・81~96]】武田 玉井(12) 武市(11) 詫間(2) 山本陽 稲田(3) 橋本保(6) 妻谷(4) 奥田(2) 大村
【武道同好会 [1975-85]】仲谷(11) 辰巳(4) 【ソフトボール同好会 [1996-1999]】香川 岡田正(3) 齋部(3)
【空手道サークル [1998~2000]】廣田(3)

《文科系部活動 2003(H15)年現在》

- 吹奏楽 [1977~] 朝山(8) 長尾(12) 橋本章(4) 木島(10) 鳥越(2) 光田 鈴木(3) 伊藤(8) 金丸 平岡(11) 内本(12)
 奥田 坂口(2) 西村(2) 藤原(4) 冠木(2) 鈴木(2) 西野(2) 坂本(5) 篠本 松本 伏井 川口千 秦 村田(3) 塩野
 中村(2) 安本 岩本
- 美術 [1975~] 寺本(20) 長谷川 瀬戸(4) 原蘭 詫間(9) 雨堤(3) 原 松浦紀(10) 岡本(3) 奥田 田原伸(2)
 田中由 藤井 塩田(7) 岡田正 詫間 吉田良(8) 大川原(3) 十河(2) 木田(2) 杉本 妻谷 植田(5) 齋部(2)
 篠本(4) 石川(3) 松田(2) 川口恭
- フォークソング [1975-79~] 川中 西田 矢野 名村 大野 木島(3) 村上晃 前田美(6) 別所(6) 坂本 早川 大塚信(2)
 鈴木 内本 中坂(2) 岡田正(10) 阿形(3) 磯野(3) 吉田正博 佐藤 大川原 橋本保(6) 鳥越(2) 杉野(5) 榎原(2)
 森安(5) 請田 岩本(2) 柏木(3) 吉田正弘 杉本 吉元 鈴木 永田 織田
- ESS [1992~] 吉田淑(2) 杉本(11) 大塚明 増田(3) 孝橋 雨堤 小西 請田 冠木 長(2) 船井(3) 大村 青山(3)
 内海(2) 坂口(2) 川口千 ジェームス(2) 永田 西澤
- 英文タイプ [1977~91] 小松(2) 瀬戸(6) 辻(6) 辰巳 山田慶(5) 丸田 古田 杉本(2) 雨堤(3) 妻谷(2) 増田 吉田淑
 ESS [1977~79-83~91] 山本泰(3) 吉田淑(6) 山本陽(3) 杉本(3) 大塚明
- 漫画・アニメ研究 [1993~] 吉川(4) 林(2) 請田 服部(3) 大川原 川村(2) 渡辺(2) 藤井 松本貴(3) 妻谷 伏井(4)
 中川洋(2) 橋本保 内海(2) 塩野(3) 米澤(3) 中村 八木沼(3) 岸田 岡田悦 齋部(2)
- 漫画研究 [1978~] 仲谷(8) 大屋 渡辺謙(6) 増田(6) 加賀(2) 吉田正博 小川勇 大塚信 光田(2) 吉川(3) 田原久 野口
 松井治 大野 藤井
- アニメ研 [1985-88~92] 村上晃 荒瀬 大野(4) 小川勇(2) 服部(3) 田中由 鈴木 榎原(2) 渡辺武
- 放送 [1976~] 山田博(8) 杉町(7) 増田(2) 雨堤 香川(7) 平山 来住(2) 長(6) 内本(2) 中川洋 坂上(6) 内田(3)
 三輪(4) 橋本保(6) 香川(4) 冠木(2) 河内(9) 中谷(9) 齋部(2) 米澤(4) 中川武(2) 吉田良(3) 岩本
- 茶道 [1977-80~] 松井美(8) 藤本(4) 原蘭 帯刀(3) 浅野と(2) 板倉(3) 岸本 稲田(12) 木島(2) 吉元(4) 米田(7)
 黒田(5) 井上(10) 北山(6) 奥田(3) 加藤(2) 古川(5) 山口(4) 金丸(3)
- 現代音楽研究 [1979~] 中川一(4) 田中道(10) 藤本(5) 早川 中川輝(12) 中島(4) 冠木 関本(8) 伊藤(5) 中須賀
 渡辺武 坂上 磯野(4) 秦(3) 永田(5) 金丸(2) 大川原(4) 伏井(2) 鈴木 内海(4) 森山(2) 十河(3) 岡田悦(2) 吉村
- ボランティア [1983~] 赤塚(2) 房本(8) 福西(3) 阿形(2) 光田(2) 中須賀(6) 内本(3) 辻本 森安(6) 岡本 中川洋(8)
 中島 大村 木田(7) 村田 廣田 小関(2) 森山(6) 関本 小川 柏木 中村 石村 藤原 大橋(2) 岡田悦 牧野 乾
- 箏曲 [1977-88~] 原蘭 板倉(2) 田中有(6) 大塚信(2) 北山(3) 雨堤 中川武(10) 菊田(2) 三輪(2) 岩橋 船井
 田中有(4) 山口(5) 金丸 筒井(5) 平松 石川(2) 尾方 小林(3) 三村(2)
- 書道 [1995~] 西野(3) 湯浅(3) 山田 塩野(5) 服部 角谷(7) 大村(6) 村田(2) 廣田(3) 十河(2) 仲村(2) 阪上
 書道同好会 [1980~87-92~94] 来住(9) 浅野(3) 末広 原蘭 鳥越 杉田真(3) 西野(3) 米田 田中由(2) 塩野(3)
 湯浅(3) 奥田(2) 服部
- コンピューター [2000~] 伏井 米澤(3) 森山(4) 吉田正弘(3) 岸田 藤原
 コンピューターサークル [1998~] 伏井(2)

《同好会・サークル活動・2003(H15)年現在》

地学 [2003~] 森山 鈴木 釣り [2003~] 八木沼 米澤

《2003(H15)年現在、活動していない部・同好会・サークル》

- 【軽音楽 [1974~78]】佐竹 長尾(4) 長谷川 垣崎(2) 【手芸 [1974~78]】黒田(5) 浅野と 藤本
- 【部落研究 [1974~81]】平山(3) 赤塚(2) 村上広(2)
- 【写真 [1974~91]】森井(10) 伊賀崎(2) 杉町(3) 福西 筒井亮(7) 来住(4) 木村 三輪(2) 谷口 河内 橋本保
- 【演劇 [1974~2001]】辻(6) 香川(9) 渡邊和(7) 垣崎 山本陽(2) 藤本(2) 渡辺謙(2) 市口(5) 吉元(14) 田島
 関本(2) 中島洋 野口(2) 吉田正博(7) 阪本(6) 田原久 中川洋 伏井(2) 長 坂口(3) 請田(3) 三村(3)
- 【文芸 [1975~82]】藤本(2) 名村(6) 荒瀬 松井美(5) 渡辺謙(2)
- 【地歴研究 [1975~77-79~96]】橋本九(2) 畑部 富賀(6) 平山(6) 筒井亮 村上晃(4) 松下 松本正(9) 斎藤 佐藤
 川村(4) 小川勇(3) 小西(6) 請田(3) 浅井 詫間 冠木(2) 西村 田原 岡田正
- 【コーラスサークル [1975~88-92~97]】森井(7) 長尾(10) 矢野 前田美 雨堤(6) 甲斐 木島 中須賀 橋本保(2)
 金丸(6) 関本(2) 河内(3) 阪本(2) 黒田
- 【囲碁 [1977]】辰巳 【ロック音楽鑑賞 [1977]】中川一 【園芸 [1977]】石香 【古典研究 [1977]】深谷 藤本
- 【将棋 [1977]】香川 橋本章 【英語研究 [1977~78]】名村 奥田康 杉町 【鉄道旅行研究 [1977-78]】長(2)
- 【映画研究 [1977~79]】雨堤 松尾(2) 【数学研究 [1977~79]】松尾(2) 大屋 橋本章 藪野 川上
- 【華道 [1977~81-83~92]】北村玲(2) 前田美(3) 辻 原蘭 大野(9) 米田(6) 帯刀(3) 奥田(2) 西野(2) 杉田真
 塩田(2) 雨堤 伏井
- 【科学研究 [1978]】富賀 【化学研究 [1979]】山田忠 【生物 [1980~83]】福西(4)
- 【新聞 [1980~87]】名村(4) 山田博(2) 阿形(7) 赤塚 光田(3)
- 【PEC:マイコン [1981~95]】川上(6) 橋本章(3) 神屋(5) 内田 高松(3) 松浦紀(3) 杉田有 武市(6) 渡辺武(2)
 伊藤(2) 中坂 中川洋 北山(2) 山口(2) 田原伸(2) 鳥越(2) 川村(2)
- 【IBC [1982~83]】大野(2) 【料理研究 [1982~83]】帯刀 青谷 吉田淑
- 【囲碁将棋 [1983~87]】橋本章(4) 筒井亮(2) 御堂 辰巳 三輪(2) 村上寛(2)
- 【和太鼓サークル [1997~99]】渡辺(3) 【アジアカルチャーサークル [1997~99]】坂口(3) 【国際サークル [2002]】内海



1974年（昭和49年）教職員写真



1983年（昭和58年）教職員写真



1993年（平成5年）教職員写真



2003年（平成15年）教職員写真

職員在籍移動

現勤務校の空欄は現職員

氏名	s49	s50	s51	s52	s53	s54	s55	s56	s57	s58	s59	s60	s61	s62	s63	h1	h2	h3	h4	h5	h6	h7	h8	h9	h10	h11	h12	h13	h14	h15	現勤務校	
校長																																
森田 敏夫																																物故
土井 善博																																物故
山田 忠雄																																退職
市橋平三郎																																退職
清水 正樹																																東大阪大教授
油上 良蔵																																大阪家裁
森井 久夫																																奈良産業大
中野 尚																																退職
清水 洋光																																桃谷高
谷口 政己																																
教頭																																
岡原 勝																																退職
市橋平三郎																																上記
村田 義人																																岸和田健老犬
市村 拓郎																																退職
緒方 淳子																																退職
清水 正樹																																上記
中川 幸雄																																桜井女子短大
杉岡 俊男																																高石高校長
岡本 千代																																上神谷高校長
谷口 政己																																上記
里 恵美																																
国語																																
浅野とも子																																退職
板倉 圭子																																清水谷高校長
仲谷 早苗																																平野高
森井 久夫																																上記
香川 義憲																																退職
藤本知代子																																生野高
松井美智子																																大塚高
長 実																																退職
長谷川智子																																退職
原蘭恵美子																																長野高
深谷 実																																退職
中川 一男																																長吉高教頭
岸本アヤ子																																金剛高
別所 俊彦																																退職
米田けさ子																																退職
加賀由紀子																																不明
服部 真人																																西成高
大塚 信子																																阪南高
吉元紀美子																																
中川 輝美																																
西野小枝子																																今宮工高
森安 雄生																																東住吉高
関本 幸子																																生野高響
中川 武之																																退職
平岡 宏一																																横山商
鈴木 正見																																
筒井 真澄																																

氏名	s49	s50	s51	s52	s53	s54	s55	s56	s57	s58	s59	s60	s61	s62	s63	h1	h2	h3	h4	h5	h6	h7	h8	h9	h10	h11	h12	h13	h14	h15	現勤務校	
中村 忠雄																																
岡田 悦子																																
小林 洋子																																
川上 伸吉																																
乾 明子																																
社会																																
橋本九二男																																退職
平山 良彦																																退職
赤塚 民三																																三国丘高校長
石香 亨																																退職
畑部 裕																																物故
雨堤 敏子																																東百舌鳥高
小川 勇																																物故
北村 玲子																																不明
早川 友三																																長吉高
村上 広行																																不明
渡辺 謙二																																長吉高
関本 幸子																																阿倍野高
高島 弘幸																																退職
田中 靖二																																不明
矢野 勝彦																																不明
大野木好江																																平野高
松本 正																																平野高
阿形 恒秀																																八尾北高教頭
吉野 勇二																																退職
房水 進吾																																金剛高
村上 晃美																																浪速高校長
光田 藤一																																平野高
岡田 正雄																																八尾北高
川村 高明																																物故
小西 顕治																																退職
湯浅 博																																東豊中高校長
中島 明人																																長野高
檜原 竜二																																狭山高
請田 正幸																																泉大津高
塩野 順夫																																退職
大川原香子																																柏原東高
木田 誠																																
斎部 幸則																																
米澤 興治																																
小関 嗣郎																																
三村 信二																																
西澤 宏一																																
大橋 哲嗣																																
数学																																
川上 俊次																																長尾高教頭
田中 道雄																																山本高
中澤 一																																富田林高
松浦 友志																																長吉高
南 武夫																																物故
伊賀崎良太																																退職
大屋ひろみ																																退職

氏名	s49	s50	s51	s52	s53	s54	s55	s56	s57	s58	s59	s60	s61	s62	s63	h1	h2	h3	h4	h5	h6	h7	h8	h9	h10	h11	h12	h13	h14	h15	現勤務校		
藪野 清																															退職		
西崎 実																																退職	
前由美恵子																																退職	
松尾 好文																																退職	
橋本 章																																長吉高	
岡本 貞美																																不明	
村上 寛明																																堺上高	
木島 淳子																																富田林高	
詫間 尊丸																																金剛高	
武市 哲明																																富田林高	
高松 史朗																																阪南高	
田中 健一																																羽曳野高	
中坂 欣司																																貝塚高	
稲田 和子																																生野高	
田原 久徳																																高津高	
山口 湧三																																	
河内 正行																																	
田原 伸																																長野高	
松本 貴仁																																東住吉高	
中谷 利春																																	
阪本百合子																																	
十河 静男																																	
大村 健三																																	
秦 秀和																																	
篠本 明																																	
仲村 公志																																	
理科																																	
荒瀬 和夫																																	物故
植野 敏郎																																	岸和田高
富賀 肇																																	退職
山田 博																																	枚岡樟風高校長
朝山 浩和																																	茨田高
末広 礼二																																	退職
仲谷 隆次																																	西成高校長
船勢 省三																																	和泉高
前田 昭吾																																	退職
石上 知良																																	高石高
山田 忠男																																	退職
筒井 完次																																	狭山高
福西 浩																																	西成高
松下 元彦																																	富田林養護
谷口 房伸																																	長野北高
野口 俊一																																	大手前高
吉田 正博																																	退職
内田 吉彦																																	大教大附平野
鳥越 啓嗣																																	平野高
三輪 昌孝																																	退職
杉田 有史																																	金岡高
松浦 紀彦																																	本校特嘱
坂上 公一																																	西浦高
伊藤 眞治																																	長吉高
橋本 保子																																	退職

氏名	s49	s50	s51	s52	s53	s54	s55	s56	s57	s58	s59	s60	s61	s62	s63	h1	h2	h3	h4	h5	h6	h7	h8	h9	h10	h11	h12	h13	h14	h15	現勤務校
伏井 信之																															星と自然所長
冠本 宇治																															界上高
西村 隆男																															退職
廣田 恭久																															富田林高
村田 和隆																															
森山 義博																															
石川 要三																															
吉田 正弘																															
八木沼 隆																															
織田 二郎																															
牧野進一郎																															
保健体育																															
青谷 耕児																															羽曳野高
井上 真也																															農芸高(定)
武田 章																															退職
菊田 秀子																															藤井寺養護
黒木 秀臣																															八尾養護
國分 俊夫																															横山高校長
玉井 規雄																															上神谷高
富山 治正																															柏原東商
南 昭																															退職
林 誠																															枚岡樟風高
藤井 克弥																															羽曳野高
磯野 彰																															大正高
渡辺 武																															長野北高
吉川 憲司																															平野高
塩田 明彦																															松原高
河上 修																															堺工業高
杉野美智子																															生野養教頭
藤原 安博																															
植田 亮介																															
西矢 幸司																															
石村 友秀																															
浅野 和実																															
芸術																															
杉本 照子(音)																															退職
長尾 良広(音)																															港高
金丸 七郎(音)																															退職
寺本 勉(美)																															退職
来住 隆一(書)																															高槻北高
杉田真規子(書)																															阿倍野高
角谷 修治(書)																															柏原東高
阪上 潤子(書)																															
英語																															
佐竹 鈴子																															堺東高教頭
辰巳 静司																															退職
辻 礼子																															退職
山内 政治																															退職
山田 慶文																															退職
小川 宏恭																															物故
奥田 康子																															枚方津田高
小松 基二																															住吉高

氏名	s49	s50	s51	s52	s53	s54	s55	s56	s57	s58	s59	s60	s61	s62	s63	h1	h2	h3	h4	h5	h6	h7	h8	h9	h10	h11	h12	h13	h14	h15	現勤務校	
山本 泰史																															不明	
杉町 直之																															美原高	
瀬戸 勝巳																															退職	
名村 恵史																															退職	
山本 陽子																															平野高	
竹谷 靖孟																															退職	
丸田 和子																															不明	
古田由太郎																															物故	
渡邊 和也																															柴島高	
吉田 淑子																															物故	
神屋 和夫																															大正高	
増田恵理子																															羽曳野高	
市口 幸男																															生野高	
田中有美子																															大塚高	
木村 好孝																															退職	
妻谷 光治																															生野高	
中須賀敬子																															大手前高	
杉本 光恵																																
鈴木 和子																															長野北高	
内本 雅之																																
北山 祥子																															平野高	
田島 和久																															福泉高教頭	
中川 洋一																															羽曳野高	
船井 嘉彦																															退職	
吉田 良男																																
坂口 周子																															阿倍野高	
永田 禎一																																
青山 照代																															浪速高	
内海 始																																
古川 友子																																
岩本貴久子																																
川口 千代																																
岸田 弘文																																
川口 恭子																																
家庭																																
清 由美子																															退職	
帯刀多余子																															北千里高	
奥田真由美																															退職	
井上 知子																															長吉高	
吉村 典子																																
養護																																
黒田シマ子																															退職	
松岡 絢子																															退職	
和泉三千代																																
実習助手																																
奥田 直美(家)																															退職	
中井裕美子(生)																																
小久保智子(化)																															退職	
樋下喜美子(化)																															退職	
北浦智代子(化)																															不明	
杉田 京子(化)																															長野小	
廣田 朱見(化)																															堺西高	

氏名	s49	s50	s51	s52	s53	s54	s55	s56	s57	s58	s59	s60	s61	s62	s63	h1	h2	h3	h4	h5	h6	h7	h8	h9	h10	h11	h12	h13	h14	h15	現勤務校	
麻野恵以子(化)																																
北村 直子(図)																																退職
柳生 鮎美(図)																																
事務長																																
斉藤 博																																退職
井上 悦男																																退職
松井 潔																																退職
福田 貴穂																																退職
近藤 利弘																																農林大学校
小山 昭子																																府庁特職
植本 宇一																																
主査																																
井上 悦男																																上記
溝畑 与文																																退職
河原 昭弘																																物故
緒方 正																																退職
谷口 光夫																																吹田高
奥野 利明																																羽曳野高
川谷 清一																																
主事																																
望月 朝子																																物故
近藤 利弘																																上記
鹿屋 英子																																物故
小谷 光一																																鳳土木管理事
中谷 工																																大和川高
倉渕 礼子																																退職
花岡 弘																																退職
松井 高美																																なにわ南税
西野 正幸																																泉陽高主査
森 博嗣																																大塚高主査
野村 芳美																																金剛高
山崎美和子																																生野高
橋壽 直人																																勝山高
馬場 和代																																羽曳野高
村上 節子																																
谷口 純一																																長吉高
松田 公子																																
豊田 俊典																																
技師																																
大中 一久																																退職
秋田 正夫																																退職
林 綾子																																退職
西岡宗三郎																																
遠藤 勇																																松原高
三原 秀之																																
三師																																
藤井 清(医)																																
西 真勝(医)																																
門口 元信(歯)																																物故
門口 元治(歯)																																
芝田 健二(薬)																																
田中 充子(薬)																																
山本美津子(薬)																																

〈同推委員長〉 平山 良彦 (74・75) 名村 恵史 (76・83) 赤塚 民三 (77～81) 国分 俊夫 (82)
 福西 浩 (84～87) 房本 進吾 (88～90) 藤井 克弥 (91・92) 小西 顕治 (93～94)
 北山 祥子 (95～97) 吉元紀美子 (98～2000) 村田 和隆 (2001～)

講師

国語	大岡加寿子(s50)	藤井美智子(s50)	川久保明美(s51)	永淵友季子(s51)	和田忠明(s51)
	蔭山 恭子(s52)	対馬 洋子(s53)	平松 綾子(s53・h11)	上笹 敦子(s53~55)	金定 典子(s54)
	谷 知勢子(s54)	芝田 文子(s54)	長田 初子(s55~58)	堀内佐容子(s57・58・61・62・h9)	西川 陽子(s60)
	三苫 利光(s59)	御堂 孝昭(s60)	森 保隆(s60)	今井喜美江(s60)	大島 麻紀(h3)
	亀田久美子(s62)	藤本 幸二(s63)	森 克之(h1)	辻本 尚子(h1~6)	田村 祥子(h11)
川北 百合(h3)	河合 千佳(h4)	伊藤 馨(h5・6)	田中 和子(h7)	福原知佳子(h15)	
丸井すなお(h11)	高屋 佳織(h12)	尾方 崇光(h13)	寺田 佳世(h13・14)		
社会	武部 正夫(s49)	岡山 昭道(s51~53)	春永 幹夫(s52・53)	北野 吉伸(s56)	松島 真理(s57)
	関口 靖之(s58)	小田 昭善(s58)	西上 毅(s60~62)	高津 吉辰(s61)	北村大桂司(s61)
	斉藤 光正(s62)	佐藤 浩史(s63・h1)	江口 祐一(s63)	尾大 徹(h1)	三好 悦子(h2・3)
	田中由起子(h2~5)	仲村 豊(h5~7)	小川 勇(h6・7)	渡邊 智也(h9)	木村 隆彦(h13)
	渡邊 桂子(h13)	橋本 久馬(h14・15)			
数学	中沢 一(s51)	奥田 豊(s51)	池野 雅与(s52)	三浦加津子(s52)	紙田 春夫(s53)
	鳥越 良子(s53・54)	鯉川 英昭(s54)	松下 千明(s55)	金銅 章好(s55~58)	和泉 礼二(s56)
	斎藤 仁保(s56)	沼田 充史(s56)	乾 有子(s57・58)	井坂 宗充(s58)	兵部 雅彦(s59)
	中村 章(s59・60)	秦 成光(s60)	寺下 公章(s61)	飯田 豊彦(s61)	奥村 林蔵(s61~63)
	亀井 秀則(h1~3)	日原 光彦(h1)	西門 安子(h3)	島川 直子(h4)	佐谷野紘子(h4~8)
十河 卓史(h6~8)	小川 和子(h12)				
理科	土井 一久(s51)	竹川 元章(s51)	古田 英文(s53)	寺本 隆保(s53~55)	目 康夫(s54)
	青木 陰(s55・56)	木村 和男(s55~58)	山下 敬介(s57)	竹見 紳一(s59)	池田 昌弘(s59~62)
	田畑 滋泰(s59・60)	中西 聡子(s60)	矢野富士夫(s60)	谷本 理(s63・h1)	中村都史江(h1~3)
	溝口 恵司(h2)	盛山 武祥(h3・5・7)	武田 久男(h6)	竹内 寿恵(h12)	澤田 正(h14)
保健体育	樋口富美子(s49)	吉田五十鈴(s49)	服部 幸(s51)	玉井 祥子(s51)	山口 健一(s51)
	中島 滋泰(s51)	土井 暢哉(s51)	根本 道代(s52)	杉野美智子(s52~55)	上野 訓史(s54・55)
	岡山 智美(s56~59)	松浦 昭彦(s56~58)	平川 浩子(s60)	望月 香(s60・62)	秋田 泰史(s61)
	永井小百合(s61)	小澤 千晶(s63~h3)	堀内由貴子(h2)	小林 美香(h3)	浜野 豊(h3)
	矢野 直子(h4~15)	渡邊 一正(h5)	山岡 千代(h7)	橋本早知子(h15)	
芸術	井関 啓(s51~53)	佐野 史子(s54)	田中由喜子(s56・57)	金丸美由紀(s63)	川中 康子(s63)
	安本 末味(h12・15)	〈以上音楽〉			
	北島 博(s49)	上田 敬文(s52)	松田 徳子(h9~15)	寺本 勉(h10~12)	〈以上美術〉
	島田 まり(s49~51)	蔭山加代子(s63・h3)	森田 智美(h4・6)	山田 晶子(h7)	〈以上書道〉
英語	横井 正昭(s49)	石原 光(s49)	槽谷 博子(s50)	前田 正和(s51・52)	西村 光生(s51)
	川野 道生(s51)	西田 幸雄(s51~54)	影山 恵則(s53)	渡辺 伸子(s53~58)	飯田 治夫(s53)
	芝 郁郎(s54)	村井 宗行(s55)	新田 裕子(s55~59)	岡本 耕一(s56)	柳本 光世(s56)
	服部 法住(s56)	吉村 直哉(s57)	山本 明司(s58)	高浦 玲子(s59)	甲斐 正子(s60)
	小林 道雄(s60)	佐田 美恵(s60)	内本 由美(s61・63~h4・8~12)	今枝 恒雄(s63)	早川ひろみ(s62)
	山下 良材(s62)	長橋 昌子(s62)	栗栖 芳郎(s62)	今枝 恒雄(s63)	稲垣 整(s63・h1)
	安 和子(s63)	山根 矩昭(s63)	高繁 勝彦(s63~h2)	大塚 明子(h3・4)	松井 治樹(h4・5)
	浅井 陽子(h4・6~8)	佐藤 尚美(h5)	孝橋 明子(h5~7)	磯屋 尚美(h12)	山本 聖子(h13)
	船井 嘉彦(h15)				
家庭	以倉 淳子(s50~62)	小林 英子(s50)	山口 志都(s53)	大島 幸子(s55)	房本 佳代(s57~59)
	橋本 尊子(s60)	長尾 春美(s61)	米田 玲子(s63~h3・6~10)	後藤 汎子(h12)	深田 満香(h3)
	中村すみゑ(h4)	柏木 照子(h11~15)	坂上 智子(h11)		
A・E・T・A・L・T	INGRID WISNIEWSKA	ANTHONY J. CLOOKS(s57・58)	STEPHEN M. RYAN(s60)		
	KARYN McCARTONY(s62)	JAMES STROCHAN(h1)	ROBERT J. GARRITY(h2)		
	ALISON M. SUETT(h2・3)	SHELLEY M. KEACH(h3~6)	MARCY N. MAMIYA(h6~9)		
	KAREN E. LARSON(h9~10)	AMY T. LINDER(h10~h11)	ROSE TODD(h11)		
	JACOB LAZAR(h11~12)	NICKS JAMES(h12~14)	SIONED H. JONES(h14~15)		
AMBER MARRIOTT(h15~)					
特別員	長谷川猶子(s50~h15)	田吹 賢司(s51)	橋目安世(s52・53)	大菅由美子(s53~h15)	沢口 許子(s54・55)
	細田 満代(s55)	高須 澄子(s57・58)	松野 力(s63~h3)	寺本 勉(h7~9)	長 実(h10~12)
	香川 義(h10~12)	林 綾子(h11~13)	松浦 紀彦(h13~15)	富山久仁子(h15)	

30周年記念事業実行委員会

実行委員長	若林和博	(同窓会会長)
副委員長	出口正広	(PTA会長)
	杉田良	(育友会前会長)
	渡辺俊一	(同窓会書記)
書記	里恵美	(教頭)
	米澤興治	(総務部長)
会計	植本宇一	(事務長)
	川谷清一	(主査)
委員	阿部豊	(育友会副会長)
	白樫眞智子	(育友会)
	村上雅子	(育友会)
	浅島央司	(育友会)
	松内千加子	(育友会)
	稲垣秀司	(育友会)
	和田美智子	(PTA副会長)
	宮下博敏	(PTA副会長)
	北尾護	(PTA副会長)
	松本正章	(同窓会理事)
顧問	谷口政己	(校長)
	中川義英	(育友会前々会長)
	矢野耕治	(育友会会長)

創立30周年記念事業に関する総務委員会(教職員)

校長	谷口政己	
教頭	里恵美	
事務長	植本宇一	
総務部長	米澤興治	
同窓会顧問	阪本百合子	
	古川友子	
記念式典係	吉田正弘	十河静夫
	吉元紀美子	斎部幸則
記念誌係	石川要三	吉元紀美子
	吉田良男	松浦紀彦
	富山久仁子	
記念特別事業係	小関嗣郎	篠本明
記念祝賀会係	森山義博	植田亮介
	山口湧三	
《表紙絵》	松浦紀彦	

発行日 2003年10月
発行 大阪府立藤井寺高等学校
編集者 〒583-0037 大阪府藤井寺市津堂3丁目516
電話 0729-39-7750
編集者 創立30周年記念事業に関する総務委員会 記念誌係
印刷所 明朗社
〒584-0066 大阪府富田林市錦織北3丁目2-13
電話 0721-25-2716



